

# brother

# ファクシミリ 取扱説明書 **FAX-760CLT**

本書をよくお読みになって製品をご利用ください。



## 1章

ご使用の前に

## 2章

電話をするには

## 3章

コピーをするには

## 4章

ファクスを送信するには

## 5章

ファクスを受信するには

## 6章

留守番機能を使うには

## 7章

レポートやリストをプリントするには

## 8章

こんなときには

## 9章

付録

お客様相談窓口 ☎ 0120-161170

本製品の取扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、上記のフリーダイヤルにお気軽にお申し付けください。

受付時間 午前9:00～午後7:00

営業日 月曜日～土曜日（日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます。）

本書は、なくさないように注意し、いつでも手に取ってみることができるようにしてください。

# 目次

安全にお使いいただくために .....	i
<b>1章 ご使用の前に</b>	
付属品を確かめる .....	2
各部の名称とはたらき .....	3
準備のながれ .....	7
本体（親機）の準備をする .....	8
本体（親機）を接続し、回線種別の自動設定をする .....	8
・手動で回線種別を設定するには .....	9
・利用中の回線種別の調べかた .....	10
日付と時刻を合わせる（時計セット） .....	11
名前と電話番号を登録する（発信元登録） .....	12
原稿の濃度を設定する .....	13
ISDN を使用する場合は .....	13
子機の準備をする .....	14
バッテリーを収納する .....	14
充電器を接続する .....	14
バッテリーを充電する .....	15
子機の音質を調整する .....	15
充電器を壁に掛けて使用する .....	15
ダイヤル登録をする .....	16
文字入力のしかた .....	16
ワンタッチダイヤルに登録する（親機のみ） .....	18
短縮ダイヤルに登録する（親機のみ） .....	19
グループダイヤルに登録する（親機のみ） .....	20
電話帳に登録する（子機のみ） .....	21
音量を設定する .....	22
親機の音量を設定する .....	22
（キータッチ音・ベル音量・スピーカー音量・受話音量） .....	22
子機の音量を設定する .....	23
（ベル音量・スピーカー音量・受話音量・着信ベル音） .....	23
オプションサービスを利用される方は .....	24
東京電話オートコネクトの設定をする .....	24
ナンバーディスプレイサービスの設定をする .....	28
キャッチホンディスプレイサービスの設定をする .....	29
ダイヤルインサービスの設定をする .....	29
<b>2章 電話をするには</b>	
こんなことができます .....	30
親機で電話をかけるには .....	33
ダイヤルボタンでかける .....	33
ワンタッチダイヤルでかける .....	33
短縮ダイヤルでかける .....	33
電話帳から探してかける .....	34
再ダイヤルでかける .....	34
スピーカーホンでかける .....	34
親機で電話を受けるには .....	35
受話器をとって受ける .....	35
受話器を持たずに受ける（スピーカーホンで通話する） .....	35

子機で電話をかけるには .....	36
ダイヤルボタンでかける .....	36
電話帳から探してかける（ジョグスイッチでかける） .....	36
再ダイヤルでかける .....	36
連続再ダイヤルでかける .....	37
発信記録からかける .....	37
スピーカーホンでかける .....	37
子機で電話を受けるには .....	38
子機をとって受ける .....	38
子機を持たずに受ける（スピーカーホンで通話する） .....	38
子機を優先して電話を受ける〔子機優先呼出〕 .....	38
ハンズフリーで電話を受けるには .....	39
ハンズフリーで受ける .....	39
ハンズフリー着信の設定をする .....	40
内線通話をするには .....	41
親機と子機で内線通話をする .....	42
親機から子機へ内線で呼びかける .....	42
電話を取り次ぐ .....	43
オプションサービスを利用するには .....	45
キャッチホンを利用する .....	45
ナンバーディスプレイサービスを利用する .....	48
ダイヤルインサービスを利用する .....	52
トーン信号によるサービスを利用する .....	53
東京電話オートコネクトを利用する .....	54
<b>3章 コピーをするには</b>	
こんなコピーができます .....	56
コピーをする前に .....	57
原稿について .....	57
記録紙と原稿をセットする .....	58
原稿に合わせて画質を調整する .....	59
ページごとに画質を調整する .....	59
原稿濃度を一時的に変更する .....	59
コピーをするには .....	60
1部だけコピーをする〔シングルコピー〕 .....	60
複数部のコピーをする〔マルチコピー〕 .....	61
拡大／縮小コピーをする .....	61
<b>4章 ファクスを送信するには</b>	
こんな送信ができます .....	62
ファクスを送信する前に .....	64
記録紙と原稿をセットする .....	64
原稿に合わせて画質を調整する .....	65
ページごとに画質を調整する .....	65
原稿濃度を一時的に変更する .....	65
ファクスを送信するには .....	66
ファクスだけをすぐに送信する〔自動送信〕 .....	66
相手と話をしてから送信する〔手動送信〕 .....	66
その他の送信をする .....	67
ファクス送信後に相手と話をする〔電話予約〕 .....	67
送付書を付けて送信する〔送付書送信〕 .....	68
指定した時刻に送信する〔タイマー送信〕 .....	70
受信側の操作で送信する〔ポーリング送信〕 .....	71

原稿を読み込んでから送信する [メモリー送信]	72
同じ原稿を複数の宛先に送信する [順次同報送信]	73
海外へ送信する [海外送信モード] .....	73
受信中やメモリー送信中に次の送信の予約をする [送信予約] .....	74
パソコンからファックスを送信する [PC 接続] ..	74
<b>送信の解除と割込をするには .....</b>	<b>75</b>
送信設定を解除する .....	75
送信待機中に割り込みする .....	75
<b>5章 ファックスを受信するには</b>	
<b>こんな受信ができます .....</b>	<b>76</b>
受信のしかた .....	77
<b>ファックスを受信する前に .....</b>	<b>80</b>
着信ベル回数を設定する .....	80
呼出ベル回数を設定する .....	80
在宅応答メッセージを録音する .....	81
<b>ファックスを受信するには .....</b>	<b>82</b>
手動でファックスを受信する [手動受信] .....	82
相手が電話かファックスかを自動的に判断して 受信する [自動受信] .....	82
受話器で受けたファックスを自動的に受信する [親切受信] .....	83
自動的に縮小して受信する [自動縮小受信] .....	84
本体のメモリーにファックスメッセージを記憶する [メモリー受信] .....	85
<b>その他の受信をするには .....</b>	<b>86</b>
本機の操作で相手の原稿を受信する [ポーリング受信] .....	86
外部からの操作でファックスを受信する [リモート受信] .....	87
パソコンでファックスを受信する [PC 接続] ..	88
ファックス情報サービスを利用する .....	88
<b>6章 留守番機能を使うには</b>	
<b>こんなことができます .....</b>	<b>89</b>
<b>留守番機能を使用する前に .....</b>	<b>90</b>
留守応答メッセージを録音する .....	90
音声メッセージの録音時間を設定する .....	90
留守録モニターを設定する .....	90
<b>留守番機能を使用するには .....</b>	<b>91</b>
留守モードにセットする .....	91
<b>メッセージを確認するには .....</b>	<b>92</b>
メッセージ内容を再生・プリントする .....	92
<b>子機から留守番機能を操作するには .....</b>	<b>93</b>
子機で留守モードに設定する .....	93
子機で音声メッセージを確認する .....	93
<b>外出中の便利な使いかた .....</b>	<b>94</b>
通話や伝言を録音する [ボイスメモ機能] .....	94
外出中にメッセージの着信を知らせる [電話呼出機能] .....	95
外出先にファックスを転送する [ファックス転送機能]	96
外出先から本機を操作する [リモコンアクセス 機能] .....	97

<b>7章 レポートやリストをプリントするには</b>	
<b>プリントするには .....</b>	<b>102</b>
ファックス送信レポートをプリントする [送信レポート] .....	102
通信管理レポートをプリントする [通信管理レポート] .....	102
ダイヤル登録した電話番号をプリントする [ダイヤルリスト] .....	102
ダイヤルリストを 50 音順にプリントする [電話帳リスト] .....	103
設定状況をプリントする [設定内容リスト] ..	103
メモリー使用状況をプリントする [メモリー使用状況リスト] .....	103
機能の案内をプリントする [機能案内リスト] ..	103
<b>8章 こんなときには</b>	
<b>お手入れのしかた .....</b>	<b>104</b>
本体の清掃をする .....	104
原稿読取部の清掃をする .....	104
記録部の清掃をする .....	104
<b>紙がつまつたら .....</b>	<b>106</b>
原稿がつまつたときは .....	106
記録紙がつまつたときは .....	107
<b>リボン切れランプが点滅したら .....</b>	<b>108</b>
リボンを交換する .....	108
<b>子機のバッテリーを交換するには .....</b>	<b>110</b>
<b>エラーメッセージが表示されたら .....</b>	<b>111</b>
<b>故障かな?と思ったら .....</b>	<b>112</b>
<b>9章 付録</b>	
<b>機能一覧 .....</b>	<b>116</b>
<b>主な仕様 .....</b>	<b>119</b>
<b>索引 .....</b>	<b>120</b>
<b>消耗品などのご注文について .....</b>	<b>126</b>

# 安全にお使いいただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

この「安全にお使いいただくために」では、お客様や第三者への危害や損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

表示と記号の意味は次のようになっています。いつも快適な状態で安全にお使いいただけるよう、内容をよくご理解いただいてから、本製品をご使用ください。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示します。



誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。



誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。



本製品を取り扱う上で知っておくと便利な内容を示しています。

- 本製品は、厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一不具合がありましたら、「フリーダイヤル 0120-161170」までご連絡ください。
- お客様や第三者者が、本製品の使用の誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合、または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は使用の誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたときや、故障・修理のときは記憶内容が変化・消失する場合があります。
- 本製品の設置に伴う回線工事には、工事担当者資格を必要とします。無資格者の工事は違法となり、また事故のもととなりますので、絶対におやめください。

※取扱説明書など、付属品を紛失した場合は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

## 設置場所について

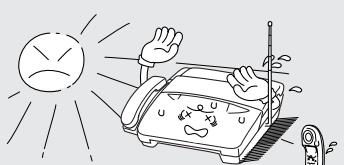
以下のような場所には設置しないでください。故障や変形、火災の原因となります。



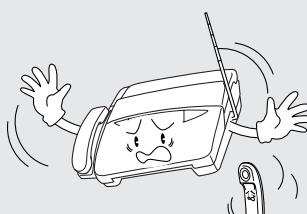
風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高い場所



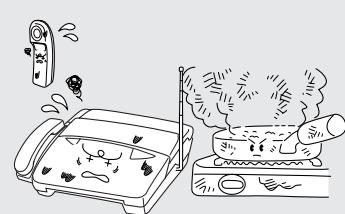
直射日光のあたるところや暖房設備のそばなど、温度の高い場所



ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所



調理台のそばなど、油飛びや湯気のあたる場所

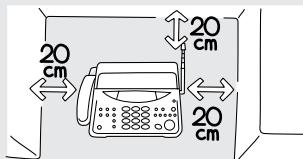




- テレビ、ラジオ、スピーカー、こたつなど、磁気の発生する場所
- いちじるしく低温な場所、急激に温度が変化する場所
- クーラー、換気口など、風が直接あたる場所
- ホコリ、鉄粉や振動の多い場所
- 換気の悪い場所
- 挥発性可燃物やカーテンに近い場所

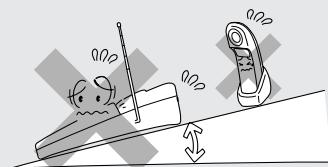
### 壁のそば

本機を正しく使用し性能を維持するために、設置スペースを確保してください。



### 傾いたところ

水平な机、台の上に設置してください。傾いたところに置くと正常に動作しない場合があります。



**本機をお使いいただける環境は次のとおりです。**

温度：5～35℃  
湿度：45～80%

### 電波障害時の対処

本機の近くに置いたラジオへ雑音が入ったり、テレビ画面にちらつきやゆがみが発生したりする場合があります。本機の電源コードをコンセントからいったん抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試してください。

- 本機をテレビから遠ざける。
- 本機、またはテレビなどの向きを変える。

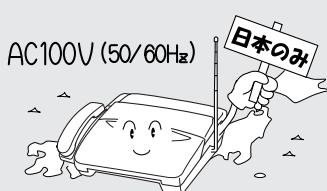
本機は、情報処理装置など電波障害自主規制協議会（VCCI）の規準に基づく、クラス B 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## 電源について

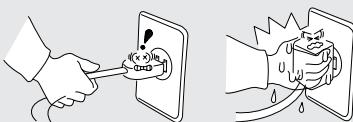
火災や感電、やけどの原因となります。



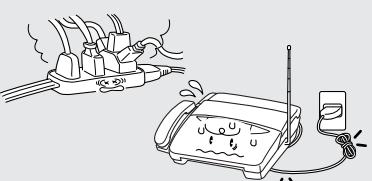
国内のみでご使用ください。海外ではご使用になれません。  
電源は AC100V・50Hz、または 60Hz でご使用ください。



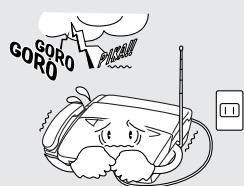
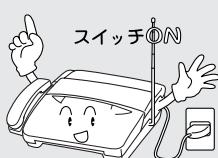
電源コードや AC アダプターを抜くときは、コードを引っぱらずに本体（金属でない部分）を持って抜いてください。  
ぬれた手で電源コードや AC アダプターを抜き差ししないでください。



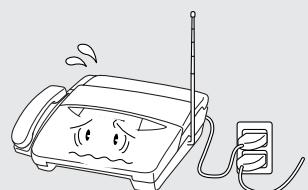
たこ足配線はしないでください。  
電源コードや AC アダプターの上に重いものをのせたり、コードをたばねたりしないでください。



電源コードや AC アダプターはコンセントに確実に差し込んでください。（本機には電源スイッチが付いていません）  
雷がはげしいときは、電源コードや AC アダプターをコンセントから抜いてください。（電源コードは抜きやすい所に差し込んでください。）



電源コンセントの共用にはご注意ください。複写機などの高電圧機器と同じ電源は避けてください。



## バッテリーについて

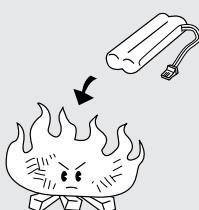


警告

- バッテリーは必ず専用のものをお使いください。
- バッテリーを指定以外の機器に使用しないでください。
- 専用の充電器を使用してください。



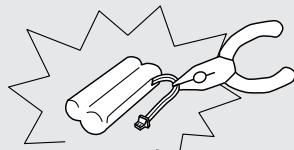
バッテリーを加熱したり、火中に投げ込まないでください。



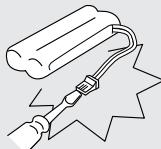
液漏れしたときは、液が目に入らないようにしてください。液が目に入ると、失明のおそれがあります。もし目に入ったら、こすらずにきれいな水で充分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。



分解、改造をしないでください。



バッテリー端子をショートさせたり、被覆をはがしたりしないでください。  
外装チューブをはがしたり、傷を付けたりしないでください。



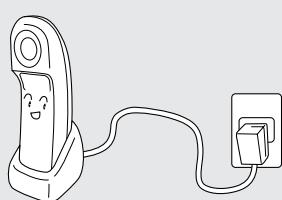
- バッテリーを子機から取り出して充電しないでください。
- 温度の高いところでは充電しないでください。
- 金属製品と一緒に保管しないでください。
- バッテリーの極性（+/-）を間違えないように入れてください。
- 電子レンジや高圧容器に入れないでください。

## コードレス子機について



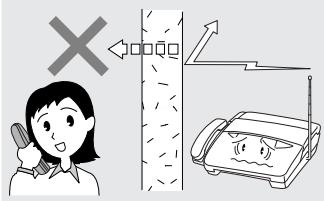
お願い

必ず充電してからお使いください。



MEMO

マンションなど鉄筋コンクリートの建物内や、金属製の家具の近くなどでは、電波の届く距離がかなり短くなることがあります。



親機からの見通し距離が約 100m 以内のところでご使用ください。  
ただし、以下のようなときは通話範囲内でも通話が切れたり、雑音が入ることがあります。

- 近くで別のコードレス電話を使用しているとき。
- 他の電波の影響を受けるような場所（OA 機器、AV 機器、蛍光灯のそばなど）で使用しているとき。
- 親機と子機の間に鉄筋コンクリート、金属板などの障害物があるとき。
- 移動しながら子機を使用しているとき。

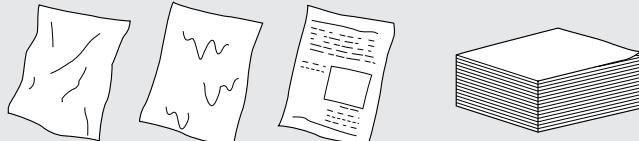
コードレス子機に雑音が入るときは次のような方法を試してください。

- 親機の近くで子機を使用する。
- 親機の向きを変える。
- 親機の置き場所を変える。
- 親機のアンテナの角度を前後、または右側に変える。
- 親機のアンテナの長さを変える。
- 親機のアンテナから AC アダプターのコードを遠ざける。（アンテナを巻き付けたり、引っかけたりしないでください。）

## 記録紙について



- しわ、折れのある紙、湿っている紙、一度記録した紙の裏などは使用しないでください。
- 記録紙の保管は、直射日光、高温、高湿を避けてください。



## 停電がおきたとき



### 停電時のデータについて

#### 消去されないデータ

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、各種登録・設定内容、子機に登録した電話帳

#### 数時間以上たつと消去されるデータ

着信記録、通信管理レポート、受信メモリー文書、録音されたメッセージ

#### 停電後すぐ消去されるデータ

送信メモリー文書

半日以上停電が続いたときは、日付が正しく表示されないことがあります。再設定をしてください。(☞ 11 ページ)



### 停電中は本体、子機ともに電話をかけることができません。

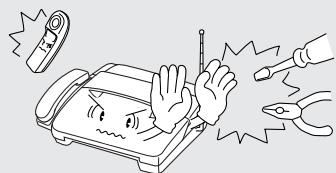
ファクシミリ・コピーも使用できません。停電時に備えて、停電中でも使える電話機を保管することをおすすめします。

## その他のご注意

そのまま使用すると故障や火災、感電の原因となります。



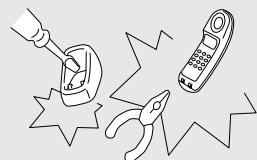
分解、改造をしないでください。修理などは販売店にご相談ください。(法律で罰せられることがあります)



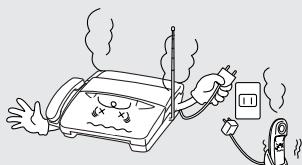
本機の上に水、薬品などを置かないでください。



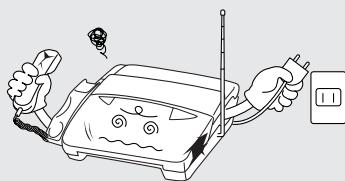
充電端子を金属でショートさせたり、金属の異物を入れないでください。



煙が出たり、変なにおいがしたときは、すぐに電源コードやACアダプターをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。



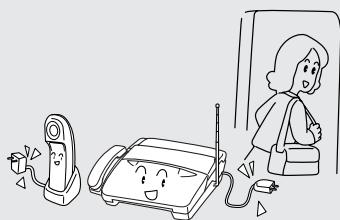
本機を落としたり、キャビネットを破損したときは、電源コードをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。



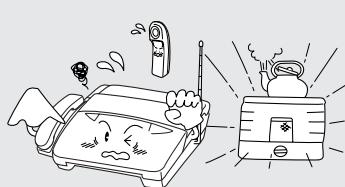
異物が入ったときは、電源コードやバッテリーをはずして、販売店にご相談ください。



長期間不在にするときは、電源コードをコンセントから抜いてください。



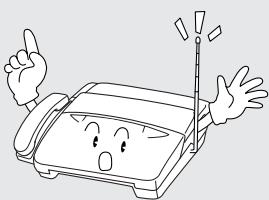
火気を近づけないでください。故障や火災・感電の原因となります。



子機を壁掛けにするときは、落下のおそれがあり、ケガの原因となることがあるので、確実に取り付け・設置してください。(☞ 15 ページ)



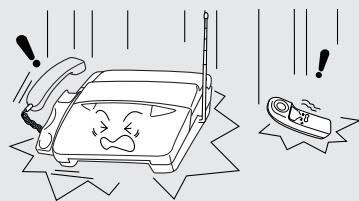
本機を移動するときは、アンテナを短くたたんでください。誤ってアンテナが目にあたって、ケガや事故の原因となることがあります。



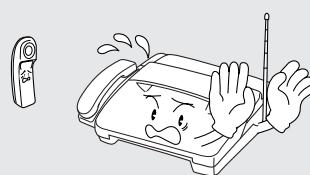
子機のベルが鳴る部分（スピーカー）には絶対に耳を近づけないでください。突然ベルが鳴って、事故やケガ、難聴の原因となることがあります。



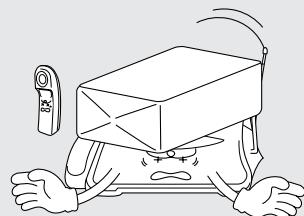
落下、衝撃を与えないでください。



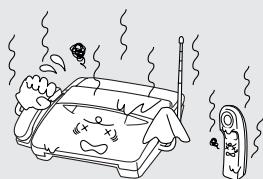
動作中に電源コードを抜いたり、開閉部を開けたりしないでください。



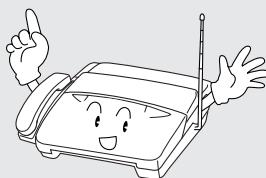
本機の上に重いものを置かないでください。



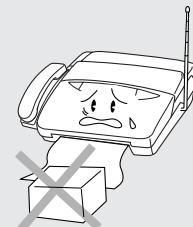
室内温度を急激に変えないでください。  
装置内部が結露するおそれがあります。



指定以外の部品は使用しないでください。



原稿排出の妨げになりますので、本体前方にはものを見かないでください。



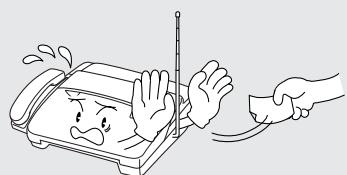
海外通信をご利用の際、回線の状況によっては正常な通信ができないときがあります。



NTT の支店・営業所から遠距離の場合には、お使いになれないことがありますので、最寄りの NTT の支店・営業所へご相談ください。(116番)



本機に貼られているラベル類ははがさないでください。



## コピーについて

法律によりコピーが禁じられているものがあります。

法律で禁止されているもの（絶対にコピーしないでください）

- 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
- 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用的郵便切手や官製はがき
- 政府発行の印紙、および酒税法や物品税法で規定されている証券類

以下のようなものをコピーするときには注意してください。

**著作権のあるもの**

- 著作権の目的となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でコピーすることは、禁止されています。

**その他注意を要するもの**

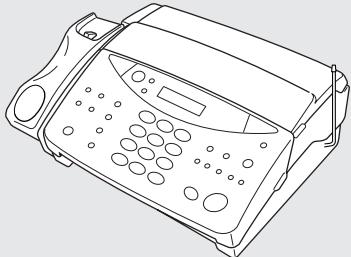
- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
- 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

## 付属品を確かめる

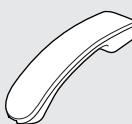
梱包箱の中には以下のがそろっているか、確かめてください。

万一不足しているものがあったり、取扱説明書に落丁・乱丁があったときは、「フリーダイヤル 0120-161170」にご連絡ください。

本体 1台



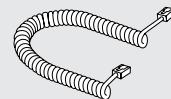
受話器 1台



電話機コード 1本



受話器コード 1本



※ 本体の中には約 90 枚分印字可能なリボンを取り付けたリボンカートリッジがセットされています。

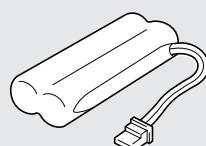
子機 1台



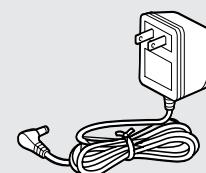
子機充電器 1台



子機用バッテリー 1個



子機用 AC アダプター 1個



壁掛け用木ネジ 2本

子機用バッテリーカバー 1個

保証書 1部

取扱説明書 1冊

設置ガイド 1部

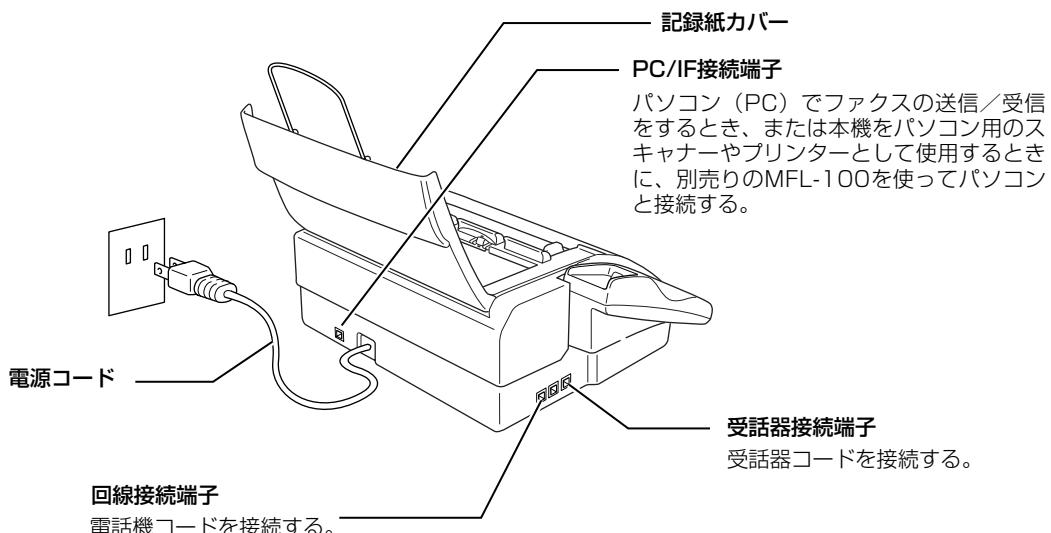
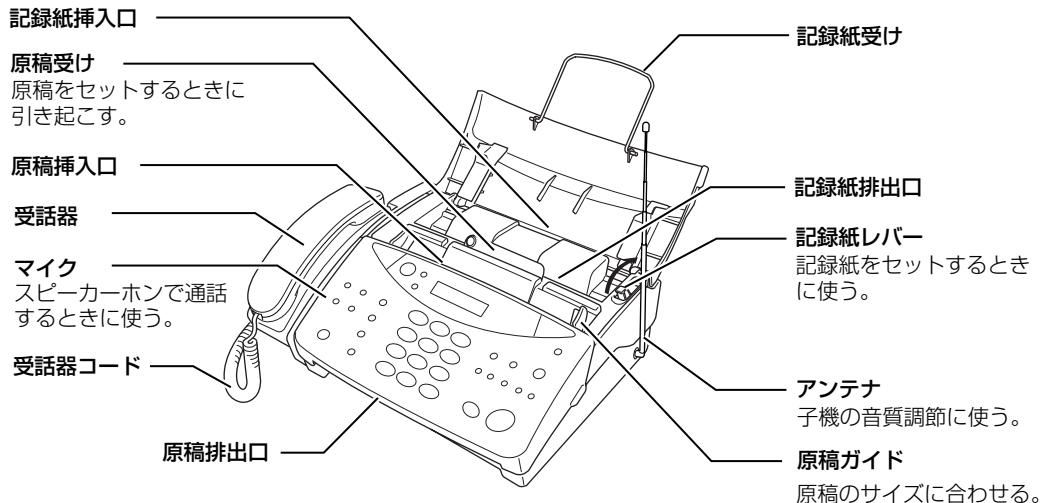
ご愛用者アンケート 1枚

記録用紙 (A4)

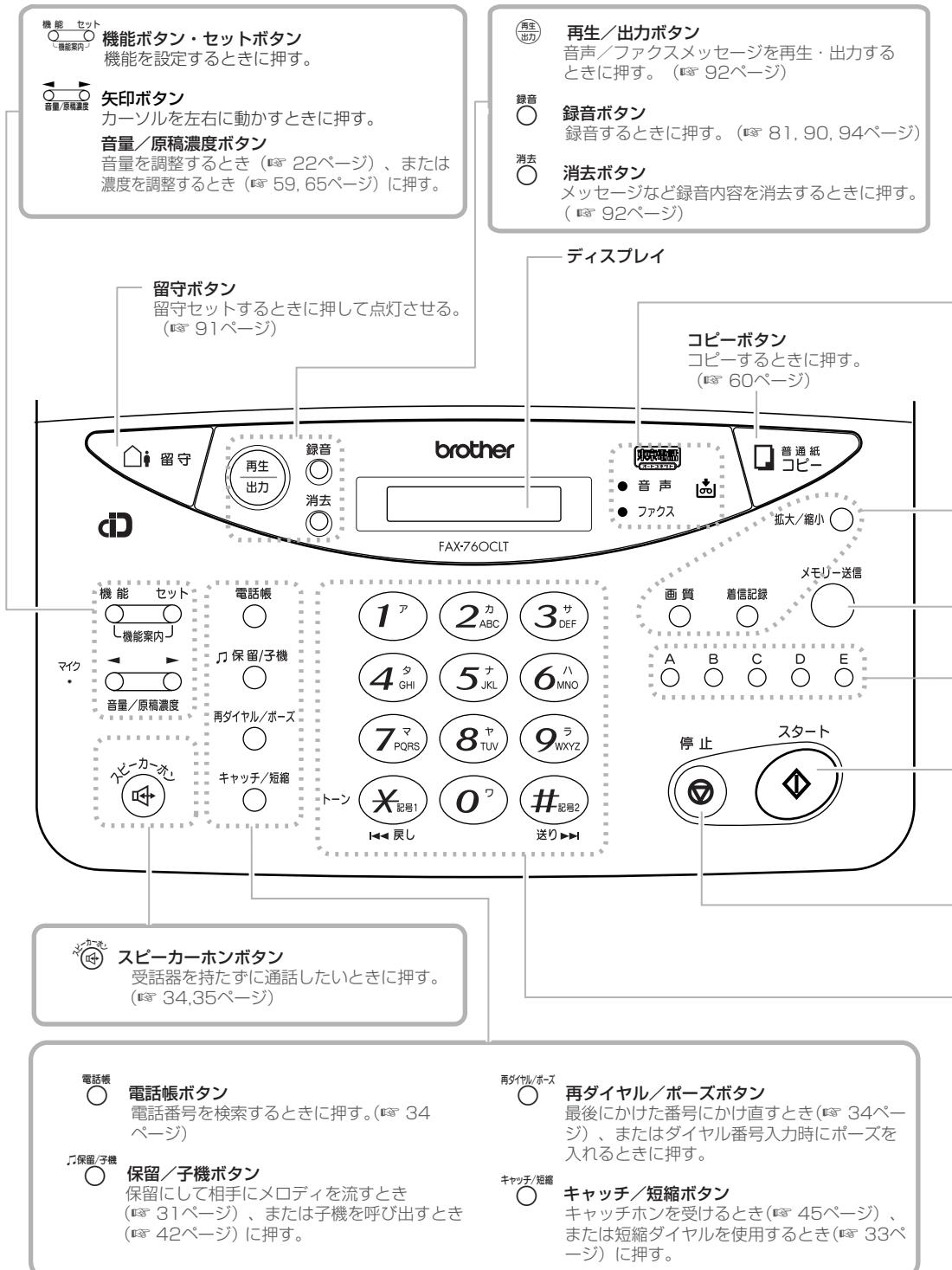
東京電話オートコネクト利用申込書

# 各部の名称とはたらき

## 親機



## 各部の名称とはたらき





### 東京電話ランプ

東京電話オートコネクトの利用状態を表す。  
(☞ 54ページ)



### リボン切れランプ

リボンの残量を表す。 (☞ 108ページ)



### 音 声 音声ランプ

(☞ 91ページ)



### ファクス ファクスランプ

(☞ 91ページ)



### 拡大／縮小ボタン

拡大／縮小するときに押す。 (☞ 61ページ)



### 画質ボタン

画質を調整するときに押す。 (☞ 59, 65ページ)



### 着信記録ボタン

着信記録を確認するとき (☞ 50ページ) に押す。

### メモリー送信ボタン

メモリー送信 (☞ 72ページ) 、順次同報送信  
(☞ 73ページ) をするときに押す。

### ワンタッチダイヤル

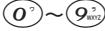
ワンタッチダイヤルを使用するときに押す。  
(☞ 18, 33ページ)

### スタートボタン

送信／受信するときに押す。

### 停止ボタン

操作を途中で中止するときに押す。



### ダイヤルボタン

ダイヤルするとき、または文字を入力するとき  
に押す。 (☞ 16, 33, 63ページ)



### トーン／戻しボタン

一時的にプッシュホンサービスを利用するとき  
(☞ 53ページ) 、または録音された前のメッセージ  
を聞くとき (☞ 92ページ) に押す。



### 送りボタン

録音された次のメッセージを聞くときに押す。  
(☞ 92ページ)

## ディスプレイについて

### <ディスプレイの特徴>

現在の状態やメッセージ、操作手順などを表示します。ディスプレイを見るだけで、次に何をすればいいのかが分かるようになっています。

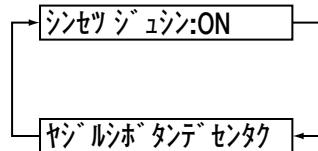
**brother**



FAX-760CLT

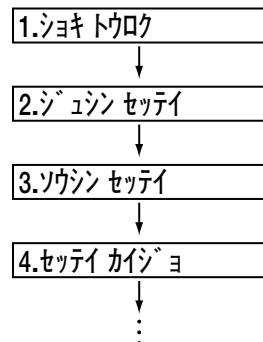
### <ディスプレイの交互表示>

現在設定されている機能と、次の手順へ進む方法についてのメッセージを約2秒間隔で交互に表示します。下の例では、現在「親切受信」設定が「ON」に設定されていることと、設定を変更するためには  で選択するという方法を表示しています。このようにメッセージに従って簡単に設定・登録することができます。



### <ディスプレイのスクロール>

**機能** ○を押すと、ディスプレイに各機能が次々と表示されます。



ディスプレイに設定したい機能が表示されたら **セッテイ** ○ を押します。(または (0)～(9) でその機能の番号を入力します。)

表示に従って入力することで、各種登録・設定することができます

## 子機

### ディスプレイについて

#### 〈ディスプレイの特徴〉

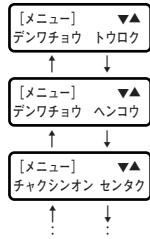


現在の状態またはメッセージを表示します。

#### 〈ディスプレイのスクロール〉

**キャッチ機能**を押し、ジョグスイッチを上下操作するとディスプレイに各機能が順に表示されます。

ディスプレイに設定したい機能が表示されたときにジョグスイッチを押すと、表示された項目を選ぶことができます。



#### 外線 外線ボタン

電話をかけるとき、受けるとき、切るときに押す。

#### ダイヤルボタン

設定(留守) ① ~ ⑨

ダイヤルするときに押す。  
(☞ 36ページ)

再生 停止 消去  
① ② ③ ⑤ ⑥

留守録メモリーを再生、送り、戻し、停止、消去するときに押す。

優先  
⑧

親機よりも先に着信ベルを鳴らすときに押す。  
(☞ 38ページ)

トーン  
※

トーン信号に切り換えるときに押す。

設定(留守)・解除  
① #

留守モードに設定・解除するときに押す。  
(☞ 93ページ)

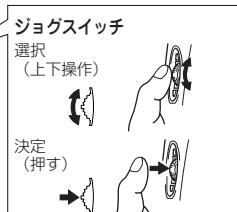
#### スピーカーホンボタン

受話器を持たずに通話したいときに押す。  
(☞ 37, 38ページ)

スピーカー

バッテリーカバー

充電端子



#### ディスプレイ

#### 内線 保留／内線ボタン

保留するとき、または内線通話するとき(☞ 31, 42ページ)に押す。

#### 電話帳 電話帳ボタン

電話番号を検索するときに押す。  
(☞ 36ページ)

#### 再ダイヤル／ポーズボタン

最後にかけた番号にかけ直すとき(☞ 36ページ)または、ダイヤル番号入力時にポーズを入れるときに押す。

#### 着信記録ボタン

着信記録を確認するときに押す。  
(☞ 51ページ)

#### 機能／キャッチボタン

機能モードに入るとき(☞ 118ページ)、連続再ダイヤルするとき(☞ 37ページ)、またはキャッチホンを受けるとき(☞ 45ページ)に押す。

#### 音量 音量ボタン

音量を調整するときに押す。  
(☞ 23ページ)

#### 子機充電器



# 準備のながれ

本機をお使いいただくためには、次のような準備が必要です。

## 本体（親機）の準備をする

- 1 本体（親機）を接続する
- 2 本体（親機）の初期設定をする

## 子機の準備をする

- 1 バッテリーを収納し、充電する
- 2 音質を調節する

## ダイヤル登録をする

- 1 親機の音量を設定する
- 2 子機の音量を設定する

オプションサービスを利用される方は、次の設定が必要です。

## 東京電話オートコネクトの設定をする

## ナンバーディスプレイサービスの設定をする

## キャッチホンディスプレイサービスの設定をする

## ダイヤルインサービスの設定をする

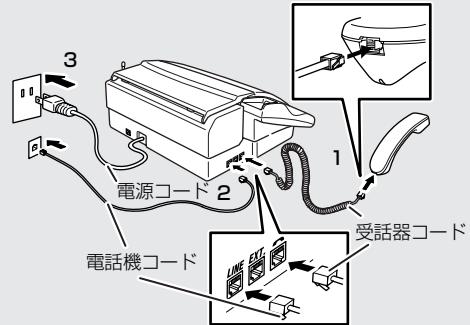
# 本体（親機）の準備をする

## 本体（親機）を接続し、回線種別の自動設定をする

いったん自動で回線種別を設定すると、電源コードを差し込み直しても再度自動で回線種別設定は行われません。設定し直したいときは手動で設定してください。[☞ 9 ページ](#)

### 1 本体と受話器に受話器コードを差し込む。

本体と受話器の接続端子に「カチッ」と音がするまで差し込みます。  
受話器は、本体の受話器受けに置きます。



### 2 本体と電話機コンセントに電話機コードを差し込む。

本体の回線接続（LINE）端子と電話機コンセントに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

### 3 電源コンセント（AC100V）に電源コードを差し込む。

電源コードを接続すると、本機が回線種別の自動設定を始めます。

### 4 本機が回線種別を自動的に設定します。

回線の自動設定が終了すると、ディスプレイに設定された回線種別が約2秒間表示されます。  
例) **PB がセンテス** (プッシュ回線に設定されたとき)

### 回線種別の設定が終了すると時計表示になります。

購入時にはリボンカウンタが既にセットされているため、通常1回目の電源入力では  
**リボンコカシマシカ?** → **1.M 2.1工** と表示されませんが、表示された場合は **2<sub>AB</sub>** (イイ工) を押してください。**リボンノコリヤク100%** が表示され、設定が終了します。

### ! 注意

1回目の電源入力時（上記の場合）に **1<sub>AB</sub>** (ハイ) を選ぶとリボンカウントが正しく行われません。  
ご購入時には、約90枚印字できるリボンが本体内にセットされており、そのリボンに応じたリボンカウンタの値がセットされています。  
次に詰替用リボンに交換されたときに**リボンコカシマシカ?** と表示された場合は、**1<sub>AB</sub>** (ハイ) を押してください。詰替用リボン（約235枚印字可）に応じたリボンカウントを行います。

### ○ お願い

本機を使用中に本体のカバーを開閉すると、ディスプレイに、リボンを交換したかどうかを確認するメッセージが表示されます。

リボンを交換していないときは、必ず **2<sub>AB</sub>** (イイ工) を押してください。

### MEMO

- 電話回線にはプッシュ（PBまたはトーン）回線とダイヤル（DPまたはパルス）回線の2種類があります。本機では、ご利用中の電話回線の種類に合わせて自動的に回線種別を設定することができます。
- 電話機コンセントのタイプについて
  - ・ 直接配線の場合（ローゼット／プレート）：最寄りのNTT窓口（116番）にご相談ください。
  - ・ 3ピンプラグ式コンセントの場合：市販のモジュラー付電話キャップをお買い求めください。

## ■ [テンキコード] → [セツクシテターサイ] と表示されたときは

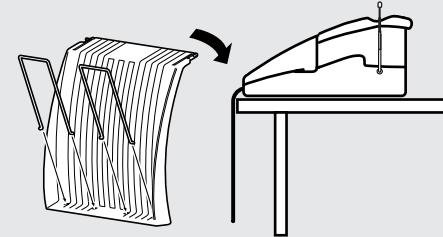
回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、上記のメッセージが表示されたときは、電話機コードが正しく接続されていません。電話機コードを正しく接続してください。正しく接続しないまま5分以上放置すると、回線種別は「20PPS」に設定されます。

## ■ [セティデキマセターサイ] と表示されたときは

回線チェック中に「ピピピ」という警告音が鳴り、上記のメッセージが表示されたときは、電話回線に何らかの問題があります。自動的に回線種別を設定することができませんので、手動で設定する必要があります。

### MEMO

- 構内交換機など一般と異なる回線につないでいるときは、自動設定できないことがあります。
- 本機を机の端などに置くときは、オプションの用紙受けトレイ（CT-70、部品コード：UF8732-001）をご使用ください。



## ■ 手動で回線種別を設定するには

電話回線に何らかの問題があり自動で回線種別を設定できなかったとき、または設定し直したいときは手動で回線種別を設定します。

回線の種別がわからないときは、下記の「利用中の回線種別の調べかた」を参照して、回線の種類を調べてから設定してください。

### 1 機能 (1) (1) を押す。

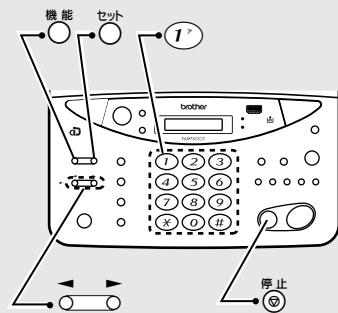
回線種別を設定するディスプレイが表示されます。

### 2 ▲/▼ でご利用の回線を選び、○を押す。

- ショボウ:PB : プッシュ回線のとき。
- ショボウ:10 PPS : ダイヤル回線の 10PPS のとき。
- ショボウ:20 PPS : ダイヤル回線の 20PPS のとき。
- ショボウ:ゾドウセッテイ : 自動設定を行うとき。

### 3 停止 (⑤) を押す。

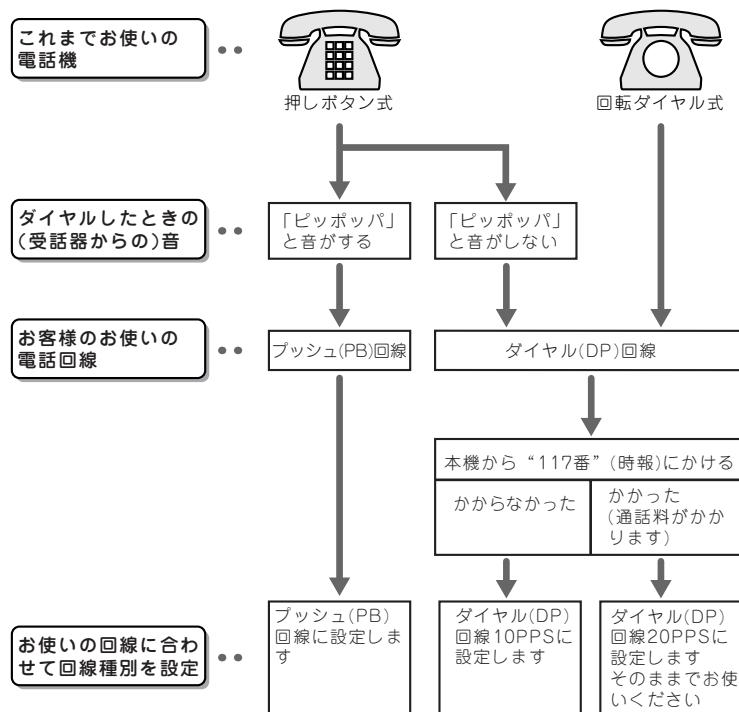
設定を終了します。



## 本体（親機）の準備をする

### ■ 利用中の回線種別の調べかた

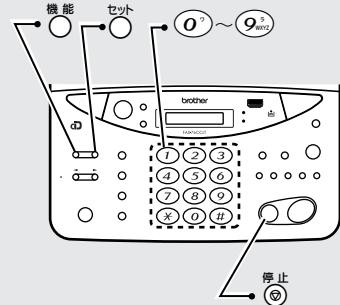
回線の種類は次の手順で調べることができます。もしわからないときは、最寄りの NTT の支店・営業所または NTT 窓口（116：無料）にお問い合わせください。



## 日付と時刻を合わせる（時計セット）

現在の日付と時刻を設定します。設定した日付と時刻はディスプレイに表示されるとともに、ファクスを送信したときに、相手側の記録紙に印字されます。

- 1 機能  $\textcircled{1}$   $\textcircled{2}_{\text{ABC}}$  を押す。  
年を入力するディスプレイが表示されます。
- 2  $\textcircled{0} \sim \textcircled{9}_{\text{WXYZ}}$  で西暦の下2桁を入力し、 $\textcircled{\text{セット}}$  を押す。  
月を入力するディスプレイが表示されます。
- 3  $\textcircled{0} \sim \textcircled{9}_{\text{WXYZ}}$  で月を2桁で入力し、 $\textcircled{\text{セット}}$  を押す。  
日を入力するディスプレイが表示されます。
- 4  $\textcircled{0} \sim \textcircled{9}_{\text{WXYZ}}$  で日を2桁で入力し、 $\textcircled{\text{セット}}$  を押す。  
時刻を入力するディスプレイが表示されます。
- 5  $\textcircled{0} \sim \textcircled{9}_{\text{WXYZ}}$  で時刻を24時間制で入力し、 $\textcircled{\text{セット}}$  を押す。  
停止  $\textcircled{\text{⑨}}$  を押す。
- 6 ディスプレイに登録した日付と時刻が表示されます。



例)  
'00 01/15 15:25  
2000年1月15日 午後3時25分

### ○お願い

- 東京電話をご利用の場合、表示時刻がずれると東京電話が正常に機能しないことがありますので定期的に時刻を確認してください。
- 数字を入れ間違えたときは 停止  $\textcircled{\text{⑨}}$  を押して最初から入力し直すか、 $\textcircled{\text{←}}/\textcircled{\text{→}}$  を押して間違えた箇所までカーソルを移動し、入力し直してください。

## 名前と電話番号を登録する（発信元登録）

あなたの名前と電話番号・ファックス番号を登録します。登録しておくと、ファックスを送信したときに、相手側の記録紙にあなたの名前とファックス番号が印字されます。

### ■ 登録する

#### 1 機能

**①** **③<sub>登録</sub>** を押す。

ファックス番号を入力するディスプレイが表示されます。

#### 2

**①** ~ **⑨<sub>次へ</sub>** でファックス番号を入力し、**セット** を押す。

電話番号を入力するディスプレイが表示されます。

#### 3

**①** ~ **⑨<sub>次へ</sub>** で電話番号を入力し、**セット** を押す。

名前を入力するディスプレイが表示されます。

- ファックス番号と同じ場合、再度同じ番号を入力してください。

#### 4

**①** ~ **⑨<sub>次へ</sub>** で名前を入力し、**セット** を押す。

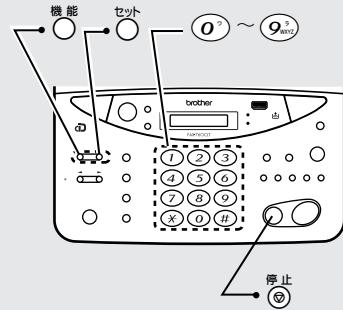
【※ 文字入力のしかた：16 ページ】

停止

#### 5

**⑩** を押す。

登録を終了します。



### ■ 変更する／消去する

#### 1

**機能** **①** **③<sub>登録</sub>** を押す。

「**登録する**」が表示されます。

#### 2

**①** を押す。

「**登録する**」の手順 1 で、ファックス番号が入力された状態のディスプレイが表示されます。

#### 3

停止 **⑩** を押して登録内容を消去する。

#### 4

変更するときは、「**登録する**」の手順 2 以降の設定を行う。

消去するときは、**セット** を押す。

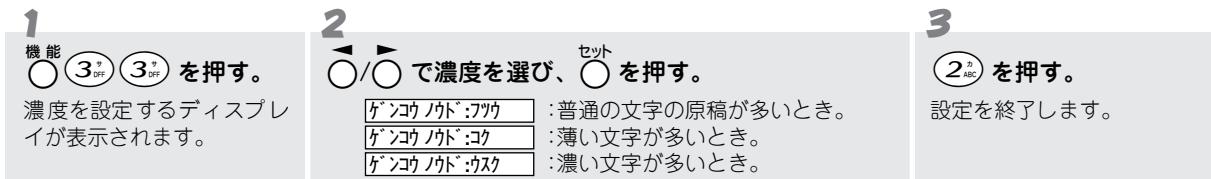
### MEMO

#### 登録について

- 文字入力のしかたは 16 ページを参照してください。
- 名前は 20 文字まで登録できます。
- ファックス番号・電話番号は 20 行まで登録できます。
- ファックス番号・電話番号の中に、「-」ハイフンや「()」カッコ、「\*」の入力はできません。

## 原稿の濃度を設定する

ファクスを送信したりコピーするときの原稿の濃度を設定します。いったん設定すると次に設定を変更するまで同じ濃度で原稿を読み取ります。

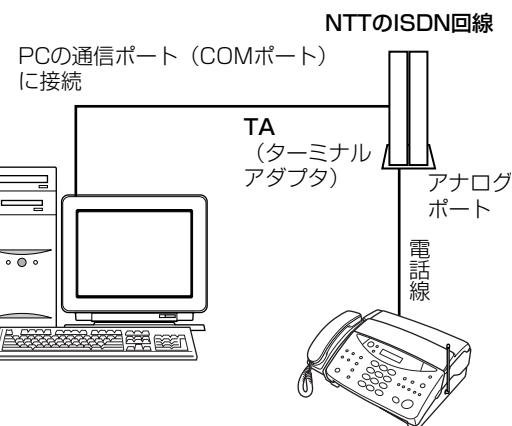


## ISDN を使用する場合は

本機を ISDN 回線の TA (ターミナルアダプタ) に接続する場合、次のことを確認してください。

- 本機 : 回線種別を「PB」に設定してください。
- TA : 本機を接続して電話がかけられること、また電話が受けられることを確認してください。

万一、本機が使用できないときは、TA の設定を確認してください。TA の設定の詳細は、TA の取扱説明書をご覧いただかず、製造メーカーにお問い合わせください。



### ○○ お願い

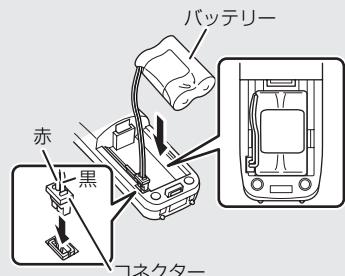
- ナンバーディスプレイサービスをご契約いただいている場合は、TA のデータ設定と本機の設定 (☞ 28 ページ) が必要です。
- 本機のダイヤルイン機能をご利用いただくには、「ダイヤルインサービス」の契約と、アナログポートへ着信番号データを送出することができる TA が必要です。

# 子機の準備をする

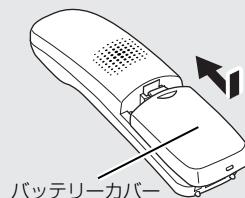
子機を使用するための準備をします。本機には1台の子機が付属されていますが、あと3台増設することができます。(子機は4台まで接続可能です。) 子機を増設したいときはお近くの販売店にご相談ください。(増設できる子機は、型名「BCL-300」および「BCL-300D」のみですのでご注意ください。)

## バッテリーを収納する

- 1 バッテリーのコネクターを差し込む。  
赤いコードを上側にして差し込みます。
- 2 バッテリーを子機に納める。

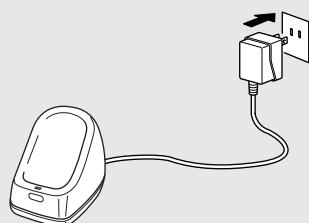
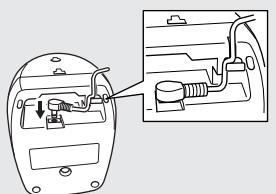


- 3 バッテリーカバーを閉める。  
上を押さえながら「カチッ」と音がするまで閉めます。



## 充電器を接続する

- 1 子機用ACアダプターのプラグを、充電器のACアダプターコード差込口に差し込む。
- 2 子機用ACアダプターのコードが抜けないように、溝に固定する。
- 3 子機用ACアダプターを電源コンセント(AC100V)に差し込む。

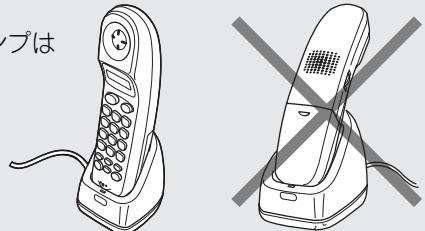


## バッテリーを充電する

子機は充電器に置いて充電します。はじめてご使用になるときは、必ず 15 時間以上充電してください。

### 子機のダイヤル面を前に向け、充電器にのせる。

充電中は充電ランプが赤色に点灯します。(充電が終わってもランプは消えません。)



### MEMO

バッテリーの残量が少なくなると、通話中に約 3 秒間隔で「ピッ ... ピッ ...」という音が鳴り、子機ディスプレイに **◆デンチノコリナ◆** と表示され、約 20 秒後に電話が切れます。切れる前に **内線** を押し、充電器に置いて親機の受話器で通話を続けてください。

### ○お願い

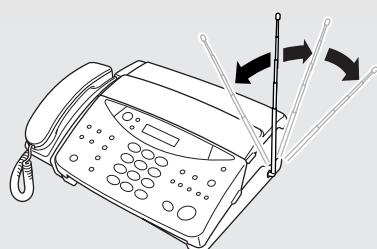
- 充電端子が汚れていると、充電ランプが点灯せず充電できないことがありますので、充電端子の汚れはこまめに拭き取ってください。
- 子機のバッテリーは消耗品です。充電しても使える時間が短くなったらバッテリーを交換してください。交換時期の目安は約 1 年です。交換バッテリー（型名：BCL-BT）は本機または子機をお買い上げの販売店でお求めください。
- 子機を使用していないときは、必ず充電器に置いてください。長時間放置しておくと、バッテリーが消耗して使用できなくなります。

## 子機の音質を調整する

本体に子機を接続したら、子機の音質をアンテナで調整します。

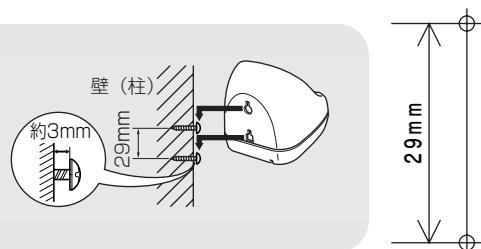
内線通話（親子間通話）で確認しながら、アンテナの角度・長さを前後／右側に調整する。（内線通話 ▶ 41 ページ）

- 子機に雑音が入るときは、アンテナの角度・長さを変えると解消することがあります。
- 電波が極端に弱くなる場所では、子機のご使用をさせてください。



## 充電器を壁に掛けて使用する

付属の壁掛け用木ネジ（2 本）を壁（柱）に取り付け、充電器を引っ掛ける。



# ダイヤル登録をする

本機では、「ワンタッチダイヤル（親機）」、「短縮ダイヤル（親機）」、「電話帳（子機）」などに電話番号や相手の名前を登録しておくと、簡単な操作で電話をかけることができます。

緊急時の連絡先やよく電話をかけるお友達の番号などを登録しておくと便利です。

また、ナンバーディスプレイサービスをご利用いただいている場合、かけてきた相手が本機に登録されていると、電話番号だけでなく、名前を表示することができます。

## 文字入力のしかた

ダイヤル登録をするときは、**(0)**～**(9)**、**(X)**、**(#)**を使って文字（相手の名前）を入力します。

（発信元の名前を登録するときや、送付書のコメントなどを作成するときも、同様の手順で文字を入力します。）

### ■ 文字入力表

ダイヤルボタンには、押す回数に応じて次のような文字（カタカナ、アルファベット、数字）が割り振られています。

押す回数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
親機	予機																
<b>(1)</b>	<b>(1)</b>	ア	イ	ウ	エ	オ	ア	イ	ウ	エ	オ	1					
<b>(2)</b>	<b>(2)</b>	カ	キ	ク	ケ	コ	A	B	C	2							
<b>(3)</b>	<b>(3)</b>	サ	シ	ス	セ	ソ	D	E	F	3							
<b>(4)</b>	<b>(4)</b>	タ	チ	ツ	テ	ト	ツ	G	H	I	4						
<b>(5)</b>	<b>(5)</b>	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	J	K	L	5							
<b>(6)</b>	<b>(6)</b>	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	M	N	O	6							
<b>(7)</b>	<b>(7)</b>	マ	ミ	ム	メ	モ	P	Q	R	S	7						
<b>(8)</b>	<b>(8)</b>	ヤ	ユ	ヨ	ヤ	ュ	ヨ	T	U	V	8						
<b>(9)</b>	<b>(9)</b>	ラ	リ	ル	レ	□	W	X	Y	Z	9						
<b>(0)</b>	<b>(0)</b>	ワ	ヲ	ン	・	・	—	0									
<b>(X)</b>	<b>(X)</b>	スペース	!	”	#	\$	%	&	,	( )	*	+	,	—	.	/	
<b>(#)</b>	<b>(#)</b>	:	;	<	=	>	?	@	[ ]	^	—						

### MEMO

「文字入力表」は親機の機能案内リストにも記載されています。☞ 103 ページ

## ■ 基本的な文字入力のしかた

操作	親機の場合	子機の場合
文字入力のしかた		
・ 文字入力	該当する (0) ~ (9 <sub>英</sub> ) を押す。	該当する (0) ~ (9 <sub>英</sub> ) を押す。
・ 文字と文字の間に空白を入れるには	( <del>X<sub>削除</sub></del> ) を1回押す。または ( ) を2回押す。	( <del>X<sub>削除</sub></del> ) を1回押す。または ( ) を2回下げる。
・ 同じダイヤルボタンを使って入力する文字が続くときは	( ) を1回押してカーソルを移動する。(移動しない場合は文字が重ね書きされる。)	( ) を1回下げる。(移動しない場合は文字が重ね書きされる。)
・ 文字を修正するには	( ) / ( ) で修正したい位置までカーソルを移動させ、入力しなおす。	( ) で修正したい位置までカーソルを移動させ、入力しなおす。
・ カーソル位置以降の文字を消去するには	停止 (◎) を押す。	音量 ( ) を押す。



文字の挿入はできません。

## ■ 文字の入力例

「発信元名称」や「電話帳登録」を行う場合の名前の入力を例に、基本的な文字入力のしかたを説明します。例として、「スズキ ケイコ」を入力します。

名前入力ディスプレイ	親機の場合	子機の場合
入力する文字		
ス	(3 <sub>OFF</sub> ) を3回押す。	[ナエ?スズキケイコ]
(次の文字に移動する)	( ) を1回押す。	( ) を1回下げる。
ズ	(3 <sub>OFF</sub> ) を3回押し、(0) を4回押す。	
キ	(2 <sub>ABC</sub> ) を2回押す。	
(空白)	( <del>X<sub>削除</sub></del> ) を1回押す。または ( ) を2回押す。	( <del>X<sub>削除</sub></del> ) を1回押す。または ( ) を2回下げる。
ケ	(2 <sub>ABC</sub> ) を4回押す。	
イ	(1 <sub>ア</sub> ) を2回押す。	
コ	(2 <sub>ABC</sub> ) を5回押す。	
(入力した文字の確定)	セット (○) を押す。	( ) を押す。

## ワンタッチダイヤルに登録する（親機のみ）

ワンタッチダイヤル A ~ E には、次の項目を登録することができます。

- 電話番号（20桁まで）
- 相手先名称（15文字まで）
- 登録内容の転送（子機の「電話帳」に登録する／しない）

また、NTTとナンバーディスプレイサービスを契約されていて、「ナンバーディスプレイ：アリ」に設定しているときは、以下の項目も設定することができます。この設定によって、迷惑電話の着信音を消したり、電話の相手を着信音で判断することができます。（「ナンバーディスプレイ：アリ」に設定していても、NTTとナンバーディスプレイサービスの契約をされていないときは、以下の設定は無効となります。また、「ナンバーディスプレイ：ナシ」に設定しているときは、以下の項目は設定できません。）

- 着信ベルを鳴らす電話機（スペチ／オヤキ／コキ／メイワクシティ）
- 着信ベル音（フツウ／パターン1／パターン2／パターン3）

### ■ 登録する

- 1** 機能 6<sub>MNG</sub> を押す。  
ワンタッチダイヤルを登録するディスプレイが表示されます。
- 2** 登録したい A ~ E を押す。  
電話番号を入力するディスプレイが表示されます。
- 3** 登録したい電話番号を入力し、 を押す。  
名前を入力するディスプレイが表示されます。
- 4** 相手の名前を入力し、 を押す。  
※ ナンバーディスプレイが設定されているときは手順5へ。  
ナンバーディスプレイが設定されていないときは手順7へ。
- 5** / で着信先を選び、 を押す。  

チャグシ:スペチ	セット	: 親機、子機とも着信ベルを鳴らすとき。
チャグシ:オヤキ	セット	: 親機のみ着信ベルを鳴らすとき。
チャグシ:コキ	セット	: 子機のみ着信ベルを鳴らすときは手順7へ。
チャグシ:メイワクシティ	セット	: 親機、子機とも着信ベルを鳴らさないときは手順7へ。
- 6** / で着信ベル音を選び、 を押す。  
着信ベルは音を聞きながら選択します。
- 7** / で子機の【電話帳】への登録「ナシ」または「ヨリ1」を選び、 を押す。  
※ 続けて登録をするときは手順2へ。
- 8** を押す。  
登録を終了します。

### ■ 変更する／消去する

- 1** 機能 6<sub>MNG</sub> を押す。  
ワンタッチダイヤルを登録するディスプレイが表示されます。
- 2** 変更したい A ~ E を押す。  
登録されている名前と が表示されます。
- 3** を押す。  
「登録する」の手順3で、電話番号が入力された状態になります。
- 4** 変更するときは、「登録する」と同様の手順で登録内容を変更する。  
消去するときは、 を押す。

### ■ 操作を中止するには

を2回押します。

# 短縮ダイヤルに登録する（親機のみ）

短縮ダイヤル（01～80）には、次の項目を登録することができます。

- 電話番号（20桁まで）
- 相手先名称（15文字まで）
- 登録内容の転送（子機の「電話帳」に登録する／しない）

また、NTTとナンバーディスプレイサービスを契約されていて、「ナンバーディスプレイ：アリ」に設定しているときは、以下の項目も設定することができます。この設定によって、迷惑電話の着信音を消したり、電話の相手を着信音で判断することができます。（「ナンバーディスプレイ：アリ」に設定していても、NTTとナンバーディスプレイサービスの契約をされていないときは、以下の設定は無効となります。また、「ナンバーディスプレイ：ナシ」に設定しているときは、以下の項目は設定できません。）

- 着信ベルを鳴らす電話機（スペテ／オヤキ／コキ／メイワクシティ）
- 着信ベル音（フツウ／パターン1／パターン2／パターン3）

## ■ 登録する

- 1 機能 6 (MNO) 2 (ABC) を押す。  
短縮ダイヤルを登録するディスプレイが表示されます。
- 2 登録したい短縮番号（01～80）を入力し、 を押す。  
電話番号を入力するディスプレイが表示されます。
- 3 登録したい電話番号を入力し、 を押す。  
名前を入力するディスプレイが表示されます。
- 4 相手の名前を入力し、 を押す。  
※ ナンバーディスプレイが設定されているときは手順5へ。  
ナンバーディスプレイが設定されていないときは手順7へ。
- 5 で着信先を選び、 を押す。

チャクシ:スペテ	：親機、子機とも着信ベルを鳴らすとき。
チャクシ:オヤキ	：親機のみ着信ベルを鳴らすとき。
チャクシ:コキ1	：子機のみ着信ベルを鳴らすときは手順7へ。
チャクシ:メイワクシティ	：親機、子機とも着信ベルを鳴らさないときは手順7へ。
- 6 で着信ベル音を選び、 を押す。  
着信ベルは音を聞きながら選択します。
- 7 で子機の「電話帳」への登録「ナシ」または「コキ1」を選び、 を押す。  
※ 続けて登録をするときは手順2へ。
- 8 停止 を押す。  
登録を終了します。

## ■ 変更する／消去する

- 1 機能 6 (MNO) 2 (ABC) を押す。  
短縮ダイヤルを登録するディスプレイが表示されます。
- 2 変更したい短縮番号を入力し、 を押す。  
登録されている名前と が表示されます。
- 3 を押す。  
「登録する」の手順3で、電話番号が入力された状態になります。
- 4 変更するときは、「登録する」と同様の手順で登録内容を変更する。  
停止 を押す。  
消去するときは、 を押す。

## ■ 操作を中止するには

停止 を2回押します。

## グループダイヤルに登録する（親機のみ）

「ワンタッチダイヤル」と「短縮ダイヤル」に登録された番号から複数の相手先を選択し、「グループダイヤル」としてワンタッチボタン  $\textcircled{O} \sim \textcircled{O}$  に登録することができます。

このグループダイヤルは、順次同報送信をするときに使用します。

グループダイヤルには、次の項目を登録することができます。

- グループ番号（1～5 の任意の番号）
- 相手先（「ワンタッチダイヤル」と「短縮ダイヤル」から最大 84 箇所まで）
- グループ名称（15 文字まで）

### ■ 登録する

- 1 機能  $\textcircled{6}_{\text{MINI}}$   $\textcircled{3}_{\text{DF}}$**  を押す。  
グループダイヤルを登録するディスプレイが表示されます。
- 2 登録したい  $\textcircled{A} \sim \textcircled{E}$  を押す。**  
[グループダイヤル:GO] が表示されます。
- 3 グループ番号（1～5）を入力し、 $\textcircled{SET}$  を押す。**  
宛先を入力するディスプレイが表示されます。  
● すでに登録されている番号を入力すると、[ヤリカシテクダサイ] と表示されます。このときは未登録の番号を入力しなおしてください。
- 4 相手先を入力し、 $\textcircled{SET}$  を押す。**  
例) ワンタッチダイヤル  $\textcircled{O}$  と短縮ダイヤル 05、06 を登録するときは、 $\textcircled{O}_{\text{キヤツチ/短縮}}$   $\textcircled{0}_{\text{5}}$   $\textcircled{0}_{\text{6}}$   $\textcircled{SET}$   
 $\textcircled{O}_{\text{MINI}}$  を押します。  
[NAME:] と表示されます。
- 5 グループ名を入力し、 $\textcircled{SET}$  を押す。**  
[ウケツケマシタ] が表示されます。
- 6 停止  $\textcircled{④}$  を押す。**  
登録を終了します。

### ■ 変更する／消去する

- 1 機能  $\textcircled{6}_{\text{MINI}}$   $\textcircled{3}_{\text{DF}}$**  を押す。  
グループダイヤルを登録するディスプレイが表示されます。
- 2 変更したいグループ番号  $\textcircled{A} \sim \textcircled{E}$  を押す。**  
登録されているグループ名と [ハニカミル2.シイ] が表示されます。
- 3  $\textcircled{1}$  を押す。**  
「登録する」の手順 4 で、宛先が入力された状態になります。
- 4 変更するときは、「登録する」と同様の手順で登録内容を変更する。  
消去するときは、停止  $\textcircled{④}$  を 2 回押し、 $\textcircled{SET}$  を押す。**

### ■ 操作を中止するには

停止  $\textcircled{④}$  を 2 回押します。

#### MEMO

1つの  $\textcircled{A} \sim \textcircled{E}$  には「ワンタッチダイヤル」か「グループダイヤル」のどちらか一方しか登録できません。

# 電話帳に登録する（子機のみ）

電話帳（100件まで）には、次の項目を登録することができます。

- 電話番号（20桁まで）
- 相手先名称（12文字まで）

また、NTTとナンバーディスプレイサービスを契約されていて、「ナンバーディスプレイ：アリ」に設定しているときは、以下の項目も設定することができます。この設定によって、電話の相手を着信音で判断することができます。（「ナンバーディスプレイ：アリ」に設定していても、NTTとナンバーディスプレイサービスの契約をされていないときは、以下の設定は無効となります。また、「ナンバーディスプレイ：ナシ」に設定しているときは、以下の項目は設定できません。）

- 着信ベル音（ツヅク／メロディ1／メロディ2／メロディ3）

## ■ 登録する

- 1 子機を充電器からとり、**(外線)**を押す。**(外線)**を消灯させる。充電器から外しているときはそのままです。
- 2 キャッチ機能を押し、**[1]**で「テンソウヨウトウカ」を選び、**[→]**を押す。残りの登録可能件数と電話番号を入力するディスプレイが表示されます。
- 3 登録したい電話番号を入力し、**[→]**を押す。名前を入力するディスプレイが表示されます。
- 4 相手の名前を入力し、**[→]**を押す。着信音を選択するディスプレイが表示されます。
- 5 **[1]**で着信ベル音を選び、**[→]**を押す。着信ベルは音を聞きながら選択します。残りの登録可能件数が表示されます。
- 6 キャッチ機能を押す。設定を終了します。

## ■ 変更する

- 1 子機を充電器からとり、**(外線)**を押す。**(外線)**を消灯させる。充電器から外しているときはそのままです。
- 2 キャッチ機能を押し、**[1]**で「テンソウヨウヘンカ」を選び、**[→]**を押す。検索する名前の頭文字を入力するディスプレイが表示されます。  
☞ 相手の名前で検索するときは手順3へ。  
最初から1件づつ検索するときは何も入力せず手順4へ。
- 3 相手の名前の頭文字を入力する。
- 4 **[1]**で変更したい相手先を選び、**[→]**を押す。「登録する」の手順3で、電話番号が入力された状態になります。
- 5 「登録する」と同様の手順で登録内容を変更する。

## ■ 消去する

- 1 「変更する」の手順4で変更したい相手先を選んだあと、**[6]**を押す。  
**ショウキョ?**  
1.スル 2.シイ  
が表示されます。
- 2 **[1]**を押す。選択した相手先が消去され、残りの登録可能件数が表示されます。

## ■ 操作を中止するには

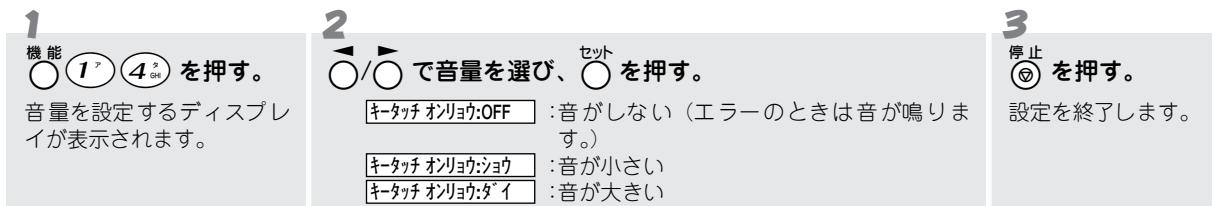
キャッチ機能を押します。

# 音量を設定する

## 親機の音量を設定する

### ■ キーフォン音を設定する

ダイヤルボタンなどを押したときに鳴る「ピッ」という音や、間違った操作をしたとき、紙づまりなど本機に異常が起きたとき、またファクス送受信終了時に鳴る「ピーッ」という音の音量を調整することができます。お買い上げ時の音量は、「ショウ」に設定されています。



### ■ ベル音量・スピーカー音量・受話音量を設定する

ベル音量（着信ベル音量、呼出ベル音量）・スピーカー音量・受話音量を調整します。

調整する音量	調整できるとき	調整のしかた	調整段階	ディスプレイ表示
ベル音量 (着信ベル音量、呼出ベル音量)	原稿がセットされていないくて電話をかけていないとき（待ち受け状態のとき）	◀：音量小 ▶：音量大	OFF～4段階	OFF ショウ ダイ 1段階 ショウ ダイ 2段階 ショウ■ ダイ 3段階 ショウ■■ ダイ 4段階 ショウ■■■ ダイ
スピーカー音量	・ を押し、スピーカーから「ツー」音が聞こえているとき ・スピーカーホンで相手と話しているとき	◀：音量小 ▶：音量大	OFF～4段階	OFF ショウ ダイ 1段階 ショウ■ ダイ 2段階 ショウ■■ ダイ 3段階 ショウ■■■ ダイ 4段階 ショウ■■■■ ダイ
受話音量	受話器で相手と話しているとき	◀：音量小 ▶：音量大	1段階↔2段階	1段階 ショウ■ ダイ 2段階 ショウ■■■ ダイ

### MEMO

親機のベル音量をOFFに（鳴らないように）設定しても、下記の場合は最小の音量で鳴ります。

- 呼出ベル
- [電話予約] 時のベル
- 内線や取り次ぎの呼出ベル  
(呼出ベル 80ページ、[電話予約] 67ページ)



## 子機の音量を設定する

### ■ ベル音量・スピーカー音量・受話音量を設定する

ベル音量（着信ベル音量、呼出ベル音量）・スピーカー音量・受話音量を調整します。

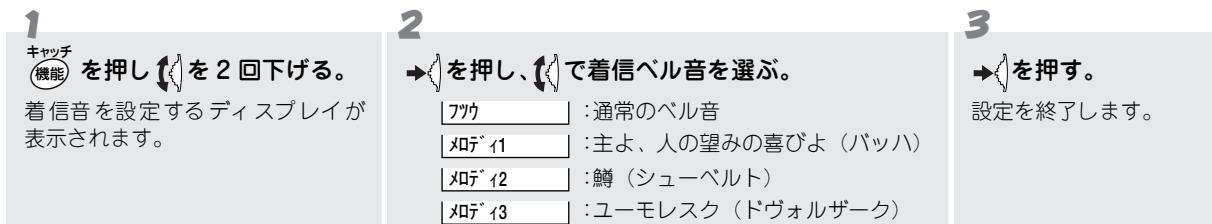
音量	調整できるとき	調整のしかた	調整段階	ディスプレイ表示
ベル音量 (着信ベル音量、呼出ベル音量)	充電器に置いているとき、または <sup>外線</sup> が消灯しているとき	音量  を押し続けると、順に音量が切り換わるので、設定したい音量のとき、音量  を離す。	OFF～2段階	OFF オリヨウ:オフ 1段階 オリヨウ:ショウ 2段階 オリヨウ:ダイ
スピーカー音量	スピーカーホンで相手と話しているとき	音量  を押すたびに切り換わる	1段階 ↔ 2段階	1段階 オリヨウ:ダイ 2段階 オリヨウ:アツ
受話音量	相手と話しているとき	音量  を押すたびに切り換わる	1段階 ↔ 2段階	

### MEMO

- 子機はベル音量を OFF に（鳴らないように）設定すると、ディスプレイに「ハルフ」と表示されます。
- 内線や取り次ぎの呼出ベルは「ショウ」で鳴ります。
- 子機のキータッチ音量は調整することはできません。

### ■ 着信ベル音を設定する

着信ベル音の鳴りかたを設定します。着信ベル音は、普通の鳴りかた以外に 3 つのメロディの中から選択することができます。お買い上げ時の着信ベル音は「フツウ」に設定されています。



### MEMO

- 手順 2 でジョグスイッチを上下操作させることにそれぞれのメロディが鳴りますので、聞きながら選択することができます。
- ハンズフリー着信を設定すると、着信音は通常のベル音で鳴ります。（ハンズフリー着信が可能な間のみ）
- 呼出ベル音は、鳴りかたを設定することはできません。（ベル音で鳴ります。）

# オプションサービスを利用される方は

## 東京電話オートコネクトの設定をする

### ■ 東京電話オートコネクトとは

市内通話から遠距離通話までおトクな東京電話へ自動的に接続して、電話をかける機能です。東京電話オートコネクトを利用すると電話をかけるとき、東京電話を選択する番号（0081）を押す必要がなく、今までどおりのかけかたで、おトクな東京電話が利用できます。

#### 注意

東京電話オートコネクトをご利用になるには、必ず TTNet（東京通信ネットワーク株式会社）への加入登録が必要です。TTNet へ申し込みをされていない方は、付属の「東京電話オートコネクト利用申込書」にてお申し込みください。基本料金や加入費用は一切かかりません。

### ■ 東京電話オートコネクトをご利用いただける方は

東京電話と東京電話オートコネクトをご利用になれる方は、TTNet サービスエリア内に（栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県の富士川以東、ただし離島は除く）にお住まいの方になります。

上記のサービスエリア外の方はご利用いただけません。

### ■ TTNet 以外からの料金請求について

- NTT の基本料金、付加料金、および携帯電話、PHS や 117、104、0990などの NTT 固有のサービスへの通話料金は従来どおり NTT より請求されます。
- 国際電話への通話は、利用された国際電話会社より請求されます。（東京電話の国際電話サービス（0082）を利用された場合は、TTNet からの請求となります。）
- 東京電話オートコネクトのバイパス機能が働いた場合、NTT より請求されます。（下記「○お願い」をご参照ください。）

#### お問い合わせは…

TTNet お客様センター TTNet フリーフォン：0081-1581（通話料無料）

受付時間： 9:00～21:00（年中無休）

※必ず、0081 からダイヤルしてください。

上記の番号でつながらない場合は、0120-158-165（通話料無料）

#### ○○お願い

- 東京電話オートコネクトは、本機（親機、子機）から電話をかけるときだけご利用になれます。（同じ回線につないでいる他の電話機から電話をかけても利用できません。）
- 東京電話を TTNet アダプターによりご利用中のときは、TTNet アダプターは不要となりますので、TTNet お客様センターへご連絡ください。また、他の電話会社のアダプターを利用されているときは、アダプターの取り外しと解約が必要です。利用されている電話会社へご連絡ください。
- 本機で西暦 日付、時刻を合わせていない場合でも、東京電話オートコネクトの手続きが完了すると、自動的に西暦、日付、時刻が設定されます。  
時刻がずれると、東京電話オートコネクトが正しく働かない場合がありますので、定期的に時刻を確認し、ずれていたら正しい時刻に設定し直してください。（☞ 11 ページ）。
- i・ナンバーサービス、ダイヤルインサービス、二重番号サービスをご利用になっている場合は、主番号を TTNet に登録する必要があります。
- 東京電話オートコネクト機能を一時的に働かせないで、NTT 回線を指定して電話をかけるときは、電話番号を押す前に、「0000」を押してください。
- 電話をかけるときや、かけ直すときは、「ツー」という発信音を確認してください。発信音を確認せずに電話をかけると、東京電話へ自動的に接続できないことがあります。また、○キャラチ/短縮 を押して電話を切ってかけ直すと、東京電話へ自動的に接続できません。電話を切るときは、受話器を戻して切ってください。
- 東京電話オートコネクトには、通話が混み合っている場合や TTNet の電話回線に故障が生じた場合でもお客様の通話を確保するために、通話を自動的に NTT 回線へバイパスさせる機能があります。（バイパス機能）

- 海外へ電話をかけるときに、東京電話の国際電話サービスを利用されるときは、選択番号（0082）をダイヤルしてください。
- 数時間以上の停電からの復帰時や電源コードが外れていたときは、日付と時刻がお買い上げ時の設定に戻ってしまい、「東京電話オートコネクト」が利用できなくなることがあります。その場合は、東京電話ランプが消灯しています。日付と時刻を設定し直すと、東京電話ランプが緑色点灯します。
- 日付と時刻を設定し直しても東京電話ランプが赤色点灯、または消灯している場合は、TTNet お客様センターへご連絡ください。
- 次の場合は、TTNet お客様センターへご連絡ください。
  - 既に、東京電話を TTNet アダプターにより、ご利用中のとき。
  - i・ナンバーサービス、ナンバーリクエスト、ボイスワープ、二重番号サービスをご利用中のとき。
  - 引っ越しなどにより、電話番号、住所等申し込み内容に変更があるとき。
  - 東京電話オートコネクトの利用を停止したとき。
  - 東京電話ランプが緑色に点灯したあと、何らかの理由により消えたとき、または赤色に点灯したとき。
  - ダイヤルイン番号に本機を設置したとき。
  - 本機を他の電話機、またはファクシミリと取り替えたとき。
- 次の場合は、「東京電話オートコネクト」をご利用いただけません。
  - TTNet サービスエリア外へ移転されるとき。
  - 本機を構内交換機設備（PBX）に接続してお使いになるとき。
 このような場合は、54 ページの「東京電話オートコネクトの利用を中止するには」の操作に従って、東京電話オートコネクトの解除し、TTNet お客様センター（☞ 24 ページ）へご連絡ください。

## ■ 東京電話オートコネクトを設定する

TTNet が提供する「東京電話オートコネクト」をご利用いただくためには、下記のような準備が必要です。

- (1) TTNet へのご利用申し込み（加入料・登録料・基本料は無料）
- (2) 本機の設定（自宅の電話番号を登録する）
- (3) オンラインデータ通信（電話回線を通じて自動的に行われます。）

## ● TTNet へ「東京電話オートコネクト利用申込書」をファックスする

必要事項を記入のうえ、付属の「東京電話オートコネクト利用申込書」をファックス送信します。店頭で申し込みがお済みの場合は不要です。

### ファックス送信先

TTNet お客様センター TTNet フリーフォン：0081-161-8111（通話料無料）

受付時間： 24 時間受付中

※必ず、0081 からダイヤルしてください。

上記の番号でつながらない場合は、0120-161-229（通話料無料）

「東京電話」の利用をされる方の名前と住所、お申し込み  
いただく電話番号を記入します。

## ● 東京電話オートコネクト利用申込書

## オプションサービスを利用される方は

### ● 自宅の電話番号を登録する

「東京電話オートコネクト」を利用するため、本機に自宅の電話番号を登録します。自宅の電話番号を登録していないときは、「東京電話ランプ」は赤色点灯しています。

電話番号を登録すると、本機が自動的に TTNet に電話をかけて、登録された電話番号を通知します（オンライン通信、通話料金無料）。

1  
機能  
 を押す。  
東京電話オートコネクトを設定するディスプレイが表示されます。

2  
 で「ON」を選び、 を押す。  
電話番号を入力するディスプレイが表示されます。  
TEL:  ニュウヨク/セットボタン

3  
 ~ で電話番号を入力し、 を押す。  
[カツカマタ] が表示されます。

4  
 を押す。

### 注意

- 市外局番から入れなかった場合や、9 枠以上 12 枠以内の番号以外で入力した場合、「ピピピ」と鳴ります。手順 1 からやり直してください。
- 携帯電話、PHS の番号は登録しないでください。
- 東京電話オートコネクトを利用しないかたは、自宅の電話番号を登録しないでください。
- 登録後、TTNet から利用準備または確認の連絡が入ることがあります。
- TTNet アダプターをご利用中のお客さまは、アダプターは不要となりますので、TTNet お客様センターへご連絡ください。

### ● 操作を中止するには

を押します。

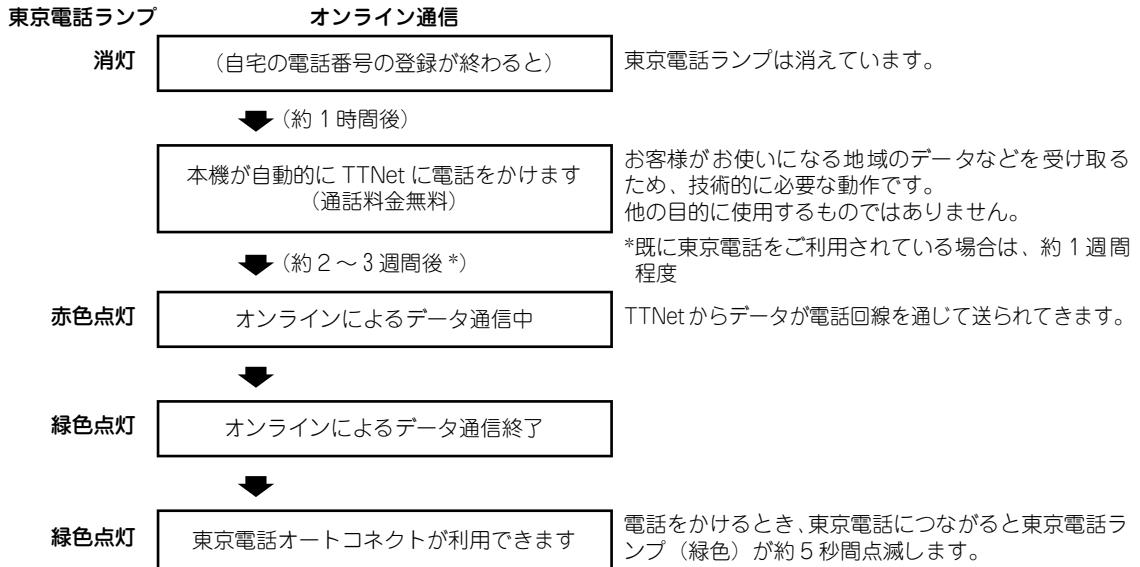
### ● 電話番号を間違えた、電話番号が変更になったときは

最初から操作をやり直してください。前の電話番号は書き換えられます。

最初から操作をやり直し、前の電話番号を書き換えます。

## ■ 自宅の電話番号の登録が終わると

自宅の電話番号の登録が終わると、約1時間後に、自動的にオンライン通信が行われます。



### MEMO

- 東京電話を利用できない電話番号へかけたときは、東京電話ランプは点滅しません。
- 東京電話を新規申し込みされた方へは、「開通のご案内」が送られてきます。

## ● オンラインによるデータ通信とは？

東京電話オートコネクトを利用するため、必要なデータをTTNetから電話機へ送る通信のことです。

データ通信のための電話がかかってきたとき、本機で電話を受けると、「ピポッパ」音が聞こえます。ディスプレイに「**オンラインチュウ**」と表示されたら、電話を切って約5分間お待ちください。このとき、ナンバー・ディスプレイの着信記録は残りません。

- 「在宅モード」「ムセイゲン」に設定していると、自動的にデータ通信が行えません。着信ベル回数を「ムセイゲン」以外に設定（☞80ページ）するか、留守モードに設定（☞91ページ）してください。
- 同じ回線につないでいる他の電話機で電話を受けた場合は、「ピポッパ」音を数回繰り返します。このときはデータ通信が行えませんので、いったん受話器を置いて、TTNet お客様センターへご連絡ください。
- 東京電話オートコネクトの手続きが終了すると、日付、時刻はTTNet標準時刻に書き換えられます。
- 東京電話ご利用開始後に、データ変更やメンテナンスのため、本機からTTNetへ自動で電話をかけることがあります（通話料無料）。

## ● データ通信中に電話をかけようとする

データ通信中は、東京電話ランプは赤色点灯していますが、そのときでも、親機では電話をかけることができます。電話をかけるには、受話器を上げ、「ピーピーピーピーピー」という音を確認してから電話をいったん切り、しばらく待ってからおかけ直しください。

その場合、データ通信は中断され、後ほど再び行なわれます。ただし、データ通信は東京電話オートコネクトを利用するのに必要なものなので、データ通信中はできるだけ電話の利用をお控えください。

## オプションサービスを利用される方は

### ■ 登録した電話番号を変更するには

移転などで、本機にすでに登録されている電話番号を変更するときは、電話番号を登録し直す必要があります。電話番号を登録し直すと、本機が自動的に TTNet に電話をかけて、登録された電話番号を通知します（通話料金無料）。

- 1 機能 セット を押す。  
東京電話オートコネクトを設定するディスプレイが表示されます。
- 2 で「ON」を選び、 を押す。  
電話番号を入力するディスプレイが表示されます。  
TEL:052123XXXX ハンケイ 1.スル 2.シケイ
- 3 を押し、 ~ で電話番号を入力し、 を押す。  
「カケマシタ」が表示されます。
- 4 停止 を押す。

#### ! 注意

- 電話番号が変更になったときは、必ず TTNet お客様センター（☞ 24 ページ）へご連絡ください。

#### MEMO

- 電話番号は 9 枠から 12 枠で登録します。
- 電話番号を登録するときは、 ~ 以外のボタンは使用できません。
- 一度登録した電話番号は、消去できません。

## ナンバーディスプレイサービスの設定をする

ナンバーディスプレイサービス（☞ 48 ページ）を利用しないとき、利用を一時的に停止するときなどは、次の手順で本機の設定をします。

お買い上げ時は「アリ」に設定されています。NTT とナンバーディスプレイサービスの契約をしていないときは、「ナシ」に設定してください。

#### 注意

本機の設定だけでは、ディスプレイに相手の電話番号は表示されません。「ナンバーディスプレイサービス」をご利用いただくためには、NTT との契約が必要です。（有料）

- 1 機能 を押す。  
ナンバーディスプレイサービスを設定するディスプレイが表示されます。
- 2 でナンバーディスプレイの設定「アリ」または「ナシ」を選び、 を押す。  
「アリ」または「ナシ」が選択されたことを示すメッセージが表示されます。
- 3 停止 を押す。  
設定を終了します。

#### MEMO

- ナンバーディスプレイサービスを利用されるときは、着信ベル回数（☞ 80 ページ）を 3 回以上に設定してください。2 回以下に設定している場合、子機のディスプレイに相手先の電話番号が表示されないことがあります。
- ダイヤルイン（モデムダイヤルインを除く）、転送電話など、同時に利用できないサービスがあります。
- ISDN 回線をご利用のときは、ナンバーディスプレイ対応のターミナルアダプターが必要になります。

# キャッチホンディスプレイサービスの設定をする

## ■ キャッチホンディスプレイサービスとは

キャッチホンディスプレイサービスは、NTTが行っているサービスの1つで、外線通話中の着信相手先の電話番号をディスプレイに表示させるサービスです。サービスの詳細についてはNTT(116番)にお問い合わせください。

### 注意

本機の設定だけでは、ディスプレイに相手の電話番号は表示されません。「キャッチホンディスプレイサービス」をご利用いただくためには、「キャッチホン、またはキャッチホンII」(☞45ページ)と「ナンバーディスプレイサービス」(☞48ページ)を契約した上で、別途NTTとの契約が必要です。(有料)

## ■ キャッチホンディスプレイサービスの設定をする

キャッチホンディスプレイサービスを利用されるときは、次の手順で本機の設定をします。

お買い上げ時は「ナシ」に設定されています。

1 機能  
① ② ③ を押す。

キャッチホンディスプレイサービスを設定するディスプレイが表示されます。

2 ○/○ で「キャッチディスプレイ:アリ」を選び、  
セット  
○ を押す。

3 停止  
④ を押す。  
設定を終了します。

# ダイヤルインサービスの設定をする

ダイヤルインサービス(☞52ページ)を利用されるときは、次の手順で本機の設定をします。

お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

### 注意

- 「ダイヤルインサービス」をご利用いただくためには、NTTとの契約が必要です。(有料)
- 「ダイヤルインサービス」加入後は、サービス開始と同時に本機の「ダイヤルインサービスの設定」を行ってください。サービス開始前に本機の設定を行ったり、サービスが開始されているのに本機の設定が行われていない場合、電話が受けられないことがあります。
- ISDN回線をご利用いただいている場合は、アナログポートへ着信番号データを送出することができるTAが必要です。また、この場合はTAのデータ設定を行った後、本機の設定(本項)を行います。

1 機能  
① ② ④ を押す。

ダイヤルインサービスを設定するディスプレイが表示されます。

2 ○/○ で「ON」を選び、  
セット  
○ を押す。

[ダイヤルイン:ON] :  
ダイヤルインサービスを利用するとき。  
[ダイヤルイン:OFF] :  
ダイヤルインサービスを利用しないとき。

3 ○/○ でモードを選び、  
セット  
○ を押す。

[モード:デジタル/ファクス] :  
電話とファクスを別々の番号で使用します。  
[モード:オキシコキ] :  
親機と子機を別々の番号で使用します。

4 ① ~ ⑨ で主番号(下4桁)を  
セット  
入力し、  
○ を押す。

5 ① ~ ⑨ で副番号(下4桁)  
を入力し、  
セット  
○ を押す。

☞手順3で[モード:デジタル/ファクス]を選択したときは手順6へ。  
手順3で[モード:オキシコキ]を選択したときは手順7へ。

6 ○/○ でファクスペル回数を  
選び、  
セット  
○ を押す。

ファクスペル回数は「0~7回」の中から選びます。

7 停止  
④ を押す。  
設定を終了します。

### MEMO

- お買い上げ時は「ファクスペル回数」(手順6)は「0回」に設定されています。ペルが鳴らずにファクスを受信します。
- 登録し直すときは、手順2で一度「OFF」を設定し、もう一度、手順1から設定しなおしてください。

# こんなことができます

## 親機で電話をかけるには

登録した番号から探してかける  
[電話帳]  
(☞ 34ページ)

最後に電話した相手にかける  
[再ダイヤル]  
(☞ 34ページ)

受話器を持たずにかける  
[スピーカーホン]  
(☞ 34ページ)

よく電話する相手にかける  
[短縮ダイヤル]  
(☞ 33ページ)

最近かかってきた相手にかける  
[着信記録] (☞ 50ページ)  
※ナンバーディスプレイ  
契約時のみ

よく相手にかける  
[ワンタッチダイヤル]  
(☞ 33ページ)

ダイヤルボタンでかける  
(☞ 33ページ)

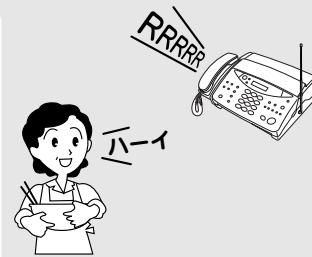
## 親機で電話を受けるには



受話器をとって受ける  
(☞ 35ページ)

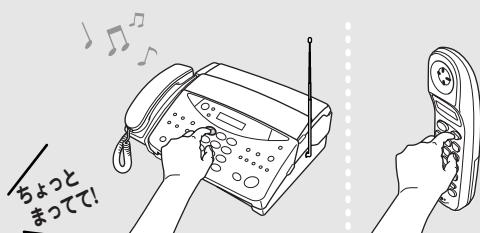


受話器を持たずに受ける  
[スピーカーホン]  
(☞ 35ページ)



「ハーハー」で受ける  
[ハンズフリー着信]  
(☞ 39ページ)

## 通話のときは



図で通話のしかたを切り換えることができます。

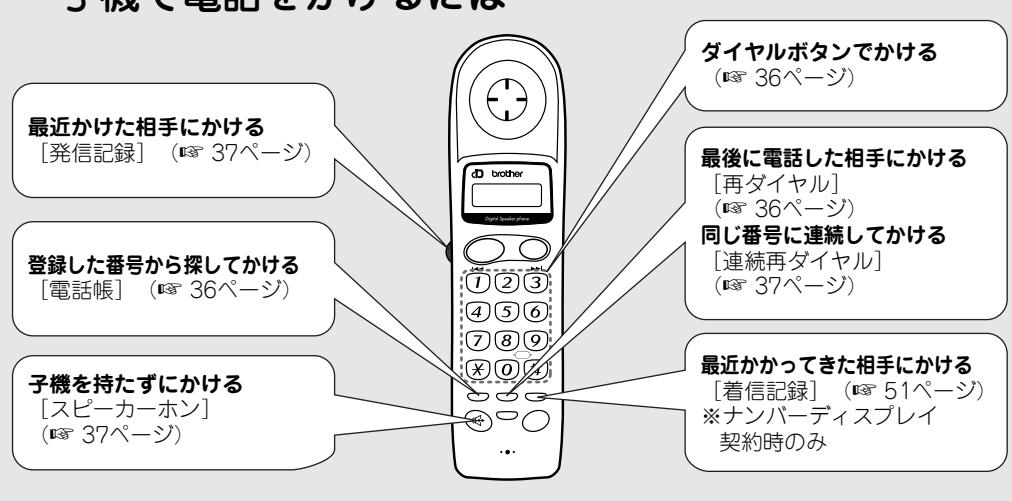
みんなで通話の相手と話をするときなど、スピーカーホンを使うと便利です。  
(最初からスピーカーホンで通話することもできます。)

ちょっと待って欲しいとき、  
内線  
（保留）で電話を保留することができます。



親機で通話しているとき、〇で通話を録音することができます。 (☞ 94ページ)

## 子機で電話をかけるには



## 子機で電話を受けるには



## 内線通話をするには

親機と子機で通話する／親機から子機へ呼びかける／電話を取り次ぐ (☞ 41ページ)

### MEMO

#### ● バッテリーの残量が少なくなると

通話中にバッテリーの残量が少なくなると「ピッ... ピッ...」(約3秒間隔)という音が鳴り、子機ディスプレイに「内線 テゾノコリナ」と表示された後、約20秒後に電話が切れます。切れる前に保留を押して充電器に置き、親機の受話器をとって通話を続けてください。

#### ● 通話圈外警告音

コードレス子機の使用圏内(見通し距離で親機より約100m以内)を超えて使用すると、子機ディスプレイに「ウカケガイ」と表示され、15秒間「ピッ... ピッ...」(約1秒間隔)というアラーム音が鳴ったあと、電話が切れます。15秒以内に使用圏内に戻ればアラーム音が鳴りやみ、通話が継続できます。

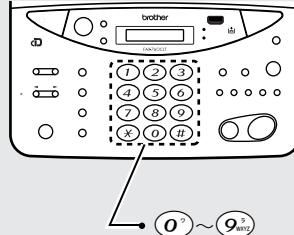
# 親機で電話をかけるには

## ダイヤルボタンでかける

ダイヤルボタンで相手の電話番号を押して電話をかけます。

- 受話器をとり、 $(0)$  ~  $(9_{\text{INT}})$  で相手の電話番号を押す。

- 相手が電話に出たら通話をし、通話が終わったら受話器を戻す。



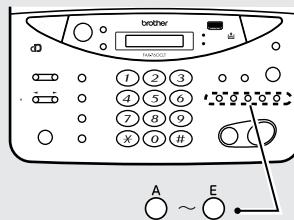
## ワンタッチダイヤルでかける

$\textcircled{A}$  ~  $\textcircled{E}$  に登録した電話番号に電話をかけます。

(電話番号はあらかじめ  $\textcircled{A}$  ~  $\textcircled{E}$  に登録しておきます。  $\Rightarrow$  18 ページ)

- 受話器をとり、 $\textcircled{A}$  ~  $\textcircled{E}$  を押す。

- 相手が電話に出たら通話をし、通話が終わったら受話器を戻す。



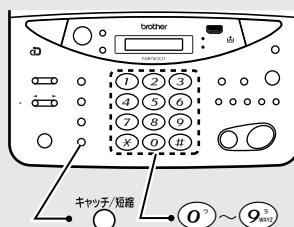
## 短縮ダイヤルでかける

短縮番号（01 ~ 80）に登録した電話番号に電話をかけます。

(電話番号はあらかじめ「短縮ダイヤル」として登録しておきます。  $\Rightarrow$  19 ページ)

- 受話器をとり キャッチ/短縮  $\textcircled{0}$  を押し、 $(0)$  ~  $(9_{\text{INT}})$  で短縮番号（01 ~ 80）を押す。

- 相手が電話に出たら通話をし、通話が終わったら受話器を戻す。



## 電話帳から探してかける

「ワンタッチダイヤル」や「短縮ダイヤル」に登録してある電話番号を、「名前の頭文字」で呼び出して電話をかけます。(名前の頭文字を入力しない場合は、『カナ（五十音順）→アルファベット→数字→記号→名前未登録の電話番号』の順に電話番号を呼び出すことができます。)

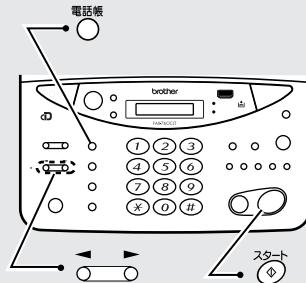
**1** 受話器をとり、を押す。

**2** 相手の名前の頭文字を入力する。

※ 文字入力のしかた：16 ページ  
名前の頭文字を入力しない場合は手順 3 へ。

**3** /を押して相手の名前を表示させ、を押す。

**4** 相手が電話に出たら通話をし、通話が終わったら受話器を戻す。

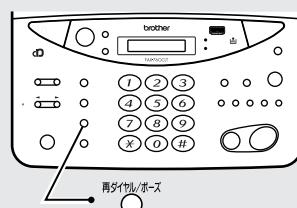


## 再ダイヤルでかける

親機で最後にかけた電話番号に電話をかけます。

**1** 受話器をとり、を押す。

**2** 相手が電話に出たら通話をし、通話が終わったら受話器を戻す。



### MEMO

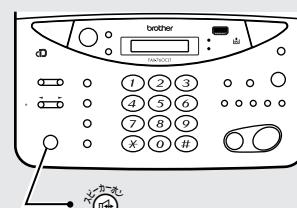
子機で最後にかけた電話番号に、親機から「再ダイヤル」で電話をかけることはできません。(本機は、親機と子機で別々に電話番号を記憶しています。)

## スピーカーホンでかける

受話器を置いたまま電話をかけ、本体のマイク（スピーカーホン）を使って相手と通話します。

**1** を押し、相手の電話番号をダイヤルする。

**2** 相手が電話に出たらマイクに向かって通話をし、通話が終わったらを押す。



### MEMO

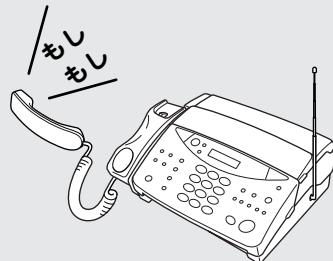
- まわりの騒音などによって相手の声やこちらの声が聞こえにくいときがあります。そのときは受話器を持って通話してください。
- 操作を中止するときやかけ直すときは、もう一度、受話器を置いてください。(スピーカーホンで通話しているときは、を押してください。)

# 親機で電話を受けるには

## 受話器をとって受ける

着信ベルが鳴ります。

- 1 受話器をとる。  
電話がつながります。
- 2 通話が終わったら受話器を戻す。



## 受話器を持たずに受ける（スピーカーホンで通話する）

受話器を置いたまま電話を受け、本体のマイク（スピーカーホン）を使って相手と通話します。

着信ベルが鳴ります。

- 1 ベルを押す。  
電話がつながります。
- 2 通話が終わったら ベルを押す。



### MEMO

まわりの騒音などによって相手の声やこちらの声が聞こえにくいときがあります。そのときは受話器を持って通話してください。

# 子機で電話をかけるには

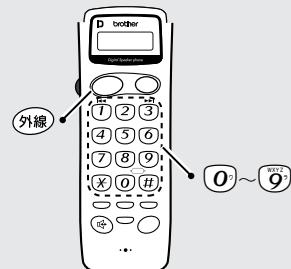
## ダイヤルボタンでかける

1 充電器から子機をとる。(外線) を点灯させる。)

充電器から外しているときは(外線)を押します。

2 (0) ~ (9) で相手の電話番号を押す。

3 相手が電話に出たら通話をし、通話が終わったら(外線)を押す。



### MEMO

充電器から子機をとって、約15秒間(0)~(9)を押さなかった場合、「ピピッピピッピッ...」という音が鳴ります。このときは、ダイヤルするか、一度、子機を充電器に戻してください。

## 電話帳から探してかける（ジョグスイッチでかける）

子機の「電話帳」に登録してある電話番号を「名前の頭文字」で呼び出して電話をかけます。（名前の頭文字を入力しない場合は、『数字→アルファベット→カナ（五十音順）→記号→名前未登録の電話番号』の順に呼び出すごことができます。）

1

充電器から子機をとり、(外線)を押す。(外線)を消灯させる。)

充電器から外しているときはそのままです。

2

電話帳 (○) を押し、続けて相手の名前の頭文字を入力する。

☞ 文字入力のしかた：16ページ  
名前の頭文字を入力しないときは手順3へ。

3

左側 (○) で相手の名前を表示させ、  
右側 (○) または(外線)を押す。

4

相手が電話に出たら通話をし、通話が終わったら(外線)を押す。

### MEMO

操作を中止するときは、(○)を押します。

## 再ダイヤルでかける

子機で最後にかけた電話番号に電話をかけます。

1

充電器から子機をとる。(外線)を点灯させる。)

充電器から外しているときは(外線)を押します。

2

再ダイヤル/P (○) を押す。

3

相手が電話に出たら通話をし、通話が終わったら(外線)を押す。

## 連続再ダイヤルでかける

連続 15 回まで、自動的に「再ダイヤル」します。チケットを予約する時など、相手につながるまで何度も再ダイヤルしたいときに便利です。

- 1 充電器から子機をとる。  
(外線) を点灯させる。  
充電器から外しているときは (外線) を押します。
- 2 キャッチ 再ダイヤル/P 機能 を押す。  
相手が電話に出ると自動的にスピーカーホン状態になります。
- 3 相手が電話に出たら、そのままスピーカーホンで通話するか、  
を押し、子機を持って通話する。
- 4 通話が終わったら 外線 を押す。

### MEMO

- 操作を中止するときは、(外線) を押します。(外線) を消灯させます。
- まわりの騒音などによって連続再ダイヤルができないことがあります。そのときは最初からやり直してください。

## 発信記録からかける

以前かけた電話番号に、簡単な操作で電話をかけます。(子機は以前かけた電話番号を新しい順に 10 件まで記憶しています。)

- 1 充電器から子機をとり、(外線) を押す。  
(外線) を消灯させる。  
充電器から外しているときはそのままです。
- 2 再ダイヤル/P を押し でかけたい電話番号を選び、または (外線) を押す。
- 3 相手が電話に出たら通話し、通話が終わったら (外線) を押す。

### ■ 発信記録を 1 件ずつ消去するには

消去したい番号を表示し、 (6) (消去) を押します。

### ■ 発信記録をすべて消去するには

キャッチ 機能 で「ハッシュキロク クリア」を選び、 (1) を押し、 (1) を押します。

## スピーカーホンでかける

子機を置いたまま電話をかけ、子機のマイクを使って相手と通話します。

- 1 を押し、相手の電話番号をダイヤルする。
- 2 相手が電話に出たらマイクに向かって通話をする。
- 3 通話が終わったら (外線) を押す。  
充電器に置いたまま操作したときは を押します。

### MEMO

まわりの騒音などによって相手の声やこちらの声が聞こえにくいときがあります。そのときは を押し、子機を持って通話してください。

# 子機で電話を受けるには

## 子機をとって受ける

着信ベルが鳴り、(外線) が点滅します。

### 1 充電器から子機をとる。

充電器から外しているときは(外線) を押します。  
電話がつながります。

### 2 通話が終わったら(外線) を押す。



## 子機を持たずに受ける（スピーカーホンで通話する）

子機を置いたまま電話を受け、子機のマイクを使って相手と通話します。

着信ベルが鳴り、(外線) が点滅します。

### 1 (¶) を押す。

電話がつながります。

### 2 通話が終わったら(外線) を押す。

充電器に置いたまま通話していたときは(¶) でも電話を切ることができます。



## 子機を優先して電話を受ける [子機優先呼出]

折り返しの電話を受けるときや深夜の電話などを受けるとき、特定の子機の着信ベルを、親機や他の子機より5回先に鳴らすことができます。

[子機優先呼出] は設定後の1回の着信のみ有効です。

1

充電器から子機をとり、(外線) を押す。(外線) を消灯させる。)

2

優先 (8) を1秒以上押す。

表示されます。

次に電話がかかってくると、親機や他の子機より先に呼出音が鳴ります。

子機優先呼出が行われると、自動的に設定は解除されます。

### ■ 子機優先呼出の設定を解除するには

もう一度、(8) を1秒以上押します。(表示されます。)

#### MEMO

- 他の子機がすでに優先設定をしているときは、(表示されます。このときは他の子機の設定が解除されるまで優先設定はできません。)
- 親機で機能設定やコピー、リストプリントなどの操作を行っているときは、子機の優先設定を行っていても、親機の操作が終了するまで着信ベルは鳴りません。

# ハンズフリーで電話を受けるには

「ハンズフリー着信」を設定しておくと、電話の着信があったとき、「ハーイ」と返事をするだけで、電話を受けることができます。(このときは、スピーカーホン通話となります)

「ハンズフリー着信」の設定は親機で行います。子機にハンズフリー着信を設定するときは、音声の確認作業で子機のマイクを使用します。子機はあらかじめ充電器からとり、を押してを消灯させておいてください。「ハンズフリー着信」の設定は、設定を解除するまで有効です。



## ハンズフリーで受ける

1

着信ベルが鳴ります。

2

マイクに向かって、「ハーイ」と言う。

「ピッピッ」と鳴り、電話がつながります。

返事はマイクの正面1メートル以内から、ベルとベルの間に言います。

3

マイクに向かって通話をし、  
通話が終わったら  
を押す。

### MEMO

- 相手の声やこちらの声が聞こえにくいときは、受話器を取ってお話し下さい。
- 内線電話のときや留守モードのときはハンズフリー着信で受けることはできません。
- 本機のそばを離れるときや外出するときは誤作動しないように、ハンズフリー着信の設定を解除してください。
- ハンズフリー着信後のスピーカーホンでの通話は1時間で自動的に回線が切れます。1時間以上通話するときは受話器(子機)を取って通話してください。
- 着信音が「呼出ベル」に変わった後はハンズフリー着信で受けることはできません。(呼出ベル  80 ページ)
- ハンズフリー着信を子機に設定すると、子機の着信ベル音をメロディに設定していても、普通の着信ベル音で鳴ります。

## ハンズフリー着信の設定をする

- 1**  **機能**  を押す。  
ハンズフリー着信を設定するディスプレイが表示されます。
- 2**  でハンズフリー着信の設定先を選び、 を押す。  

**ハンズフリー・チャクシ・オキ** : 親機に設定するとき  
(親機のディスプレイに  レンカウ・シテク・サイ と表示されます。)

**ハンズフリー・チャクシ・ヨキ** : 子機に設定するとき  
(子機のディスプレイに  レンカウ・チユウ と表示されます。)

**ハンズフリー・チャクシ・OFF** : ハンズフリー着信を設定しないとき
- 3** 選択した設定先（親機または子機）のマイクに向かって「ハーイ」と言って、「ピピッ」という音が鳴るか確認する。  
本機が反応しているときは「ピピッ」という音が鳴り  が点滅します。
- 4**  を押す。
- 5**  を押す。  
設定を終了します。

### ■ ハンズフリー着信の設定を解除するには

手順2で「OFF」を選択し、 を押します。

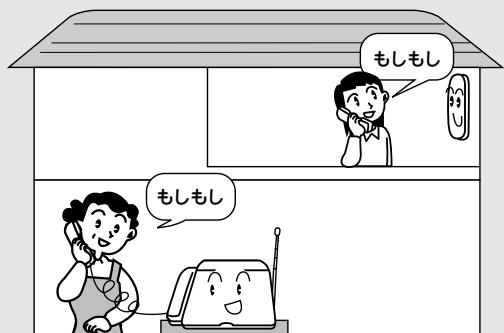
#### MEMO

- 設定の途中で電話がかかってくると着信ベルが鳴り、設定が中止されます。通話終了後、もう一度設定をやり直してください。
- [着信ベル回数] を0または1回に設定しているとき、または[着信ベル音量]をOFFに設定しているときはハンズフリー着信で受けられません。
- 「ハーイ」と言う返事が小さいときや短いときは本機が反応しないことがあります。また、声の高さによっては「ハーイ」がうまく検出できないこともあります。そのときはなるべく低い声で発声してください。また、「ハーイ」以外の返事のしかた（例えば「おーい」）でうまく反応することもあります。
- 「ハーイ」の検出可能距離はマイク正面の約1メートル以内です。
- 子機を増設したときは、子機でハンズフリー着信することはできません。
- 手順4で を押しても子機のディスプレイが に戻らないときは、いったん子機のバッテリーを外してバッテリーコネクタを抜きます。その後、再度バッテリーを接続・収納してハンズフリー着信の設定をし直します。
- 留守モードのときは、ハンズフリー着信は設定できません。

# 内線通話をするには

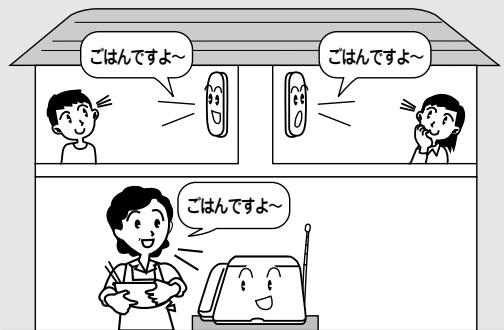
## 親機と子機で通話する

親機から子機、または子機から親機へ電話をかけ、通話します。



## 親機から子機へ呼びかける

親機からすべての子機、または特定の子機にスピーカーを使って呼びかけます。



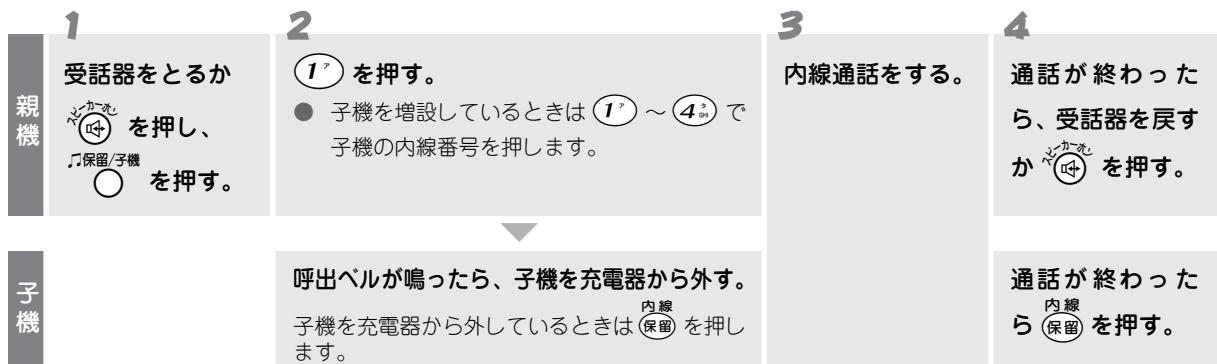
## 電話を取り次ぐ

外からかかってきた電話を親機から子機、または子機から親機に取り次ぎます。

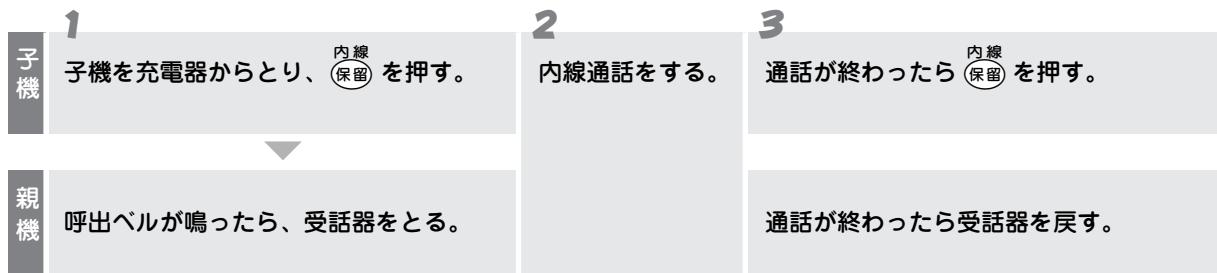


## 親機と子機で内線通話をする

### ■ 親機から子機を呼び出して通話する



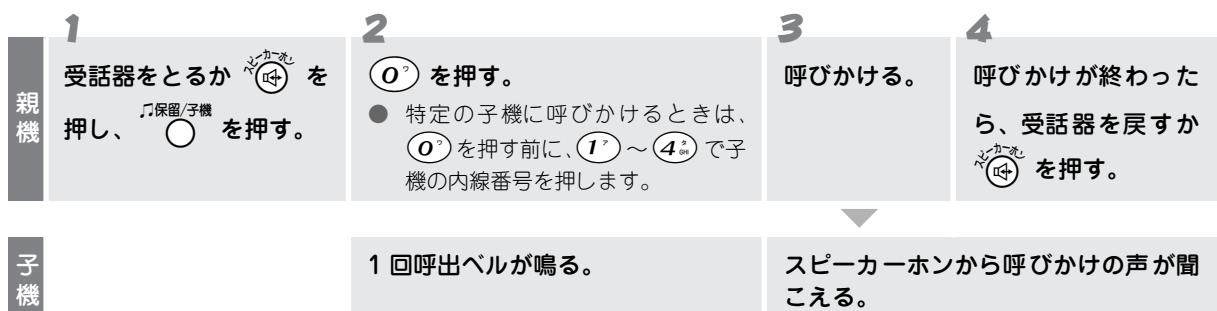
### ■ 子機から親機を呼び出して通話する



### MEMO

- 内線通話中に外線がかかってきたときは、親機の着信ベルが鳴ります。親機の受話器を戻して内線通話を終了し、再び受話器を取ると外線につながります。  
(ナンバーディスプレイサービスの設定を「アリ」しているとき、子機優先呼出を設定しているとき、無鳴動受信を設定しているときは、着信ベルは鳴りません。)
- 親機からはスピーカーホンでも内線通話することができます。(子機ではスピーカーホンによる内線通話はできません。)
- 親機がスピーカーホンで内線通話をしているときは、親機と子機は近づけないでください。  
親機のすぐそばに子機を近づけると「キーン」という音(ハウリング)が発生することがあります。

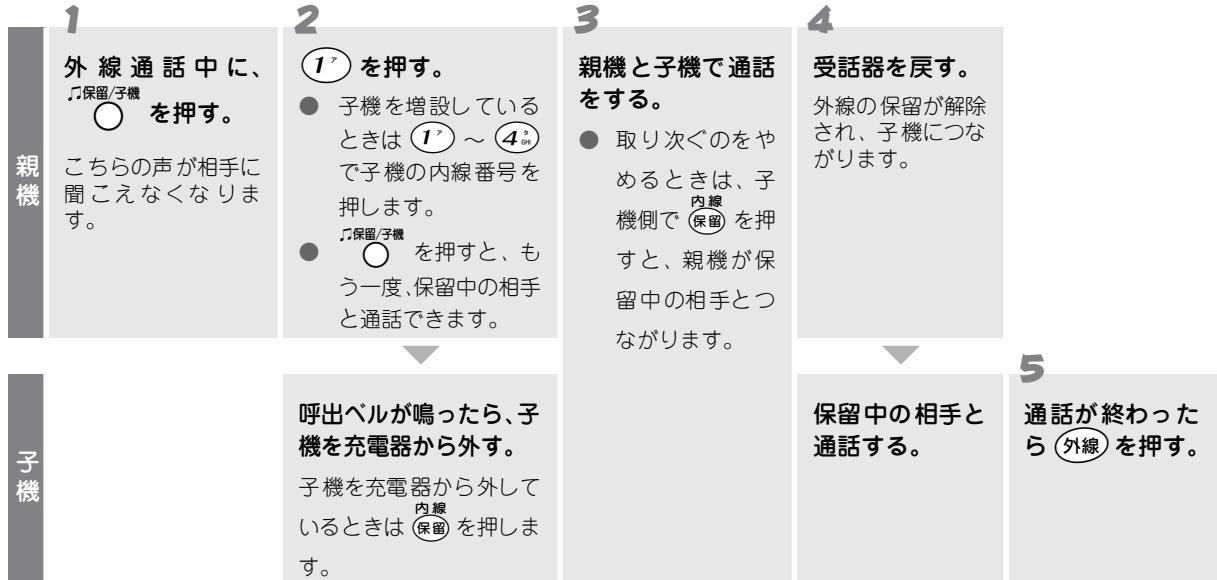
## 親機から子機へ内線で呼びかける



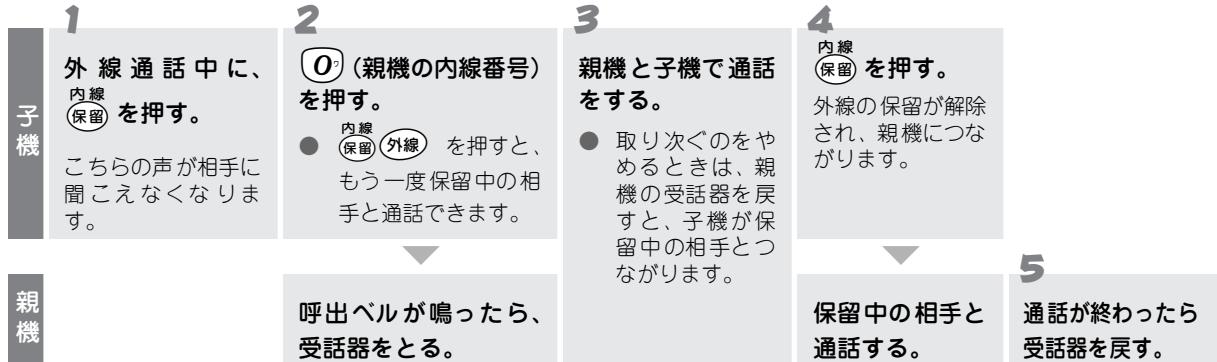


## 電話を取り次ぐ

### ■ 親機から子機に電話を取り次ぐ

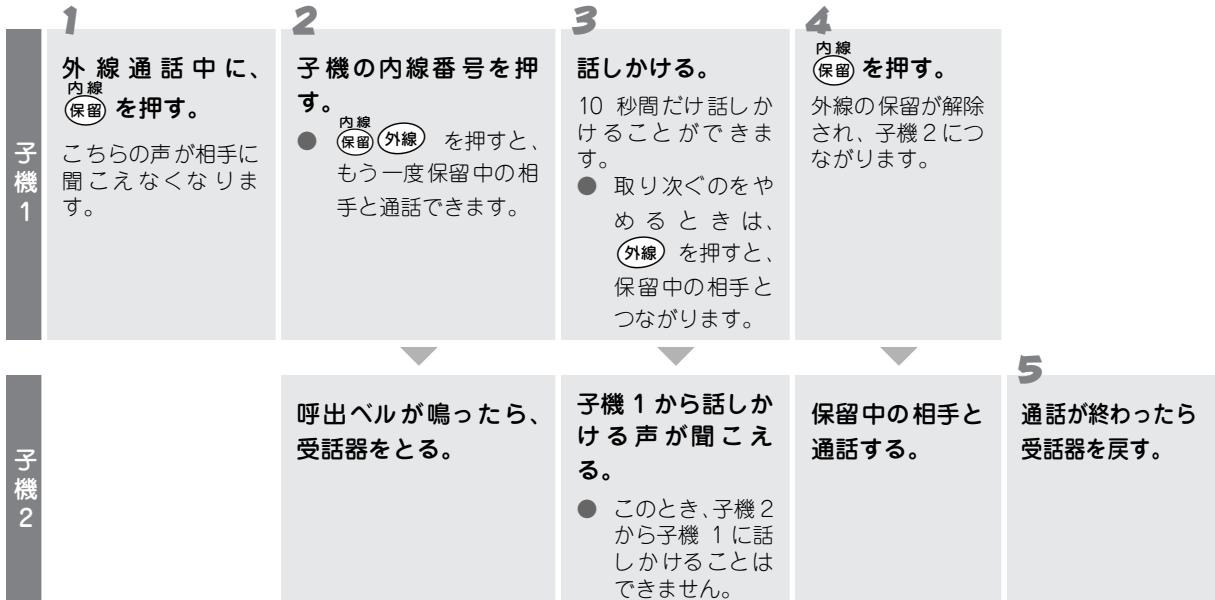


### ■ 子機から親機に電話を取り次ぐ



## 内線通話をするには

### ■ 子機から子機に電話を取り次ぐ（子機を増設した場合）



#### MEMO

- 子機はスピーカーホンで取り次ぐことはできません。
- 親機と子機での取り次ぎ中に子機が通話圏外に出ると、親機が外線につながります。
- 取り次ぎ先の子機（例：子機2）を約60秒呼び出しても応答がないときは、自動的に呼び出しを中止し、最初に外線を受けた子機（例：子機1）が保留に戻ります。
- 子機から子機への取り次ぎ中に子機が通話圏外に出ると、保留中の外線は切断されます。

# オプションサービスを利用するには

NTT や東京電話と契約することにより、いろいろなサービスを受けることができます。



## キャッチホンを利用する

### ■ キャッチホンとは

キャッチホン / キャッチホン II は、NTT が行っているサービスの 1 つで、外線通話中に別の着信を受けるためのサービスです。サービスの詳細については NTT (116 番) にお問い合わせください。

#### 注意

「キャッチホン / キャッチホン II」をご利用いただくためには、NTT との契約が必要です。(有料)  
「ダイヤルインサービス」と同時に契約することはできません。

### ■ キャッチホンを受ける

キャッチホン（外線通話中の電話）がかかってくると、通話中に「ブッブッ」という音が聞こえます。

親機の場合	外線通話中に、「ブッブッ」という音が聞こえる。	1  を押す。 通話中の相手に保留メロディが流れ、新しくかかってきた相手に電話がつながります。 新しくかかってきた相手がファクスのときは、「ポーポー」という音が聞こえます。(☞ 46 ページ)	2 新しくかかってきた相手と通話する。	3 最初の相手に戻るときは、もう一度  を押す。 一度  を押すごとに、通話の相手が切り換わります。
	外線通話中に、「ブッブッ」という音が聞こえる。	1  を押す。 通話中の相手に保留メロディが流れ、新しくかかってきた相手に電話がつながります。 新しくかかってきた相手がファクスのときは、「ポーポー」という音が聞こえます。(☞ 46 ページ)	2 新しくかかってきた相手と通話する。	3 最初の相手に戻るときは、もう一度  を押す。 一度  を押すごとに、通話の相手が切り換わります。

### ■ キャッチホンディスプレイサービスを契約しているときは

キャッチホン（外線通話中の電話）がかかってくると、通話中に「ブッブッ」という音が聞こえ、その後約 1 秒間無音になり、ディスプレイに相手先の電話番号（登録されているときは名前）が表示されます。表示された電話番号は、ナンバーディスプレイサービスと同様、着信記録として利用することができます。

#### 注意

本機の設定 (☞ 29 ページ) だけでは、ディスプレイに相手の電話番号は表示されません。「キャッチホンディスプレイサービス」をご利用いただくためには、「キャッチホン、またはキャッチホン II」と「ナンバーディスプレイサービス」(☞ 48 ページ) を契約した上で、別途 NTT との契約が必要です。(有料)

#### ○○お願い

- NTT と「キャッチホンディスプレイサービス」の契約をされているときは、必ず「キャッチディスプレイ:あり」に設定してください。
- スピーカーホンで通話しているときは、ディスプレイに相手先の電話番号は表示されません。
- 着信時の状況によっては、相手先の電話番号が表示されないことがあります。

## オプションサービスを利用するには

### ■ キャッチホンでファクスが入ってきたときは

外線通話中にファクスの着信があったときも、通話中に「ブッブ」という音が聞こえます。

#### ● 親機の場合

<p><b>キャッチホンを受けたら「ポーポー」という音が聞こえる。</b> 最初の相手には保留メロディが流れています。</p>	<p><b>最初の相手に待ってもらい、すぐファクスを受信する</b></p>	<p><b>1 受話器を上げたまま  を押す。</b> (ファクス受信中に受話器を戻すと、通話に戻れなくなります。) ファクスを受信します。</p>	<p><b>2 ファクスを受信し終わったら、受話器を上げたまま  を押す。</b> 最初の相手に電話がつながります。</p>
<p><b>最初の相手との通話が終わった後、ファクスを受信する</b></p>	<p><b>受話器を上げたまま  を押す。</b> 最初の相手に電話がつながります。 ● なるべく手短に会話を終えてください。会話が長くなるとファクス受信できなことがあります。</p>	<p><b>最初の相手との通話が終わった後、ファクスを受信する</b></p>	<p><b>最初の相手との通話が終わった後、受話器を上げたまま  を押し、「ポーポー」という音が聞こえることを確認し、 を押す。</b> ファクスを受信します。</p>
<p><b>ファクスを受信しない</b></p>			<p><b>(親切受信が ON のとき)</b> <b>受話器を上げたまま  を押す。</b> <b>(親切受信が OFF のとき)</b> <b>受話器を上げたまま  を押す。</b> 最初の相手に電話がつながります。</p>

#### ● 子機の場合（親切受信が ON のとき）

<p><b>キャッチホンを受けたら「ポーポー」という音が聞こえる。</b> 最初の相手には保留メロディが流れています。</p>	<p><b>最初の相手に待ってもらい、すぐファクスを受信する</b></p>	<p><b>1 約 7 秒待つ。</b> 自動的にファクス受信を始め、子機は待ち受け状態に戻ります。</p>	<p><b>2 親機の受話器をとる。</b></p>	<p><b>3 ファクスを受信し終わったら、受話器を上げたまま、 を押す。</b> 最初の相手に電話がつながります。</p>
<p><b>最初の相手との通話が終わった後、ファクスを受信する</b></p>	<p><b>キャッチ（機能）を押す。</b> 最初の相手に電話がつながります。 ● なるべく手短に会話を終えてください。会話が長くなるとファクス受信できなことがあります。</p>	<p><b>最初の相手との通話が終わったら、 を押す。</b></p>	<p><b>「ポーポー」という音が聞こえることを確認し、約 7 秒待つ。</b> 自動的にファクス受信を始め、子機は待ち受け状態に戻ります。</p>	
<p><b>ファクスを受信しない</b></p>			<p><b>親機の受話器をとり、 を押す。</b> ファクス受信が中止されます。</p>	<p><b>受話器を上げたまま、 を押す。</b> 最初の相手に電話がつながります。</p>

● 子機の場合（親切受信が OFF のとき）

<p><b>キャッチホンを受けたら「ポーポー」という音が聞こえる。</b> 最初の相手には保留メロディが流れています。</p>	<p><b>最初の相手に待ってもらい、すぐファクスを受信する</b></p>	<p><b>1 親機へ電話を取り次ぐ。（☞ 43 ページ）</b></p>	<p><b>2 親機の受話器をとり、受話器を上げたまま、① を押す。</b> ファクスを受信します。</p>	<p><b>3 ファクスを受信し終わったら、受話器を上げたまま、② を押す。</b> 最初の相手に電話がつながります。</p>
	<p><b>最初の相手との通話が終った後、ファクスを受信する</b></p>	<p><b>キャッチ（機能）を押す。</b> 最初の相手に電話がつながります。 ● なるべく手短に会話を終えてください。会話が長くなるとファクス受信できないことがあります。</p>	<p><b>最初の相手との通話が終わったら、③ を押す。</b> 「ポーポー」という音が聞こえることを確認し、親機へ電話を取り次ぐ。（☞ 43 ページ）</p>	<p><b>親機の受話器をとり、受話器を上げたまま、④ を押す。</b> ファクスを受信します。</p>
	<p><b>ファクスを受信しない</b></p>	<p><b>キャッチ（機能）を押す。</b> 最初の相手に電話がつながります。</p>		

 **MEMO**

- キャッチホンを受けなかったとき、相手が電話を切った後もしばらくキャッチホンの呼出音が鳴り続けることがあります。
- キャッチホンのとき以外に、通話中に⑤（親機）や⑥（子機）を押すと、通話が切れることができます。
- ファクスの送信や受信中にキャッチホンの電話がかかると画像が乱れたり、通信が中断することがあります。画像の乱れが気になるようでしたら、「キャッチホン II」のご利用をおすすめします。
- キャッチホンでファクス受信すると、ファクスを何枚も受信し時間がかかる場合がありますので、通話を終えてからファクス受信することをおすすめします。

## ナンバーディスプレイサービスを利用する

### ■ ナンバーディスプレイサービスとは

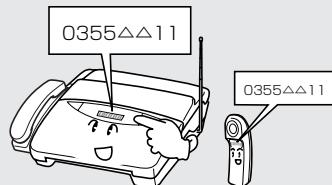
ナンバーディスプレイサービスは、NTTが行っているサービスの1つで、電話がかかってきたときに相手先の電話番号をディスプレイに表示させるサービスです。サービスの詳細についてはNTT(116番)にお問い合わせください。

#### 注意

- 本機の設定だけでは、ディスプレイに相手の電話番号は表示されません。「ナンバーディスプレイサービス」をご利用いただくためには、NTTとの契約が必要です。(有料)
- ISDN回線をご利用いただいている場合は、TAのデータ設定が必要です。

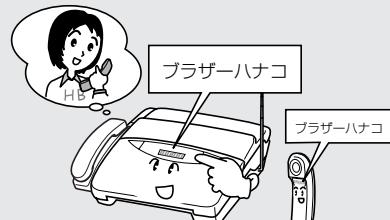
#### 電話番号表示機能

電話がかかってくると、相手の電話番号がディスプレイに表示されます。



#### 名前表示機能

親機のワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル、子機の電話帳に登録してある相手から電話がかかってくると、登録した相手の名前がディスプレイに表示されます。



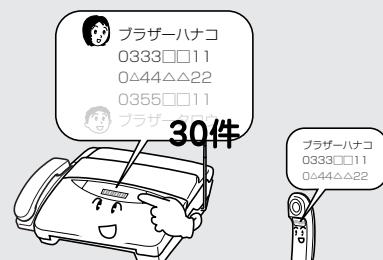
#### 着信記録機能

電話がかかってくると、相手の電話番号を記録します。

記録した電話番号は下記のように活用できます。

- ディスプレイに表示する。
- 「着信記録」としてプリントする。
- 親機のワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルへ登録する。
- 子機の電話帳に登録する。
- 記録した電話番号に電話をかける。

着信記録は、新しい順に30件まで記録し、31件以上になった場合は順次古いものを消去します。



#### 迷惑電話防止機能

迷惑電話などの受けたくない電話は、着信ベルが鳴らないようにすることができます。

受けたくない電話番号を、親機のワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルにチャクシンメイワクシティとして登録します。

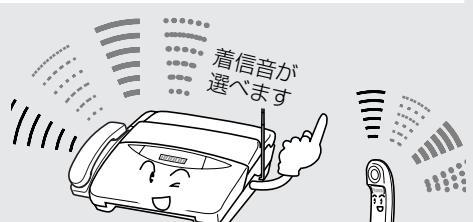


#### 着信ベル音指定機能

電話番号ごとに、着信ベル音を指定することができます。

親機のワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル、子機の電話帳に電話番号を登録するときに、着信ベル音を指定して登録します。

着信ベル音はあらかじめ本機に記憶されている着信ベル音(4種類)を指定することができます。



## ■ 電話がかかってくると…

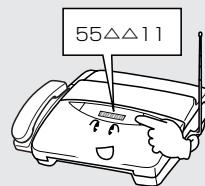
電話がかかってくると、相手の電話番号がディスプレイに表示されます。

親機のワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル、子機の電話帳に登録してある相手から電話がかかってきたときは、登録した相手の名前がディスプレイに表示されます。

親機の場合

着信ベルが鳴り、ディスプレイに相手の名前や電話番号が表示される。

**スキンケイ** : 名前が登録してあるとき。  
**052811△△33** : 名前が登録していないとき。



2

電話を受ける。

☞ 35 ページ  
電話がつながります。

子機の場合

着信ベルが鳴り、ディスプレイに相手の名前や電話番号が表示される。

**スキンケイ** : 名前が登録してあるとき  
**052811△△33** : 名前が登録していないとき



2

電話を受ける。

☞ 38 ページ  
電話がつながり、ディスプレイに通話時間(めやす)が表示されます。

## ■ その他のディスプレイ表示について

ナンバーディスプレイサービスでは、電話番号が表示できないときは、次のような表示を行います。

ディスプレイ表示	説明
<b>ヒツウチ</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>相手が電話番号を表示しない契約をしているとき。</li><li>電話番号の先頭に「184」を付けて電話をかけてきたとき。</li></ul>
<b>コウシュウデンワ</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>相手が公衆電話から電話をかけてきたとき。</li></ul>
<b>ヒヨウジケンガイ</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>相手がナンバーディスプレイサービス対象地域外から電話をかけてきたとき。</li><li>サービス未実施の携帯電話やPHSなどから電話をかけてきたとき。</li></ul>

## オプションサービスを利用するには

### ■ 着信記録を利用する（親機）

確認  
・  
消去する  
電話をかける

記録をプリントする

着信記録  
○ を押す。

着信記録が表示されます。  
着信がないときは、拒否音が鳴り、  
[チャシシガアリマセン] が2秒間表示されます。

2 ○/○ で確認したい着信記録を選んで、○ を押す。

ディスプレイに名前→電話番号→日時が2秒ずつ表示されます。

30)スズキコ
30)052811△△33
30)08/05 10:00

● 消去 ○ を押すと、表示していた記録が消去されます。

3 確認が終わったら、○ を押す。

受話器をとり、○ を押す。

ダイヤルを始めます。  
ファックスを送信するときは、原稿をセットし ○ を押します。

記録紙をセットし、○ を押す。

プリントを始めます。

チャタシキロ					
シーケ: 00-01-15-15 15:25					
ビケ	シカ	ナバ-ディスプレイ	ダイヤキメシヨウ	コント	
01	03/01	11:10	052824△△△△	スズキコ	RX
02	03/01	11:12	052824△△2554	ビラマ	TX
03	03/05	13:30	052824△△56	ミツコシオ	RX
04	03/07	08:00	03547△△△86	コジマカ	メッセージDオク
05	03/10	03:11	ビカ	メッセージEオク	RX メッセージロクオン
06	03/11	20:11	0528242△△△	ガシラムゴウシ	TEL
07	03/11	21:11	03△△△△1234	イサヤツ	TEL
08	03/12	09:32	03△△△△1234	イサヤツ	TEL
09	03/14	13:10	03△△△△1234	イサヤツ	TEL
10	03/15	14:20	コシコガーツ	ヒヨウケンガイ	TEL
11	03/20	15:20			TEL

RX : ファックス受信した。

TX : ポーリング送信した。

メッセージロクオン : 留守録メモリーにメッセージを受信した。

TEL : 電話に出て相手と話をした。

RX TEL : 電話に出た後でファックスを手動受信した。

TX TEL : 電話に出た後でファックスを手動送信した。

コメント欄が空欄 : 電話に出ていない。

1 着信記録  
○ を押し、○/○ で登録したい着信記録を表示させます。

2 A ~ E を押す。

名前を入力するディスプレイが表示されます。

● すでに登録されている電話番号のときは [トウカサレイマス] が表示されます。

3

18 ページ「ワンタッチダイヤルに登録する」の手順 4 へ。

以降は「ワンタッチダイヤルに登録する」と同様の設定をします。

キヤチ/短縮 ○ を押し、短縮番号、○ を押す。

名前を入力するディスプレイが表示されます。

● すでに登録されている電話番号のときは [トウカサレイマス] が表示されます。

19 ページ「短縮ダイヤルに登録する」の手順 4 へ。

以降は「短縮ダイヤルに登録する」と同様の設定をします。

ヤフルンにタ登ツ  
録チするイ

に短登縮  
録ダするヤ  
ル

### ■ 操作を中止するには

停止  
○ を押します。

## ■ 着信記録を利用する（子機）

確認・消去する  
電話をかける

- 1 充電器から子機を外し、**(外線)** を押す。（**(外線)** を消灯させる。）充電器から外しているときはそのままです。
- 2 着信記録 **○** を押す。ディスプレイに最新の着信記録が表示されます。着信がないときは、拒否音が鳴り、**チャシキウガ** が2秒間表示されます。
- 3 **↖** で確認したい着信記録を表示し、選ぶ。
- 4 確認を終えるときは、**着信記録 ○** を押す。消去するときは **消去 ⑥** を押す。  
→ または **(外線)** を押す。  
ダイヤルを始めます。

電話帳に登録する

- 1 充電器から子機を外し、**(外線)** を押す。（**(外線)** を消灯させる。）充電器から外しているときはそのままです。
- 2 着信記録 **○** を押す。ディスプレイに最新の着信記録が表示されます。着信がないときは、拒否音が鳴り、**チャシキウガ** が2秒間表示されます。
- 3 **↖** で確認したい着信記録を表示させる。
- 4 **電話帳 ○** を押す。  
**ナマ?** **■** が表示されます。

5

21ページ「電話帳に登録する」の手順4へ。

以降は「電話帳に登録する」と同様の設定をします。

## ■ 操作を中止するには

着信記録 **○** を押します。

## ■ すべての着信記録を消去するには

- 1 子機を充電器からとり、**(外線)** を押す。（**(外線)** を消灯させる。）充電器から外しているときはそのままです。
- 2 **キャッチ 機能** を押し、**↖** で「チャシキウ クリア」を選び、**→ ↽** を押す。  
**バテヨウヨ? 1.スル 2.ナイ** が表示されます。
- 3 **1** を押す。  
すべての着信記録が消去されます。

### MEMO

- 回線ごと「通知」の契約をしている場合で、電話番号を相手に通知したくないときは、「電話をかける」の手順4の前に **キャッチ 機能** を押し、**[ヒガリ] 052826XXXX** を表示させてから → または **(外線)** を押します。
- 回線ごと「非通知」の契約をしている場合で、電話番号を相手に通知したいときは、「電話をかける」の手順4の前に **キャッチ 機能** を2回押し、**[ガガ] 052824XXXX** を表示させてから、→ または **(外線)** を押します。
- 子機の着信記録はプリントできません。

## ダイヤルインサービスを利用する

### ■ ダイヤルインサービスとは

ダイヤルインサービスは、NTTが行っているサービスの1つで、1本の電話回線で、いくつかの電話番号を持つことができるサービスです。本機では2つの電話番号を扱うことができ、「ダイヤルインサービス」の契約を行うと、「ダイヤルインサービス」用の番号を追加指定されます。(以下、最初にNTTと契約した番号を「主番号」、追加された番号を「副番号」と呼びます。) サービスの詳細についてはNTT(116番)にお問い合わせください。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。(設定方法☞29ページ)

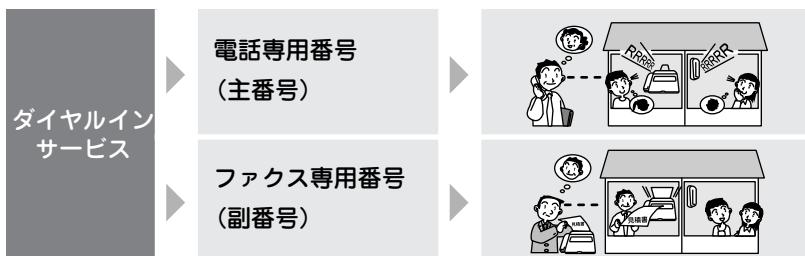
#### 注意

- 「ダイヤルインサービス」をご利用いただくためには、NTTとの契約が必要です。(有料)
- 「ダイヤルインサービス」加入後は、サービス開始と同時に本機の「ダイヤルインサービスの設定」を行ってください。サービス開始前に本機の設定を行ったり、サービスが開始されているのに本機の設定が行われていない場合、電話が受けられないときがあります。
- ISDN回線をご利用いただいている場合は、アナログポートへ着信番号データを送出することができるTAが必要です。また、この場合はTAのデータ設定を行った後、本機の設定(本項)を行います。

### ■ ダイヤルインサービスの使いかた

本機では、この2つの電話番号を下記の設定で使用することができます。

#### 電話とファクスで別々の番号を使う [モード:デジタルファクス]



親機 / 子機とも着信ベルが鳴り、電話もファクスも従来どおり受けることができます。

電話がかかってくると、親機の着信ベルが鳴り、ファクスを受信します。

#### 親機と子機で別々の番号を使う [モード:オペレーター]



親機のみ着信ベルが鳴り、電話もファクスも従来どおり受けることができます。

子機のみ着信ベルが鳴り、電話を受けることができます。

## MEMO

- ダイヤルインサービスは1本の電話回線を使用していますので、一方の電話番号が使われている時はもう一方の電話番号を同時に使うことはできません。
- ダイヤルインサービスをご利用いただいているときは、以下に示すサービスを同時にご利用いただくことはできません。(キャッチホン / 三者通話 / 転送電話 / 電話会議 / トーキー案内 / 二重番号) 詳しくは、NTTにお問い合わせください。
- 契約の際、PB 方式を選択した場合、電話番号(副番号)は、4桁を指定してください。
- 受信モードが在宅モードのベル回数「ムセイゲン」に設定されているとき、着信ベルは25回鳴ります。また相手が通話する前に電話を切ったときでもこちら側が受話器を取るまでは25回ベルが鳴り続けます(PB 方式のダイヤルインサービスのみ)。
- ISDN 回線をご利用いただいている場合は、アナログポートへ着信番号データを送出することができる TA が必要です。
- ダイヤルイン番号にかけるときは、相手につながるまでに多少の時間がかかります。(呼出音が鳴るまでに無音状態が約8~10秒続きます。)

### ■ ダイヤルインサービスを利用しないときは

機能 を押し、 で「OFF」を選び、 を押します。

## トーン信号によるサービスを利用する

### ■ トーン信号によるサービスとは

本機では、トーン(P B)信号による各種サービス(銀行 ANSWER・クレジット通話サービス・ポケットベルサービス・照会案内サービス・ホームテレホンサービスにおけるテレコントロール・留守番電話におけるリモート操作など)を利用することができます。

具体的なサービスの詳細については各種サービスの提供先にお問い合わせください。

### ■ トーン信号によるサービスを利用するには

1 プッシュ回線の場合	各種サービスの電話番号をダイヤルする。	2 サービスの指示に従って  ~   、 を押す。
1 ダイヤル回線の場合	各種サービスの電話番号をダイヤルする。  2 を押す。	3 サービスの指示に従って  ~   、 を押す。  電話を切るとダイヤル回線に戻ります。



## 東京電話オートコネクトを利用する

「東京電話オートコネクト」の設定（☞ 24 ページ）を行っている場合、電話をかけるとき、東京電話を選択する番号（0081）を押す必要がなく、今までどおりのかけかたで、おトクな東京電話が利用できます。

本機の状態と、東京電話ランプの関係は次のようにになります。

	本機の状態	東京電話ランプ
東京電話オートコネクトを設定（契約）しているとき	待ち受け中	緑色点灯
	オンライン中	赤色点灯
	TTNet 選択中	緑色点滅
	TTNet 以外選択中	消灯
	TTNet 一時停止中	消灯
東京電話オートコネクトを設定（契約）していないとき	自宅の電話番号未登録	赤色点灯

### ■ 東京電話オートコネクトの利用を中止するには

「東京電話オートコネクト」の利用を一時的に止めたり、途中で利用しなくなったとき、TTNet のサービスエリア外へ移転されるとき、または本機をホームテレホンや構内交換機に接続し直したときは、以下の操作を行い、TTNet お客様センターにご連絡ください。利用中止後は、「東京電話ランプ」は消灯します。

- 1 機能 を押す。  
「東京電話オートコネクトを設定するディスプレイ」が表示されます。
- 2 で「OFF」を選び、 を押す。  
[ワケツマタ] が表示されます。
- 3 停止 を押す。  
「東京電話ランプ」が消灯します。
- 4 TTNet お客様センターへ連絡してください。  
0081-1581（無料）

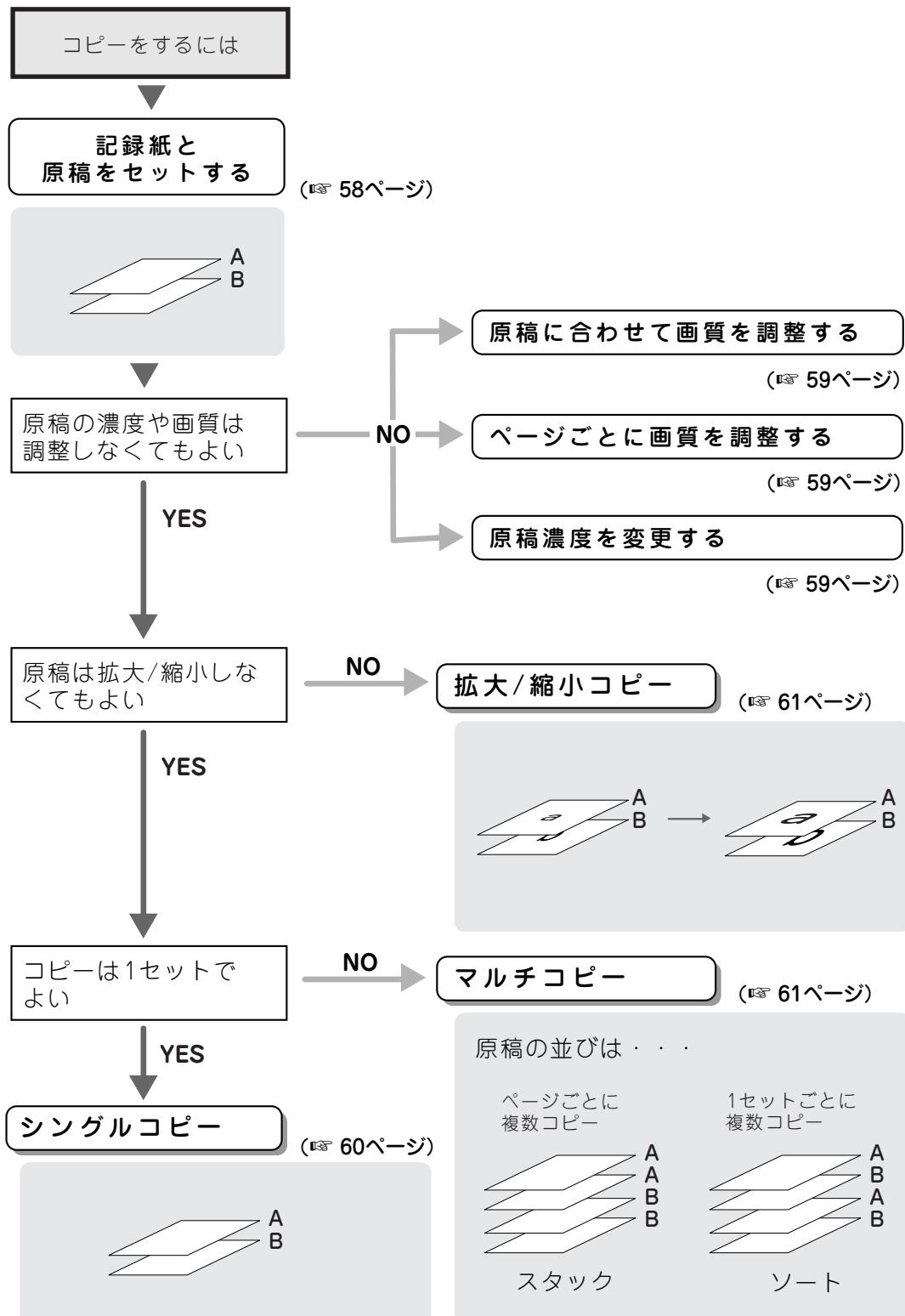
#### MEMO

- 再度、「東京電話オートコネクト」を利用するときは、「登録した電話番号を変更するには」（☞ 28 ページ）の手順に従ってください。



# こんなコピーができます

本機では、次のような流れで「シングルコピー」、「マルチコピー」、「拡大／縮小コピー」をすることができます。

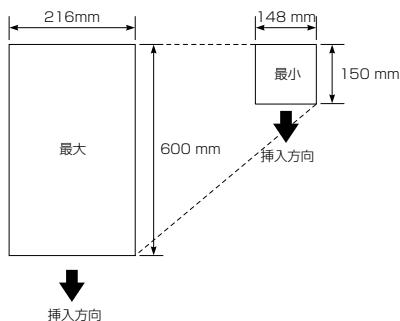


# コピーをする前に

## 原稿について

### ■ 原稿サイズ

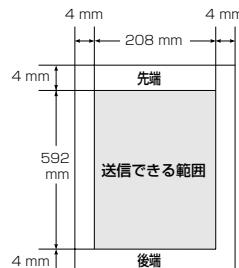
セットできる原稿のサイズを以下に記します。これ以外のサイズの原稿をご使用になる場合、複写機で拡大・縮小コピーするか、小さい原稿は市販の“キャリアシート”に入れてセットしてください。



最大 幅: 216 mm 長さ : 600 mm\*1  
最小 幅: 148 mm 長さ : 150 mm  
厚さ : 0.06 mm ~ 0.1 mm  
重量 : 64 g/m<sup>2</sup> ~ 90 g/m<sup>2</sup>  
(55 ~ 77 kg 紙)  
\*1:長さが400 mm以上の原稿は手で支えてください。

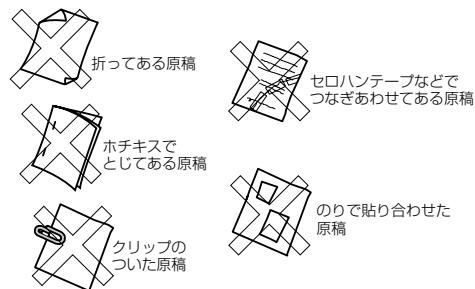
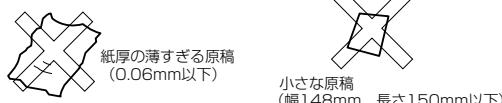
### ■ 原稿の読み取り範囲

(原稿サイズー有効読取幅)



### ■ 原稿についてのご注意

以下のような原稿は、複写機で拡大・縮小コピーするか、市販の“キャリアシート”をお使いください。



### ○お願い

- 原稿を複数枚セットするときは、キャリアシートはお使いになれません。
- キャリアシートは古くなったら新しいものとお取り換えください。
- インクやのりなどが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
- 原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となりますので取り外してください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。
- 原稿の先端に色がついていると、濃い原稿と判断する場合があります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。
- 原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。

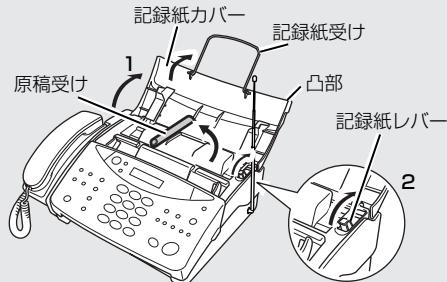
## 記録紙と原稿をセットする

コピーするときは、次の手順で記録紙と原稿をセットします。原稿のサイズや読み取り範囲については 57 ページを参照してください。

### 1 記録紙カバー、記録紙受け、原稿受けを引き起こす。

右側面の凸部に指をかけ、記録紙カバーを開いて記録紙受けを引き起こします。

### 2 青色の記録紙レバーを“開”的方向に倒す。

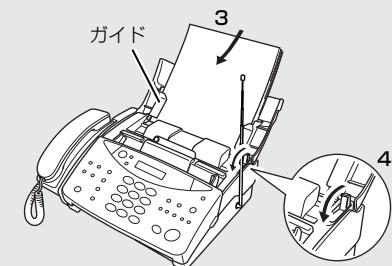


### 3 記録紙をガイドにそってセットする。

● 記録紙は約 60 枚までセットできます。

### 4 記録紙レバーを“閉”的方向に倒す。

● 記録紙をセットするときは、必ず記録紙レバーを手前に倒してください。

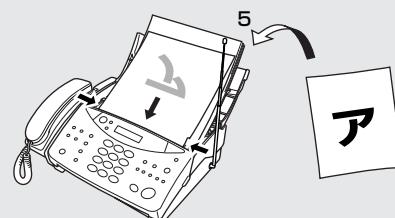


### 5 原稿をセットする。

原稿が正しくセットされると下記のメッセージが表示されます。

**ダイヤルシケタサイ → ポーッオシケタサイ**

- 原稿の先端をそろえ、原稿ガイドにそって裏向きにセットします。
- 原稿が静電気でくっついていないか確認します。
- 一度に 5 枚までセットできます。
- 原稿をきれいにそろえ、原稿の先が軽くあたるまで差し込みます。



### ■ セットした原稿を取り出すには

- コピー開始前：そのまま原稿を上方向に取り除いてください。
- コピー中：停止を押すと、コピーが中断されます。繰り込まれていない原稿を上方向に取り除いてください。**テシヲオシケタサイ** が表示されたら、もう一度停止を押してください。原稿が排出されます。

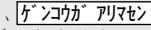
### ○○お願い

- 記録紙は以下の条件を満たすコピー用紙を使用してください。  
A4 (297 mm × 210 mm), 64g/m<sup>2</sup> ~ 90g/m<sup>2</sup> (55 ~ 77kg 紙)

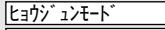
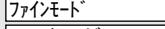
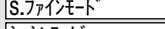
## 原稿に合わせて画質を調整する

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質を設定します。を押すごとに、“標準”、“ファイン”、“スーパーファイン（S. ファイン）”、“写真”の4つのモードに切り換わります。

記録紙と原稿をセットした状態で設定します。

- 原稿がセットされていないと、と表示され、画質を調整することができません。

でモードを選ぶ。

	ヒヨウ・ジュンモード	: 大きくはっきり見える文字のとき。
	ファインモード	: 小さな文字のとき。
	S.ファインモード	: 新聞のような細かい文字のとき。
	シャンモード	: 写真やカラー原稿のとき。

- を押すごとにモードが切り換わります。

### MEMO

- シングルコピーのときは、“標準”、“ファイン”を選んでも、“スーパーファイン”でコピーされます。
- マルチコピーのときは、“標準”を選んでも、“ファイン”でコピーされます。

## ページごとに画質を調整する

1ページだけ写真入りの原稿が含まれているようなときに、ページごとに画質モードを設定してコピーすることができます。

記録紙と原稿をセットした状態で設定します。

- 原稿がセットされていないとと表示され、画質を調整することができません。

1    を押す。

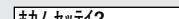
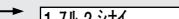
1ページ目の画質を設定するディスプレイが表示されます。

2   で1ページ目の画質を選び、を押す。

2ページ目の画質を選ぶディスプレイが表示されます。同様の手順で最終ページまで画質を設定します。  
※ 最後の原稿のときは手順3へ。

3

  で最終ページの画質を選び、を押す。

  が表示されます。

4

を押す。

設定を終了します。

## 原稿濃度を一時的に変更する

  で一時的に濃度を変えてコピーすることができます。コピー終了後は元の設定に戻ります。

記録紙と原稿をセットした状態で設定します。

- 原稿がセットされていない状態で  を押すと、着信ベル音量の設定になり、濃度変更の設定ができません。

1   で濃度を選ぶ。

	カク	: 原稿の濃度が濃いとき。
	カク	: 原稿の濃度が普通のとき。
	カク	: 原稿の濃度が薄いとき。

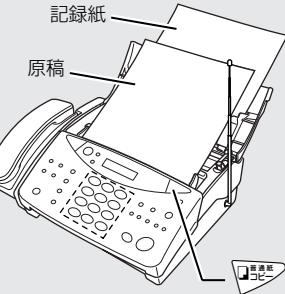
# コピーをするには

## 1 部だけコピーをする（シングルコピー）

一度に5枚までの原稿をコピーすることができます（シングルコピー）。  
コピーするときは受話器を置いたままで操作してください。

### 1 記録紙と原稿をセットする。[58 ページ](#)

必要があれば、原稿に合わせて画質や濃度を調整します。[59 ページ](#)



### 2 を押す。

コピーできる状態になります。

### 3 を押す。

コピーを始めます。

● を押さずにそのまま5秒間経過すると、自動的にシングルコピーを開始します。

## ■ コピーを中止するには

を押します。コピーが中断されたら、送られていない原稿を上方向に取り除いてください。

が表示されたら、もう一度 を押してください。原稿が排出されます。

### MEMO

- コピー中でも親機で電話を受けることができます。（親機・子機から電話をかけることはできません。）
- コピー中は送信または受信に関わる動作はできません。また、通信中はコピーできません。

### 注意

#### 法律によりコピーが禁じられているものがあります。

- 法律で禁じられているもの（絶対にコピーしないでください。）
  - 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方証券
  - 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
  - 未使用的郵便切手や官製ハガキ
  - 政府発行の印紙または酒税法や物品法で規定されている証券類

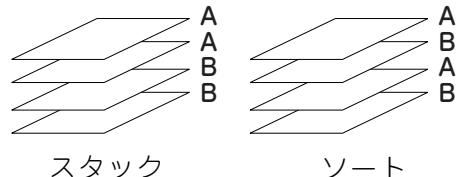
#### 以下のようなものをコピーするときはご注意ください。

- 著作権のあるもの
  - 著作権の目的となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用するため以外の目的でコピーすることは禁止されています。
- その他注意を要するもの
  - 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手）、定期券、回数券
  - 政府発行のパスポート、公共事業や民間団体の免許証、身分証明書、通行券、食券などの切符類など

## 複数部のコピーをする（マルチコピー）

同じ原稿を複数部コピーすることができます（マルチコピー）。マルチコピーには「スタック」と「ソート」の2通りのコピーのしかたがあります。

- **スタック**：ページごとに必要部数をコピーする。
- **ソート**：ページの順番に1部ずつコピーする。



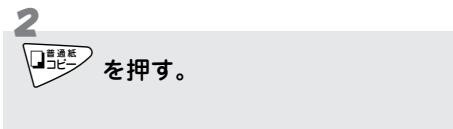
1

記録紙と原稿をセットする。

必要があれば、原稿に合わせて画質や濃度を調整します。

2

を押す。



3

(0')～(9<sub>next</sub>)でコピー部数を入力し、を押す。

- コピー部数は60部まで設定できます。
- 部数を入力せずにそのまま5秒間経過すると、自動的にシングルコピーを開始します。

4

でコピーのしかた（「スタック」または「ソート」）を選び、を押す。

コピーを始めます。

### MEMO

- 1枚の原稿でメモリーがいっぱいになると、マルチコピーはできません。シングルコピーを繰り返してください。
- 原稿を読み込んでいる途中でメモリーがいっぱいになったら、を一回押してください。読み込まれた原稿のみコピーします。残りの原稿はもう一度コピーし直してください。

## 拡大／縮小コピーをする

下記の倍率で拡大・縮小コピーすることができます。

倍率：「×ドウ」「100%」「120%」「125%」「150%」「50%」「75%」「87%」「93%」

1

記録紙と原稿をセットする。

必要があれば、原稿に合わせて画質や濃度を調整します。

2

を押す。

倍率を選択するディスプレイが表示されます。

3

でコピーの倍率を選ぶ。

4

を押す。

※ シングルコピーのときは手順5へ。  
マルチコピーのときは「複数部のコピーをする」の手順3へ。

5

を押す。

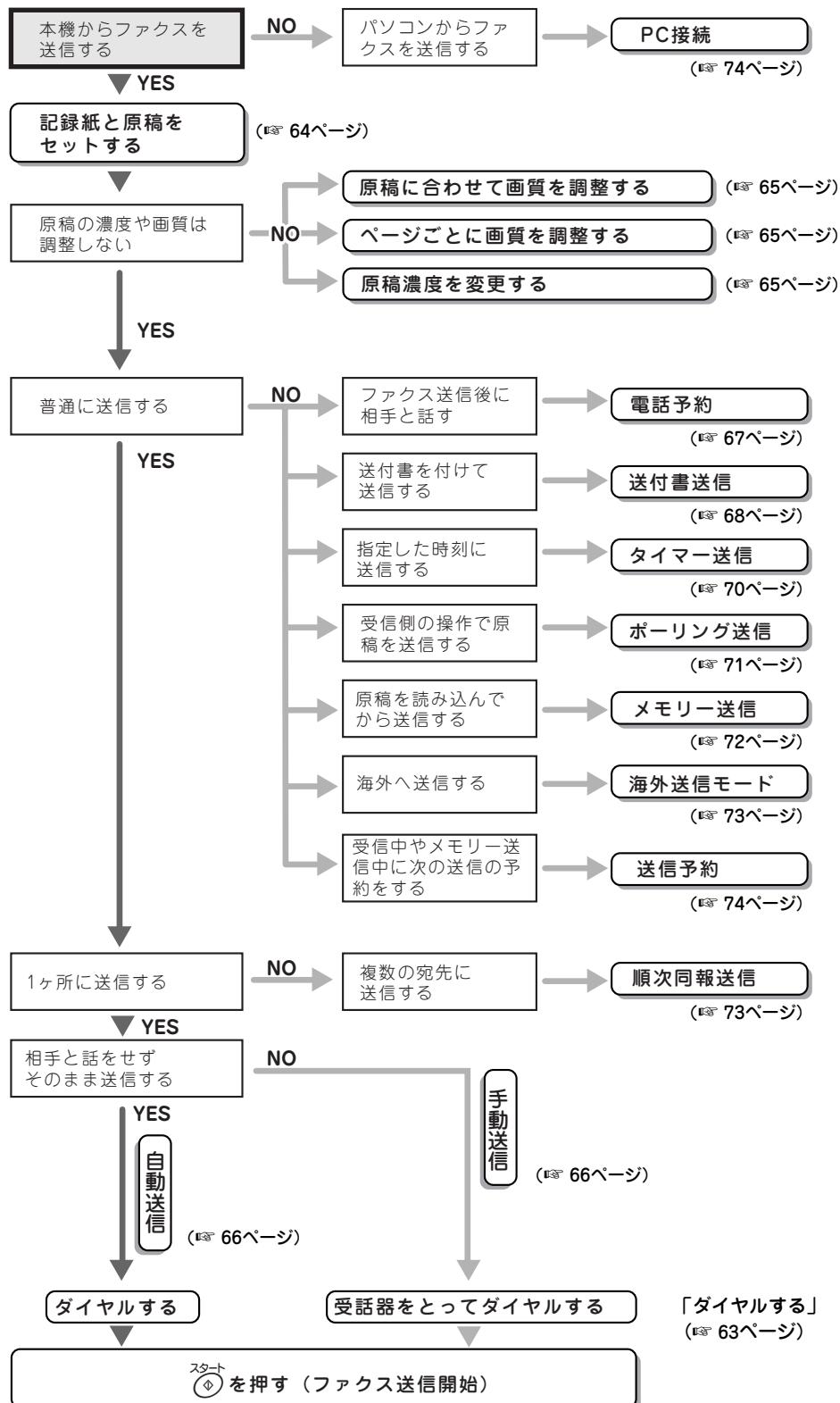
コピーを始めます。

### MEMO

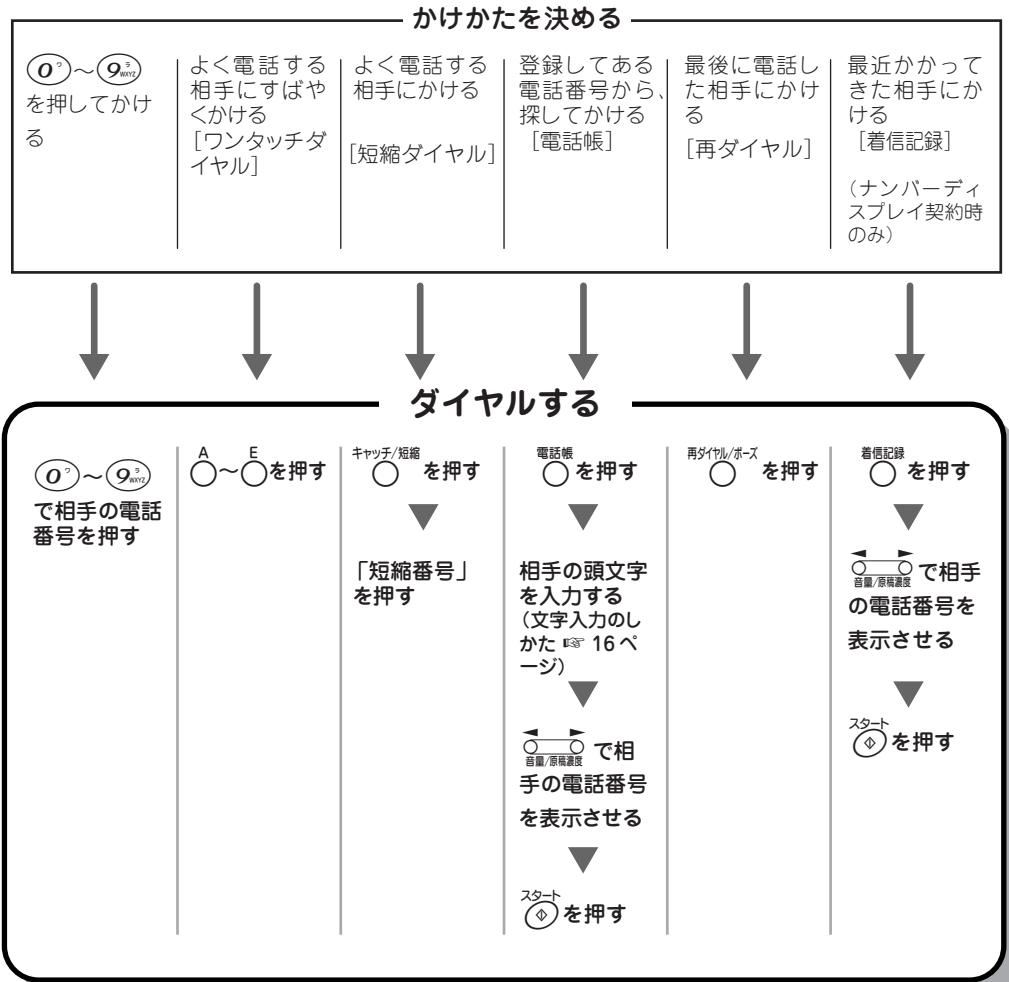
「×ドウ」を選択すると、原稿に合わせて自動的に倍率を設定し、縮小コピーします。

# こんな送信ができます

本機では、次のような流れで必要に応じたファクス送信をすることができます。



ファクスを送るときも、電話をするときと同じようにいくつかの方法でダイヤルすることができます。



# ファックスを送信する前に

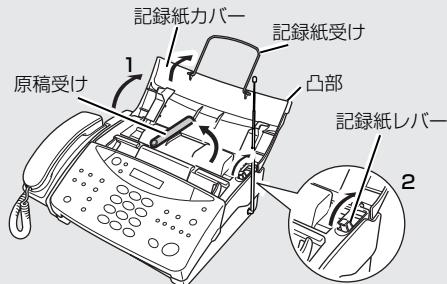
## 記録紙と原稿をセットする

ファックスを送信するときは、次の手順で記録紙と原稿をセットします。原稿のサイズや読み取り範囲については57ページを参照してください。

### 1 記録紙カバー、記録紙受け、原稿受けを引き起こす。

右側面の凸部に指をかけ、記録紙カバーを開いて記録紙受けを引き起こします。

### 2 青色の記録紙レバーを“開”的方向に倒す。

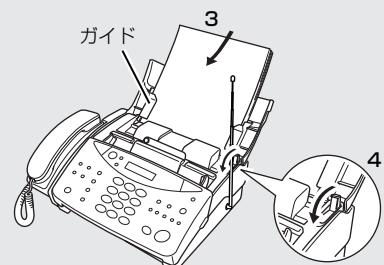


### 3 記録紙をガイドにそってセットする。

- 記録紙は約60枚までセットできます。

### 4 記録紙レバーを“閉”的方向に倒す。

- 記録紙をセットするときは、必ず記録紙レバーを手前に倒してください。



### 5 原稿をセットする。

原稿が正しくセットされると下記のメッセージが表示されます。

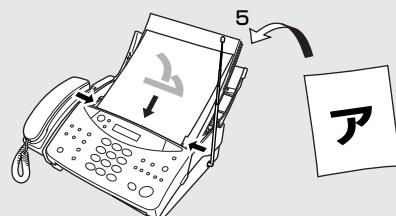
【ダイル 汎タグサ】 → 【エーッガシタグサ】

- 原稿の先端をそろえ、原稿ガイドにそって裏向きにセットします。

- 原稿が静電気でくっついていないか確認します。

- 一度に5枚までセットできます。

- 原稿をきれいにそろえ、原稿の先が軽くあたるまで差し込みます。



### ■ セットした原稿を取り出すには

- 送信開始前：そのまま原稿を上方向に取り除いてください。
- 送信中：停止を押すと、ファックス送信が中断されます。繰り込まれていない原稿を上方向に取り除いてください。【テシヲオタケダサ】が表示されたら、もう一度停止を押してください。原稿が排出されます。

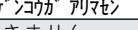
### ○○お願い

- 原稿を複数枚セットするときは、キャリアシートはお使いになられません。
- キャリアシートは古くなったら新しいものとお取り換えください。
- インクやのりなどが乾いていない原稿は、完全に乾いてからセットしてください。
- 原稿のクリップ・ホチキスの針は故障の原因となりますので取り外してください。
- 異なるサイズ・厚さ・紙質の原稿を混ぜてセットしないでください。
- 原稿の先端に色がついていると、濃い原稿と判断する場合があります。このときは、原稿をセットする向きを変えたり、あらかじめ濃度を下げるなどの対処をしてください。
- 原稿を強く押し込まないでください。原稿づまりを起こしたり、複数枚の原稿が一度に送られることがあります。
- 記録紙は以下の条件を満たすコピー用紙を使用してください。  
A4 (297 mm × 210 mm), 64g/m<sup>2</sup> ~ 90g/m<sup>2</sup> (55 ~ 77kg 紙)
- ファックスを送信するときは、記録紙がセットされていることを確認してください。原稿が正常に送信できなかったとき、自動的に送信レポートがプリントされます。

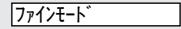
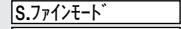
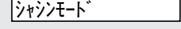
## 原稿に合わせて画質を調整する

原稿の文字の大きさや写真の有無に合わせて、画質を設定します。を押すごとに、“標準”、“ファイン”、“スーパー・ファイン（S. ファイン）”、“写真” の 4つのモードに切り換わります。

### 記録紙と原稿をセットした状態で設定します。

- 原稿がセットされていないと、と表示され、画質を調整することができません。

1  でモードを選ぶ。

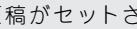
 ヒョウジュンモード	: 大きくはっきり見える文字のとき。
 フайнモード	: 小さな文字のとき。
 S. フайнモード	: 新聞のような細かい文字のとき。
 シャシンモード	: 写真やカラー原稿のとき。

-  を押すごとにモードが切り換わります。

## ページごとに画質を調整する

1 ページだけ写真入りの原稿が含まれているようなときに、ページごとに画質モードを設定してファクスを送信することができます。

### 記録紙と原稿をセットした状態で設定します。

- 原稿がセットされていないとと表示され、画質を調整することができません。

1  (3) (4) を押す。

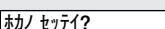
1 ページ目の画質を設定するディスプレイが表示されます。

2  で1ページ目の画質を選び、 を押す。

2 ページ目の画質を選ぶディスプレイが表示されます。同様の手順で最終ページまで画質を設定します。  
※ 最後の原稿のときは手順 3へ。

3

 で最終ページの画質を選び、 を押す。

 [カノセッテイ]  [1.スル 2.シケイ] が表示されます。

4

 (2) を押す。

設定を終了します。

他の送信設定をするときは、(1) を押して、設定を続けます。

## 原稿濃度を一時的に変更する

 で一時的に濃度を変えてファクスすることができます。ファクス送信後は元の設定に戻ります。

### 記録紙と原稿をセットした状態で設定します。

- 原稿がセットされていない状態で を押すと、着信ベル音量の設定になり、濃度変更の設定ができます。

1  で濃度を選ぶ。

 コク	: 原稿濃度が濃いとき。
 コク	: 原稿濃度が普通のとき。
 コク	: 原稿濃度が薄いとき。

# ファクスを送信するには

## ファクスだけをすぐに送信する [自動送信]

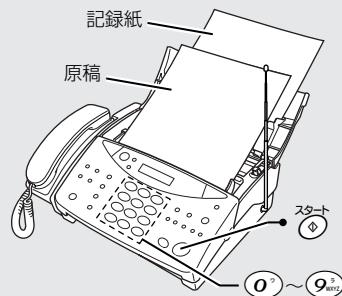
### 1 記録紙と原稿をセットする。☞ 64 ページ

☞ 必要があれば、原稿に合わせて画質や濃度を調整します。☞ 65 ページ

### 2 受話器をおいたまま、相手先の電話番号をダイヤルする。

### 3 を押す。

ファクス送信を開始します。送信後は「ピー」という音がします。



### ■ 自動送信を中止するには

 を押します。すでに原稿が繰り込まれているときは、もう一度  を押すと原稿が排出されます。

## 相手と話をしてから送信する [手動送信]

### 1 記録紙と原稿をセットする。

必要があれば、原稿に合わせて画質や濃度を調整します。

### 2 受話器をとる。

(または  を押す。)

### 3 相手先の電話番号をダイヤルする。

### 4

相手が出たらファクスを送ることを伝え、相手側のファクスの「スタートボタン」を押してもらう。

相手のファクスが受信できる状態になると「ピ——ヒヨロロ」という音が聞こえます。

☞ 相手が電話に出す「ピー」という音がしたときは、そのまま手順5へ。

### 5

 を押す。

ファクス送信を開始します。

### 6

受話器を戻す。

送信後は「ピー」という音がします。

### ■ 手動送信を中止するには

受話器を戻します (または  を押します)。すでに  を押したときは、 を押します。もう一度  を押すと原稿が排出されます。

### ■ 送信できなかったときは

- 【自動送信】でファクスを送信した場合で、相手が通話中などの理由で送信できなかったときは、自動的に8回まで「再ダイヤル」を行います。それでも送信できなかったときは、送信レポートがプリントされます。あらかじめ記録紙をセットしておくことをおすすめします。
- 【手動送信】でファクスを送信したときは、自動再ダイヤルは行われません。同じ相手に再度ダイヤルするときは  を押します。

### ■ ECM 通信について

ECM (Error Correction Mode の略称) とは、国際的に標準化された自動誤り訂正方式による通信モードのことです。通信中の雑音などにより、送信データが影響を受けても自動的に影響を受けた部分だけを送り直すため、画像の乱れのない通信を行うことができます。

- 送信側・受信側ともに ECM 機能を持っていないと ECM 通信は行われません。
- ECM 通信中に雑音などで影響を受けたときは、通信時間が正常時に比べ多少長くなります。
- ECM 通信を行っても、回線の状況によってはエラー終了することがあります。

# その他の送信をする

## ファクス送信後に相手と話をする [電話予約]

[電話予約] を設定すると、ファクス送信後に自動的に相手先の呼出音を鳴らします。相手が電話に出ると本機の呼出音が鳴り、受話器を取って通話することができます。

また、相手が電話に出なかったときに「オデンワ クダサイ」という伝言メッセージを送信することができます。([伝言メッセージ機能])

設定は、1回のみ有効です。(送信後は[電話予約]の設定は解除されます。)

### 注意

「伝言メッセージ」を設定するときは、事前に発信元データを登録してください。(発信元データを登録していないときは、「伝言メッセージ」を設定することができません。[発信元登録：12 ページ](#))

- 1 記録紙と原稿をセットする。  
必要があれば、原稿に合わせて画質や濃度を調整します。
- 2 機能 を押す。  
電話予約を設定するディスプレイが表示されます。
- 3 で「ON」を選び、 を押す。  

テンツヨウ:OFF	:電話予約を設定しないとき。
テンツヨウ:ON	:電話予約を設定するとき。
プリントサンプル	:伝言メッセージのサンプルをプリントするとき。

- 4 で伝言メッセージの「ON」 / 「OFF」を選び、 を押す。  

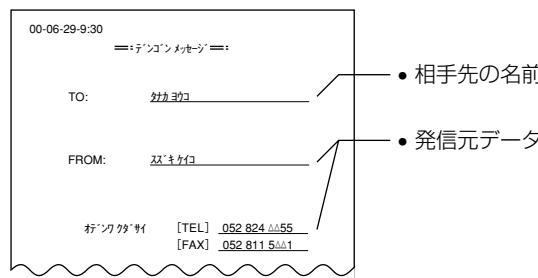
テンツヨウメッセージ:ON	:伝言メッセージを付けるとき。
テンツヨウメッセージ:OFF	:伝言メッセージを付けないとき。

ホルセッティ?	→	1.スル 2.シイ
---------	---	-----------

  
が表示されます。
- 5 を押す。  
他の送信設定をするときは を押して、設定を続けます。
- 6 相手先の電話番号をダイヤルし、 を押す。  
ファクス送信を開始します。  
送信終了後、自動的に相手の呼出音を鳴らします。  
相手が電話に出ると、自動的に本機の呼出音を鳴らします。

- 7 本機の呼出音が鳴ったら、受話器を取って通話する。  
● 相手が電話に出られず、伝言メッセージを「ON」に設定しているときは、相手に「伝言メッセージ」を送信します。



### ■ 伝言メッセージのサンプルをプリントするには

手順3で、「プリントサンプル」を選び、 を押します。

### MEMO

- 相手のファクシミリに電話予約機能がないときは、[電話予約] はできません。
- [タイマー送信]、[ポーリング送信]、[順次同報送信] を設定すると、[電話予約] の設定は解除されます。

## 送付書を付けて送信する [送付書送信]

本機では、ファックスを送信するとき、自動的に「送付書」を作成し、送信することができます。「送付書」の書式には下記の内容が記載されます。

### 注意

[送付書送信] を設定するときは、事前に発信元データを登録してください。(発信元データを登録していないときは、[送付書送信] を設定することができません。☞ 発信元登録：12 ページ)

### ■ 送付書のコメントを登録する [送付書コメント]

送付書に記載するコメントとして、2種類のオリジナルコメントを登録することができます。

**1**  
機能  
**3 OFF** **2 ABC** を押す。

送付書コメントを設定するディスプレイが表示されます。

**2**  
○/□ でオリジナルコメントの登録先（「5.」または「6.」）を選び、○を押す。

**3**  
オリジナルコメントを入力し、○を押す。

- コメントは 27 文字まで入力できます。  
[カノセッテイ] ⇨ [1.スル 2.シケイ] が表示されます。

**4**  
○を押す。

設定を終了します。  
他の送信設定をするときは **1** を押して、設定を続けます。

### ■ 送付書を付けて送信する [送付書送信]

[送付書送信] は次の手順で設定します。

**1**  
記録紙と原稿をセットする。

必要があれば、原稿に合わせて画質や濃度を調整します。

**2**  
機能  
**3 OFF** **1** を押す。

送付書送信を設定するディスプレイが表示されます。

**3**  
○/□ で送付書の設定を選び、○を押す。

- |           |                                    |
|-----------|------------------------------------|
| ソウフショ:ON  | :毎回、送付書を付けるときは手順 5 へ。              |
| コンカイミ     | :今回の送付書を設定するときは手順 4 へ。             |
| ソウフショ:OFF | :毎回、送付書を付けないときは手順 7 へ。             |
| プリントサンプル  | :送付書サンプルをプリントするときは <b>⑩</b> を押します。 |

**4**  
○/□ で今回の設定を選び、○を押す。

☞ [コンカイミ:ON] :今回だけ送付書を付けるときは手順 5 へ。

[コンカイミ:OFF] :今回だけ送付書を付けないときは手順 7 へ。

**5**  
○/□ でコメントを選び ○を押す。(または **1** ~ **6** を押す。)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1.コメントなし      | 2.オーデンクダーサイ   |
| 3.シキユ         | 4.シンテン        |
| 5.(オリジナルコメント) | 6.(オリジナルコメント) |
| ☞ [コンカイミ:ON]  | のときは手順 6 へ。   |
| [ソウフショ:ON]    | のときは手順 7 へ。   |

**6**  
① ~ ⑨ で送信枚数を押し、○を押す。

● 枚数は 2 行で指定します。

[カノセッテイ] ⇨ [1.スル 2.シケイ] が表示されます。

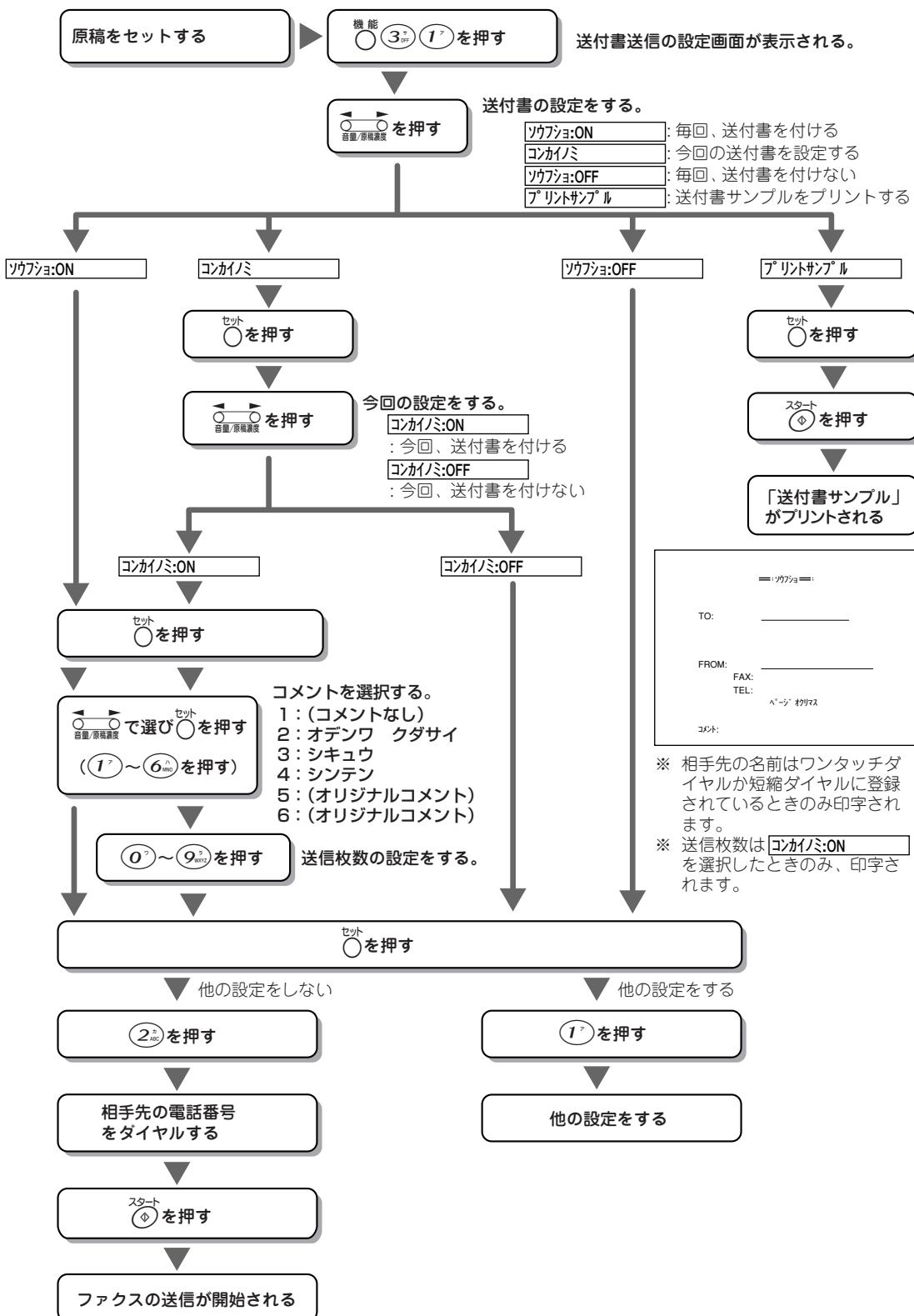
**7**  
○を押す。

他の送信設定をするときは **1** を押して、設定を続けます。

**8**  
相手先の電話番号をダイヤルし、○を押す。

ファックスの送信が開始されます。

## ■ 参考



## 指定した時刻に送信する [タイマー送信]

[タイマー送信] を設定すると、指定した時刻に自動的に原稿を送信することができます。(時刻指定は 24 時間以内です。) 設定は 1 回のみ有効です。送信後は [タイマー送信] の設定は解除されます。

1

記録紙を原稿とセットする。

必要があれば、原稿に合わせて画質や濃度を調整します。

[メモリー送信] をするときは  を押します。

2

   を押す。

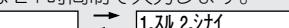
タイマー送信を設定するディスプレイが表示されます。

- このときディスプレイには現在の時刻が表示されています。

3

 ～  で送信時刻を入力し、 を押す。

送信時刻は 24 時間制で入力します。

 セッテイ?   が表示されます。

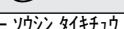
4

 を押す。

他の送信設定をするときは  を押して、設定を続けます。

5

相手先の電話番号をダイヤルし、 を押す。

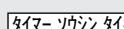
タイマー送信待機になります。

- [メモリー送信] のときは原稿の読み込みが始まり、原稿の読み込みを終了するとタイマー送信待機になります。
- 送信時刻になると自動的に送信します。
- 相手が通話中などの理由で送信できなかったときは、自動的に 8 回まで「再ダイヤル」を行います。

6

送信終了後、「タイマー通信レポート」がプリントされる。

### ○ お願い

ディスプレイに  と表示されているときは、セットしてある原稿を取らないでください。(タイマー送信がセットされています。)

原稿を取り除くと、1 分後にタイマー送信予約が無効になります。

### ■ タイマー送信待機中に電話をかけるには

そのまま電話できます。セットしてある原稿を取らずに電話をかけてください。

### ■ タイマー送信待機中に別の原稿を送信するには

「送信の解除と割込をするには」(75 ページ) を参照してください。

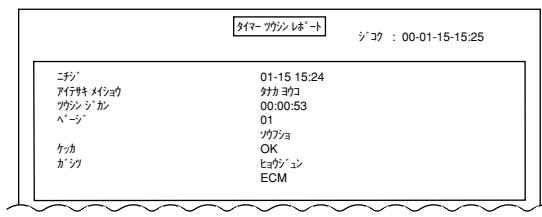
### ■ タイマー送信待機中に電話がかかってきたり、ファクスを受信したときは

そのまま電話にててください。自動送信で送られてきたファクスは自動的に受信します。

### ■ タイマー送信予約を解除するには

「送信の解除と割込をするには」(75 ページ) を参照してください。

### ■ タイマー送信レポートのプリント例





## 受信側の操作で送信する [ポーリング送信]

受信側のファクシミリの操作で、送信側のファクシミリにセットしてある原稿を送信させることができます。（「ポーリング通信」といいます。）本機が送信側のときの通信を「ポーリング送信」といいます。設定は、1回のみ有効です。送信後は「ポーリング送信」の設定は解除されます。

### ■ ポーリング送信／機密ポーリング送信

ポーリング送信には、通常のポーリング送信と、パスワード（4桁）を使用しないと原稿を受け取ることができない機密ポーリング送信があります。

### ■ ポーリング送信／機密ポーリング送信の設定をする

- 1 記録紙と原稿をセットする。  
必要があれば、原稿に合わせて画質や濃度を調整します。  
[メモリー送信] をするときは  
メモリー送信  
○ を押します。
- 2 機能  
○ (3)<sub>OFF</sub> (8)<sub>TEN</sub> を押す。  
ポーリング送信を設定するディスプレイが表示されます。
- 3 ○/○ でポーリングモードを選び、○<sub>SET</sub> を押す。  
※ [ポーリング:ヒュゲン] : パスワード使用しないときは手順5へ。  
[ポーリング:キツ] : パスワード使用するときは手順4へ。
- 4 ○<sub>0</sub> ~ ○<sub>9</sub><sub>MFC</sub> でパスワードを入力し、  
セッテイ  
○ を押す。  
パスワードには4桁の数字を設定します。  
[カノセッテイ] ↔ [1.スル2.シイ]  
が表示されます。
- 5 ○<sub>2</sub><sub>REC</sub> を押す。  
他の送信設定をするときは  
○<sub>1</sub> を押して、設定を続けます。
- 6 スタート  
○ を押す。  
ポーリング送信待機になります。  
[ポーリング:タイキョウ]  
● [メモリー送信] のときは原稿の読み込みが始まり、原稿の読み込みを終了するとポーリング送信待機になります。

7

送信終了後、「ポーリングレポート」がプリントされる。

### 注意

- ディスプレイに [ポーリング:タイキョウ] と表示されているときは、セットしてある原稿を取らないでください。（ポーリング送信がセットされています。）
- 原稿を取り除くと、受信側が「ポーリング通信」の操作を行ったときエラーになります。
- 受信側のファクシミリによっては（ポーリング機能がないときなど）、この機能を利用できないことがあります。

### MEMO

ポーリング送信とメモリー送信を同時に設定したときは、「メモリーポーリング送信」となり、本機に読み込んだ原稿を、相手側の操作によって随時送信します。この場合は、設定は1回の送信では解除されません。（複数の相手が、本機から原稿を取り出することができます。）

「メモリーポーリング送信」を解除する場合は、「送信設定を解除する」（☞ 75ページ）を参照してください。

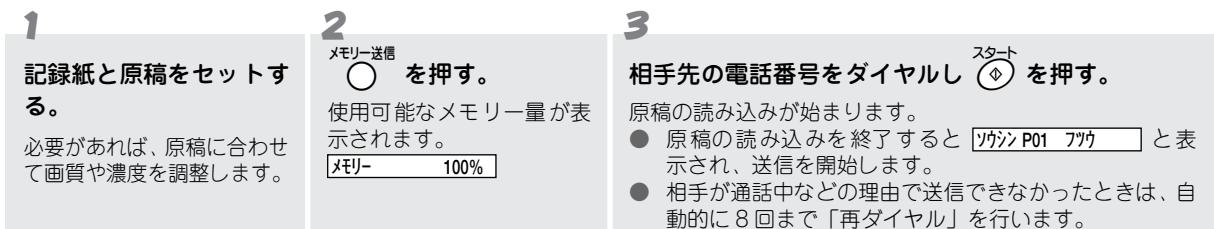


## 原稿を読み込んでから送信する [メモリー送信]

[メモリー送信] を設定すると、原稿をいったん本機のメモリーに読み込んでから自動的に送信することができます。

あまり見られたくない原稿や機密書類を送るとき、原稿を他の用途ですぐ使いたいときなどに適した送信方法です。(送信が終わるのをその場で待つ必要はありません。)

設定は、1回のみ有効です。送信後は [メモリー送信] の設定は解除されます。



### ■ メモリー送信を中止するには

次の手順で送信を中止します。(メモリー送信中のタイミングによって中止のしかたが違います。)

原稿読み込み中	原稿読み込み終了後～ダイヤル中	ダイヤル終了後～送信中
<p>停止 ○ を2回押す。</p> <p>原稿の読み込みが中止され、原稿が排出されます。 メモリー送信は中止され、メモリー内容はクリアされます。</p>	<p>停止 ○ を押す。</p> <p>メモリー送信は中止され、メモリー内容はクリアされます。</p>	<p>停止 ○ 1アラーム を押す。</p> <p>メモリー送信は中断され、メモリー内容はクリアされます。</p>

### ■ メモリーゲンカイ と表示されたときは

送信用メモリーに空きがなくなったことを示しています。このときは次のように対処してください。

表示されたとき	対処
1ページ目を読み込み中に メモリーゲンカイ が表示されたとき	<p>停止 ○ を押してメモリー送信を中止し、[自動送信] または [手動送信] で原稿を送信します。(このときは [メモリー送信] を行うことができません。)</p>
2ページ目以降を読み込み中に メモリーゲンカイ が表示されたとき	<p>2つの対処法があります。</p> <p>(1) スタート ○ を押して読み込みが終了したページまでをいったん送信し、もう一度、続きの原稿をメモリー送信します。</p> <p>(2) 停止 ○ を押してメモリー送信を中止し、[自動送信] または [手動送信] で原稿を送信します。</p> <p>どちらの対処も行わず60秒経過したときは、読み込みが終了したページまでを自動的に送信します。</p>

### ■ 原稿読み込み中に着信があったときは

設定した [着信ベル回数] を無視して、着信ベルが鳴り続けます。このときは、いったん 停止 ○ を押して原稿の読み込みを中止して、電話を受けてください。(通話終了後、改めてメモリー送信をやり直してください。)

### ■ 送信できなかつたときは

送信できなかつたときは、「送信レポート」がプリントされます。

## 同じ原稿を複数の宛先に送信する [順次同報送信]

[順次同報送信] を設定すると、指定した送信先（最大 85 箇所）に、同じ原稿を指定した順で送信することができます。（ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、電話帳からの検索で送信先を指定し、順次、[メモリー送信] を行います。）

設定は、1回のみ有効です。送信後は [順次同報送信] の設定は解除されます。

- 1 記録紙と原稿をセットする。  
必要があれば、原稿に合わせて画質や濃度を調整します。
- 2 メモリー送信 を押す。  
使用可能なメモリー量が表示されます。  
メモリー 100%
- 3 ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤル、電話帳からの検索で、送信先を送信したい順に指定する。  
● 送信先を間違えたときは を押し、送信先を最初から指定し直してください。
- 4 を押す。  
原稿の読み込みが始まります。  
原稿の読み込みを終了すると送信を開始します。
- 5 送信終了後、「同報送信レポート」がプリントされる。
- 6 「同報送信レポート」を確認し、「エラー」などで送られていない送信先にもう一度送信する。

### ■ 順次同報送信を中止するには

を押して、ディスプレイの表示に従ってください。（☞ 72 ページ「メモリー送信を中止するには」参照）

### ■ 順次同報送信レポートのプリント例

トータル送信レポート							
01							
ページ	ページ	同行枚数	メモリ容量	ツラシシ	エラー	タッカ	コメント
01-15	15:12	22	44	01	01	OK	ECM
01-15	15:13	22	44	00	01	OK	ECM
01-15	15:15	22	44	54	00	12	ECM
01-15	15:17	22	43	01	01	OK	ECM
01-15	15:18	22	43	01	01	OK	ECM
01-15	15:19	22	43	01	01	OK	ECM
01-15	15:21	22	43	01	01	OK	ECM
01-15	15:23	22	43	01	01	OK	ECM
01-15	15:24	22	44	01	01	OK	ECM

SO : ソフト版

## 海外へ送信する [海外送信モード]

海外へ送信するときは、[海外送信モード] を「ON」に設定することによって、通信エラーを少なくすることができます。（海外への送信では、回線の状況などによって正常に通信できないことがあります。）

設定は、1回のみ有効です。送信後は「海外送信モード」の設定は解除されます。

- 1 記録紙と原稿をセットする。  
必要があれば、原稿に合わせて画質や濃度を調整します。
- 2 機能 (3<sup>回転</sup>) (5<sup>斜</sup>) を押す。  
海外送信モードを設定するディスプレイが表示されます。
- 3 で「ON」を選び、 を押す。  

カイガ・イクシソ:ON	: 海外に送信するとき。	
カイガ・イクシソ:OFF	: 海外に送信しないとき。	
ホルノセッテイ?	← 1.スル 2.シケイ →	が表示されます。
- 4 を押す。  
他の送信設定をするときは (1) を押して、設定を続けます。
- 5 相手先の電話番号をダイヤルし、 を押す。  
ファックス送信を開始します。

## 受信中やメモリー送信中に次の送信の予約をする [送信予約]

ファックスの受信中や [メモリー送信] 中に、送信設定ができます。設定をしておくと、受信や [メモリー送信] が終了すると自動的に送信を行います。

- 1 ファックス受信中  
メモリー送信中  
記録紙と原稿をセットする。  
必要があれば、原稿に合わせて画質を調整します。
- 2 相手先の電話番号をダイヤルする。  
● 電話帳、グループダイヤルは使用できません。
- 3 スタートセット  
停止 を押す。  
受信、メモリー送信の終了後、自動的に送信を開始します。

### ■ 送信予約を解除するには

原稿を外し、 を押してください。

#### 注意

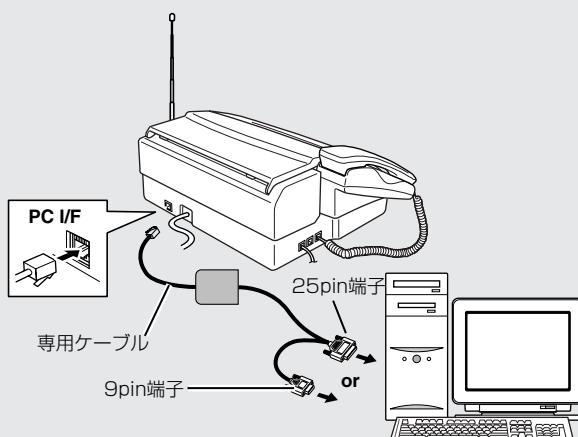
- [タイマー送信]、[ポーリング送信] の待機中（割り込み中も含む）は [送信予約] はできません。
- [送信予約] では、ページごとの画質の調整はできません。

## パソコンからファックスを送信する [PC 接続]

別売りのMFL-100（プラザーマルチファンクションリンク）をご購入されると、本機とパソコンをMFL-100を使ってWindows® アプリケーションから簡単にファックス送信することができます。ファックス送信作業はバックグラウンドで行われるため、ほかの作業を中断することもありません。詳しくはMFL-100 取扱説明書をご覧ください。

送信する前にMFL-100 の取扱説明書（第1章：ご使用のインストールとセットアップ）に従って専用ケーブルの接続、ソフトのインストール及び必要なセットアップを完了してください。

送信作業は MFL-100 の取扱説明書（第3章：  
PC からファックスを送信する）を参照してください。



# 送信の解除と割込をするには

## 送信設定を解除する

[タイマー送信] (70 ページ)、[メモリー送信] (72 ページ)、[ポーリング送信] (71 ページ) の待機中に、設定を解除したいときは、次の手順で解除します。

### ■ 待機中のディスプレイ

タイマー送信待機中	タイマーソウシングタイキユウ
ポーリング送信待機中	ポーリングタイキユウ
[メモリー送信] を使ったタイマー送信待機中	
[メモリー送信] を使ったポーリング送信／タイマーポーリング受信待機中	'00 10/25 15:30

### ■ 送信設定を解除するには

- 1 機能  4  を押す。  
送信設定を解除するディスプレイが表示されます。  
※ 待機中の設定が 1 件のときは手順 4 へ。  
待機中の設定がないときは手順 5 へ。  
(設定がないと [セッティング サポート] が表示されます。)
- 2  /  で解除したい設定を選択。  
※ 解除したい設定があるときは手順 3 へ。  
解除したい設定がないときは手順 5 へ。
- 3 セット  を押す。  
[カイゼヨ1.スル2.シケイ] が表示されます。
- 4 ① を押す。  
設定が解除され、手順 2 に戻ります。
- 5 停止  を押す。  
設定の解除を終了します。

## 送信待機中に割り込みする

[タイマー送信] (70 ページ)、[ポーリング送信] (71 ページ) の待機中に、設定を解除せずにコピーやファックスの送信をしたいときは、次の手順でコピーやファックス送信を行います。

### ■ 待機中のディスプレイ

タイマー送信待機中	タイマーソウシングタイキユウ
ポーリング送信待機中	ポーリングタイキユウ

### ■ 待機中に割り込みするには

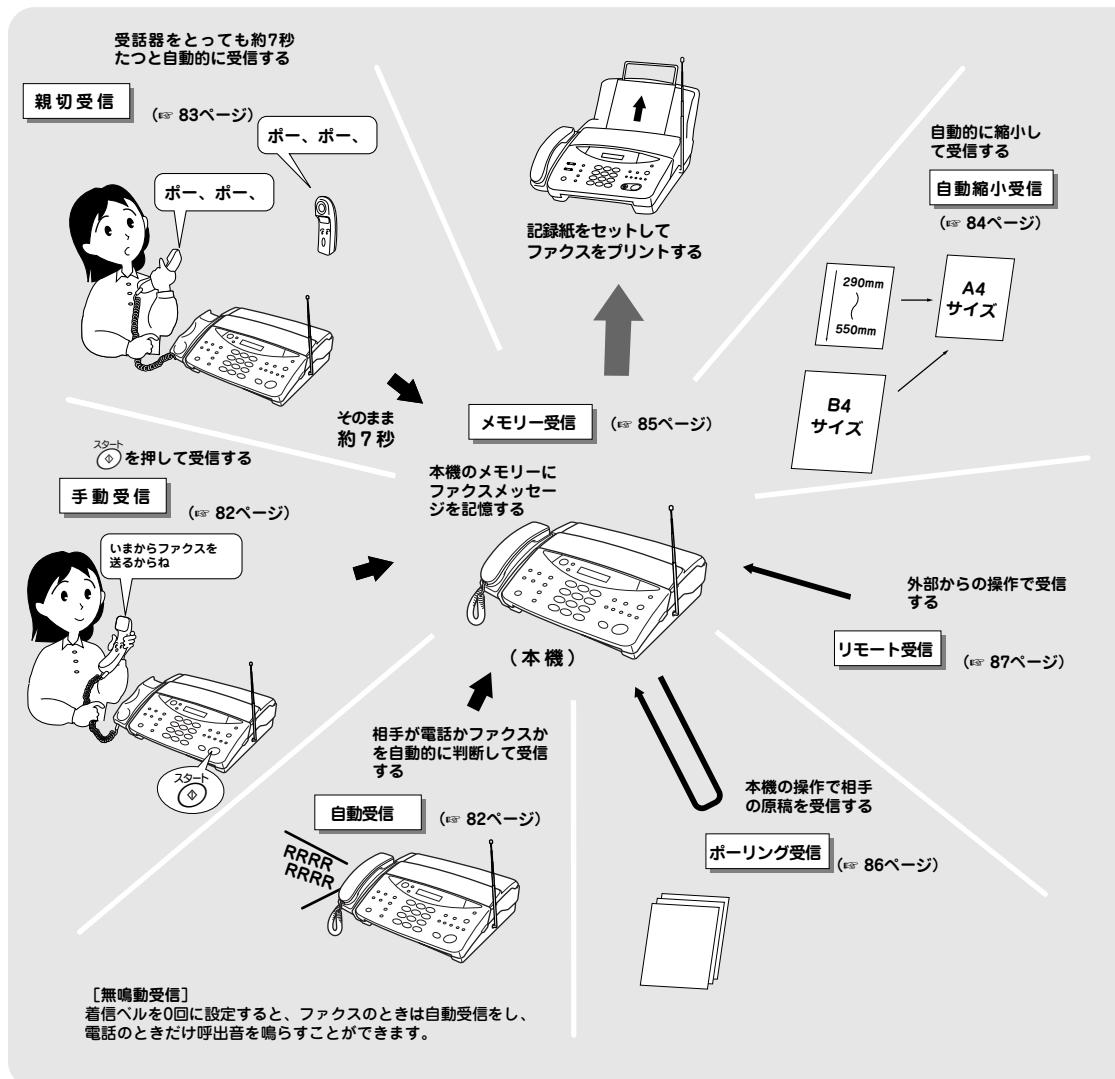
- 1 機能  5  を押す。  
送信待機中の割込をするディスプレイが表示されます。
- 2 セットされている原稿を外し、割り込みをしたい原稿をセットする。
- 3 コピーの場合は  を押す。  
ファックスの場合は相手先の電話番号をダイヤルし、 を押す。
- 4 コピー / ファックスの終了後、元の原稿をセットする。
- 5 機能  5  を押す。  
割り込みを終了します。

### MEMO

割り込みでファックス送信するときは、自動再ダイヤルは働きません。

# こんな受信ができます

本機では次のような受信をすることができます。



## MEMO

本機は、通常（待ち受け時）は記録紙をセットしていない状態で使用します。（ファクスマッセージを受信したときは、いったん本機のメモリーに記憶します。）

ファクスマッセージを受信したかどうかは、「着信メッセージ」（☞ 91 ページ）によって確認し、受信しているときは記録紙をセットしてプリントします。

### 子機でファクスを受信するには

子機でファクスを受信したいときは、あらかじめ「親切受信」を設定しておきます。（「親切受信」を設定していない場合は、いったん親機に取り次いだ後、親機でファクスを受信します。）



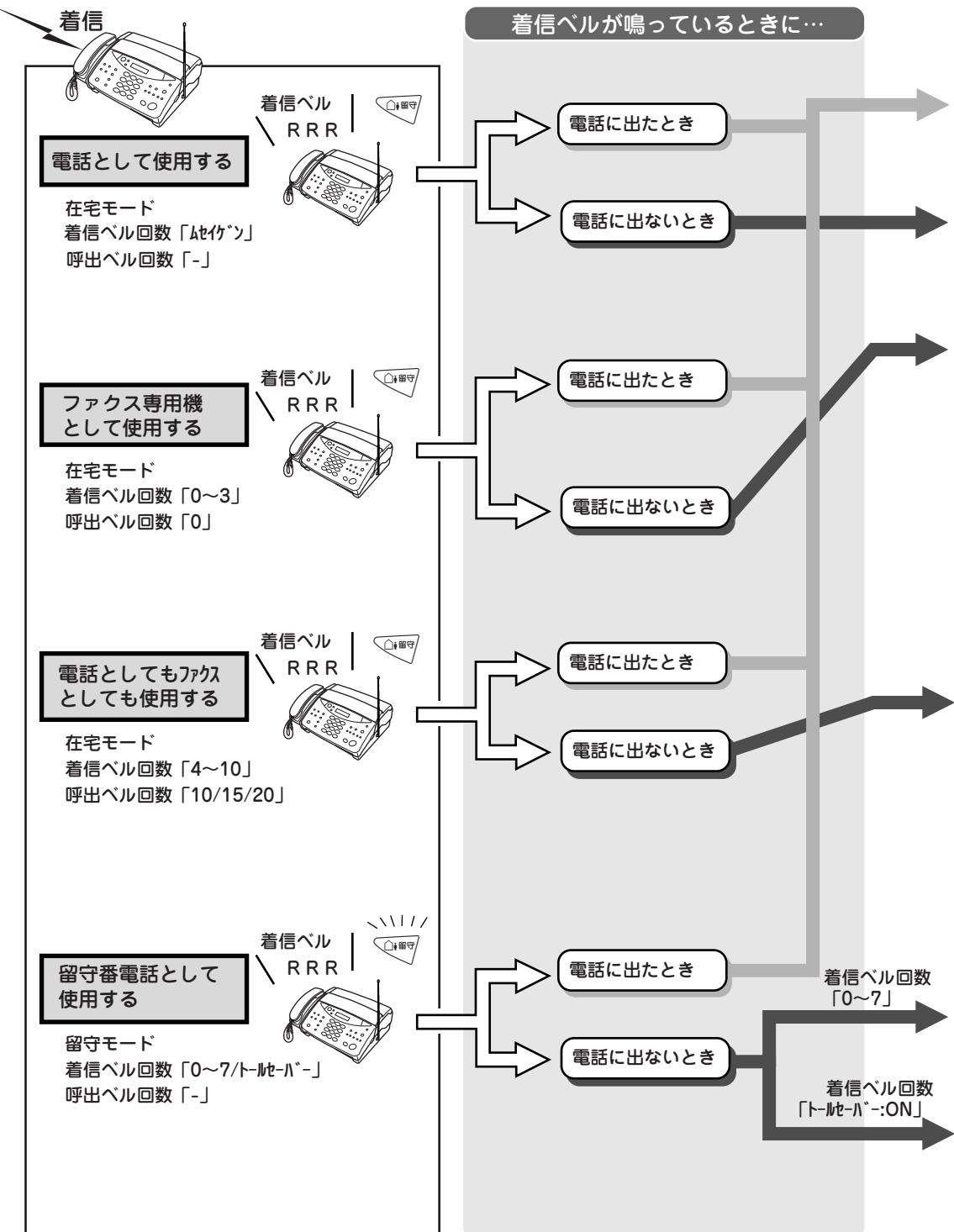
## 受信のしかた

ファクスや電話を受けるときは、本機では「在宅モード」・「留守モード」という2つの受信モードと、「着信ベル」・「呼出ベル」という2種類のベルを使い分けて受信することができます。

受信モードは、使い方に応じて次のように設定します。着信ベル回数や呼出ベル回数は受信モードに応じて自動的に設定されますが、指定の範囲内で変更することもできます。

本機の設定 使い方	受信モード	着信ベル回数	呼出ベル回数	参照
電話として使うことが多いとき	在宅モード	無制限 約100秒間鳴り終わると、電話が切れます。ファクスには切り換りません。	-	78~80 ページ
ファクス専用機として使うとき	在宅モード	00~10回 ファクスを受信するまでの着信ベル回数を設定します。	00	
電話としてもファクスとしても使うとき	在宅モード	00~10回 ファクスを受信するまでの着信ベル回数を設定します。	10/15/20	
外出するとき / 電話に出られないとき	留守モード	00~07回 留守番電話に切り換わるまでの着信ベル回数を設定します。 トールセーバー 外出先から留守メッセージの有無を確認するためのモードです。	-	

## こんな受信ができます



## 相手がファクスのとき

「ポーーー」という音が聞こえます。

スタートボタンを押してファクスを受信します。

[手動受信]

## 相手が電話のとき

そのまま通話します。

相手がファクスを送りたいときは

スタートボタンを押してファクスを受信します。

受信できません。

着信しません。

自動的にファクスを受信します。 [自動受信]

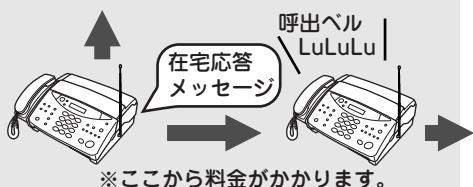
自動的に回線が切れます。

自動的にファクスを受信します。 [自動受信]

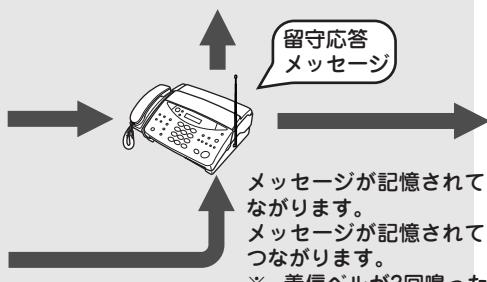
(参考)

着信ベルを0回に設定すると、ファクスのときは自動受信をし、電話のときだけ呼出音を鳴らすことができます。

[無鳴動受信]



メモリーにファクスメッセージを記憶します。  
(☞ 85ページ)



(呼出ベルが鳴っています。)

電話に出たとき

そのまま通話します。

相手がファクスを送りたいときは

スタートボタンを押してファクスを受信します。

電話に出ないとき

自動的に回線が切れます。

留守録メモリーに音声メッセージを録音します。

# ファクスを受信する前に

## 着信ベル回数を設定する

「在宅モード」のときと「留守モード」のときの2種類の着信ベル回数を設定します。着信ベルが鳴り終わると、ファクスの自動受信や応答メッセージの再生を行います。

お買い上げ時の着信ベル回数は「在宅モード」時が8回、「留守モード」時が2回に設定されています。

### ■ 在宅モード時の着信ベル回数を設定する（ファクスを受信するまでの着信ベル回数を設定する）

1 機能  
○ (2)<sub>ABC</sub> (1) を押す。  
受信モードを設定するディスプレイが表示されます。

2 ○/○で「サイキモード」を選び、○を押す。  
着信ベル回数を設定するディスプレイが表示されます。

3 ○/○で着信ベル回数を選び、○を押す。  
「ルセケン」：電話として使用するとき。  
「0～3」：ファクス機として使用するとき。  
「4～10」：電話としてもファクスとしても使用するとき。

4 停止  
○を押す。  
設定を終了します。

### ■ 留守モード時の着信ベル回数を設定する（留守番電話に切り換わるまでの着信ベル回数を設定する）

1 機能  
○ (2)<sub>ABC</sub> (1) を押す。  
受信モードを設定するディスプレイが表示されます。

2 ○/○で「ルモード」を選び、○を押す。  
着信ベル回数を設定するディスプレイが表示されます。

3 ○/○で着信ベル回数の設定を選び、○を押す。  
「0～7」：留守番電話として使用するとき。  
「トールセーバー:ON」：外部から留守メッセージの有無を確認したいとき。

4 停止  
○を押す。  
設定を終了します。

## 呼出ベル回数を設定する

本機では「在宅モード」で「着信ベル回数」が0～10回に設定されているときは、着信ベルの後に着信ベルとは違う鳴りかたで、「呼出ベル」が鳴ります。この「呼出ベル」の鳴る回数を設定します。

相手がファクスの場合は「呼出ベル」は鳴りません。着信ベルが鳴り終わった時点でファクス受信に切り換わります。お買い上げ時の呼出ベル回数は10回に設定されています。

### ■ 在宅モード時の呼出ベル回数を設定する

1 機能  
○ (2)<sub>ABC</sub> (2)<sub>ABC</sub> を押す。  
呼出ベル回数を設定するディスプレイが表示されます。

2 ○/○で呼出ベル回数を選び、○を押す。  
呼出ベル回数は「0/10/15/20回」の中から選びます。

3 停止  
○を押す。  
設定を終了します。

### ！注意

- 本機は設定された「呼出ベル回数」だけ呼出ベルを鳴らした後、自動的に電話を切ります。
- 本機をファクス専用機としてご使用になるときは、「着信ベル回数」、「呼出ベル回数」とも0回に設定すると、ベルを全く鳴らさずにファクスを受信することができます。



## 在宅応答メッセージを録音する

「在宅モード」に設定しているときの在宅メッセージ（ザイタクオウトウ）を録音します。

- 1**  
機能 を押す。  
応答メッセージを設定するディスプレイが表示されます。
- 2**  
 で「ザイタクオウトウ」を選び、 を押す。
- 3**  
録音  
 を押し、受話器を取ってメッセージを録音する。
  - メッセージは最長20秒間録音できます。
  - 録音されているメッセージを再生したいときは を押します。
  - 録音されているメッセージを消去したいときは を押します。
- 4**  
停止 を押すか、受話器を戻す。  
設定を終了します。

### MEMO

- メッセージを録音するときは、受話器を5～8cm離して録音してください。受話器に息がかからず、きれいな音で録音できます。
- お買い上げ時の「ザイタクオウトウメッセージ」は、「この電話は電話とファクスに接続されています。電話のかたは呼び出しておりますので、そのまましばらくお待ちください。ファクスのかたは発信音のあとに送信してください。」と録音されています。

# ファクスを受信するには

## 手動でファクスを受信する [手動受信]

着信ベルが鳴っているときに電話を受け、ファクスを受信するときは、次の操作でファクスを受信します。

- 1 着信ベルが鳴ったら電話を受ける。☞ 35 ページ
- 2 相手がファクスを送りたいとき、または「ポー、ポー」  
という音が聞こえたときは、記録紙をセットし、を押す。
  - 原稿がセットしてあるときは原稿を外してください。
- 3 受話器を戻す。

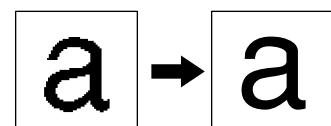


### MEMO

- 相手が自動送信のファクスのときは、着信ベル(7~10回)が鳴っている間に、電話を切ってしまうことがあります。そのときは、「着信ベル回数」を6回以下に設定してください。☞ 80 ページ
- 相手が手動送信のファクスのときは、受話器をとっても、「ポー、ポー」という音がしないことがあります。そのときは、相手がファクスを送るかどうかを口頭で確認し、を押してください。

## ■ スムージング記録について

「標準」、「ファイン」モードで送信されてきた原稿の線やギザギザを補正し、滑らかな線や文字で見やすく受信する機能です。



## 相手が電話かファクスかを自動的に判断して受信する [自動受信]

本機は、着信ベルが鳴り終わった後、自動的に相手が電話かファクスかを判断し、相手がファクスのときは自動的にファクスの受信を開始します。(相手が電話のときは、着信ベルに続けて呼出ベルを鳴らします。)

この機能は本機が自動的に行う機能ですが、着信ベル回数は「セイケン」以外に設定する必要があります。(☞ 80 ページ)



## ■ 記録紙がセットされていないときは

記録紙がセットされていないとき、または記録紙がなくなったときなどは、本機の代行受信メモリーにファクスを記憶します。このときは、通信が終了した後で記録紙をセットすると、自動的にファクスをプリントします。☞ 85 ページ



## 受話器で受けたファクスを自動的に受信する [親切受信]

相手から自動送信のファクスが送信されてきたとき、自動受信を開始する前に電話を受けると、「ポー、ポー」という音が聞こえ、親機の を押さないとファクスを受信することができません。このようなとき [親切受信] を設定しておくと、自動受信を開始する前に受話器でファクスを受けたときでも、自動的に受信することができます。

お買い上げ時は親切受信は「ON」に設定されています。

### ■ 親切受信が設定されていると

親機または子機で電話に出て「ポー、ポー」という音が聞こえたとき、約 7 秒待つと自動的にファクスの受信を始めます。このとき親機のディスプレイには と表示されます。ファクスの受信を始めたら、受話器を戻します。(子機の場合は充電器へ戻します。)

### ■ 親切受信の設定をする

- 1 を押す。  
親切受信を設定するディスプレイが表示されます。
- 2 で「ON」を選び、 を押す。  

シセツ ジュン:ON	:親機、子機、並列接続された電話機 で親切受信するとき。
シセツ ジュン:OFF	:親切受信しないとき。
- 3 を押す。  
設定を終了します。

### MEMO

- 回線の状態により、「ポー、ポー」という音が聞こえても、自動的にファクスを受信しないことがあります。このようなときは、 を押して手動でファクスを受信してください。
- 通話中、または外部からの音が入ったとき突然ファクスに切り変わってしまう場合は、[親切受信] の設定を「OFF」にしてください。



## 自動的に縮小して受信する [自動縮小受信]

[自動縮小受信] を設定しておくと、A4 の長さを越える原稿（約 290mm～約 550mm）を自動的に A4 サイズの記録紙にちょうど入るように縮小してプリントします。  
お買い上げ時は自動縮小受信は「ON」に設定されています。

### ■ ファックスを受信すると…

原稿（縦×横）	プリント状態	
	自動縮小受信 ON	自動縮小受信 OFF
約 290mm 以下 × 約 210mm 以下	自動縮小受信の設定に関係なく、等倍でプリントします。 短い原稿のときは余白を付加します。	
約 290mm～約 550mm × 約 210mm 以下	自動的に A4 サイズの記録紙にちょうど入るように縮小してプリントします。	2 枚の記録紙に分割してプリントします。
約 550mm 以上 × 約 210mm 以下	自動縮小受信の設定に関係なく、2 枚の記録紙に分割して、等倍でプリントします。	
B4 サイズ*	自動的に A4 サイズに縮小してプリントします。	

### ■ 自動縮小受信の設定をする

- 1 機能 を押す。  
自動縮小受信を設定するディスプレイが表示されます。
- 2 で「ON」を選び、 を押す。  
 : 自動縮小受信するとき。  
 : 自動縮小受信しないとき。
- 3 停止 を押す。  
設定を終了します。

### MEMO

メモリー残量が少ないときや原稿が複雑なときは、自動縮小されないことがあります。



## 本体のメモリーにファクスメッセージを記憶する [メモリー受信]

本機は、通常（待ち受け時）は記録紙をセットしていない状態で使用するため、ファクスメッセージを記憶しておくためのメモリーが備えられています。メモリーには約20枚分のファクスメッセージを記憶しておくことができます。メモリーにファクスメッセージが記憶されるのは次のような場合です。

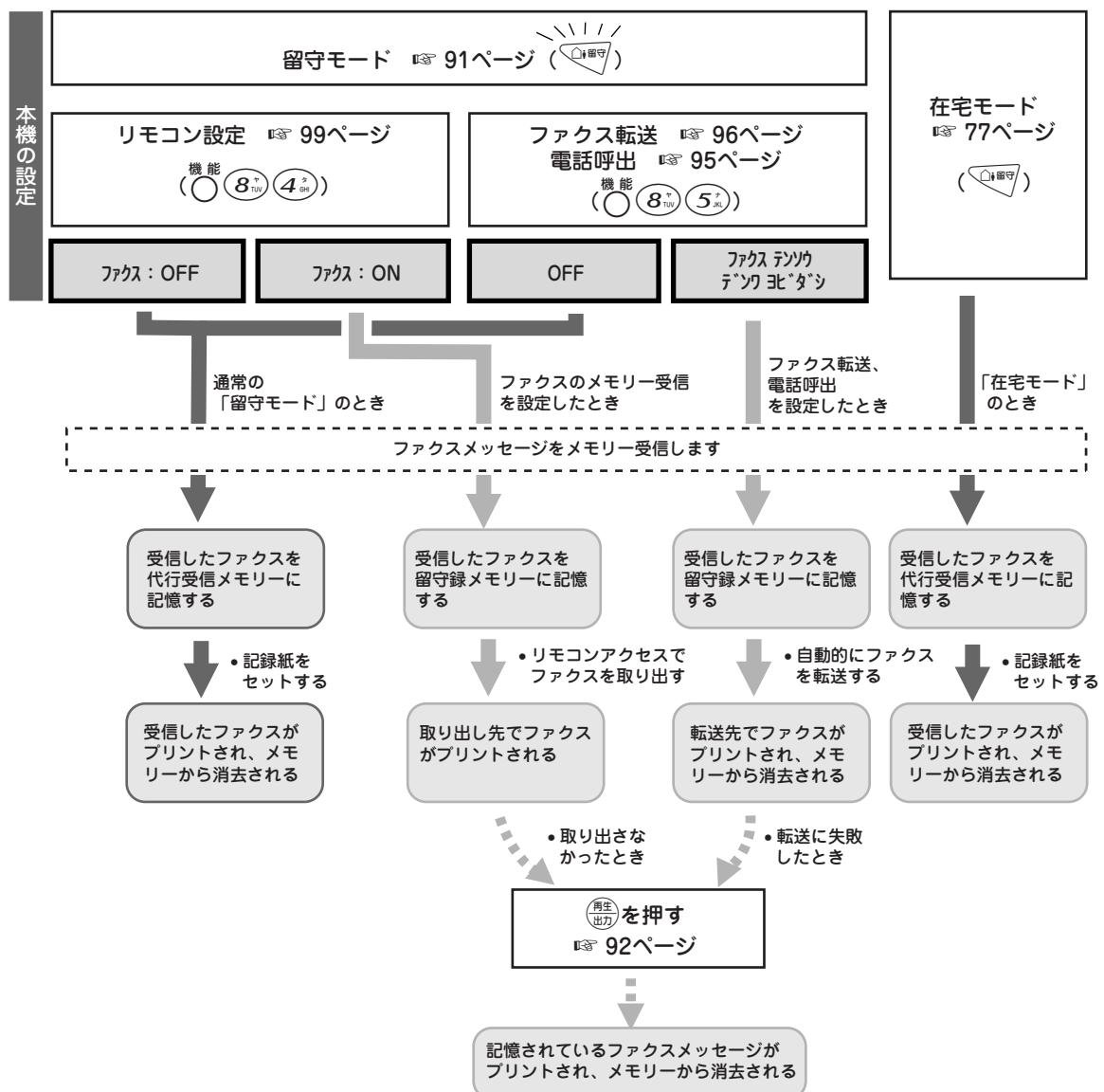
- 記録紙がセットされていない場合／記録紙がなくなった場合（メモリー代行受信）
- 「留守モード」にセットされていて、ファクス転送（96ページ）、または電話呼出（95ページ）に設定されている場合
- 「留守モード」にセットされていて、リモコン設定が「ファクス：ON」（ファクスメッセージのメモリー受信を行う）に設定されている場合

### ■ ファクスメッセージが記憶されると

メモリーにファクスメッセージが記憶されると、ディスプレイに **[メモリー受信]** と表示されます。

### ■ ファクスメッセージをプリントするには

記憶されたファクスメッセージは、本機の設定に応じて、次のような手順でプリントします。



# その他の受信をするには

## 本機の操作で相手の原稿を受信する [ポーリング受信]

受信側のファクシミリの操作で、送信側のファクシミリにセットしてある原稿を送信させることができます。（「ポーリング通信」といいます。）「ポーリング通信」において、本機が受信側のときの通信を「ポーリング受信」といいます。

設定は、1回のみ有効です。受信後は「ポーリング受信」の設定は解除されます。

### ■ ポーリング受信 / 機密ポーリング受信 / タイマー・ポーリング受信

ポーリング受信には、通常のポーリング受信と、パスワード（4桁）を入力しないと原稿を受け取ることができない機密ポーリング受信があります。また、受信する時刻を指定して自動的に原稿を受け取るタイマー・ポーリング受信があります。

### ■ ポーリング受信 / 機密ポーリング受信の設定をする

- 1 記録紙をセットする。
- 2 機能 を押す。  
ポーリング受信を設定するディスプレイが表示されます。
- 3 でポーリングモード（「ヒュウジュン」または「ミツ」）を選び、 を押す。  

ボーリング・ヒュウジュン
ボーリング・ミツ
ボーリング・タイマー

  
: パスワードを使用しないときは手順 5 へ。  
: パスワードを使用するときは手順 4 へ。  
: タイマー・ポーリング受信を設定するとき。
- 4 ~ でパスワードを入力し、 を押す。  
パスワードには 4 衡の数字を設定します。
- 5 相手先の電話番号をダイヤルし、 を押す。  
ポーリング受信を開始します。

### ■ タイマー・ポーリング受信の設定をする

- 1 記録紙をセットする。
- 2 機能 を押す。  
ポーリング受信を設定するディスプレイが表示されます。
- 3 で「タイマ-」を選び、 を押す。
- 4 ~ でポーリング受信する時刻を入力し、 を押す。  
受信時刻は 24 時間制で入力します。
- 5 相手先の電話番号をダイヤルし、 を押す。  
タイマー・ポーリング受信待機中になり、指定した時刻になると自動的にポーリング受信を開始します。

### ○○お願い

送信側のファクシミリによっては（ポーリング機能がないときなど）、この機能を利用できないことがあります。



## 外部からの操作でファクスを受信する [リモート受信]

### ● 送信側の操作でファクスを受信するには

本機の呼出ベルが鳴っているときに送信側のファクシミリから「リモート起動番号」を入力することで、本機のファクス受信を開始させることができます。[リモート受信]

(リモート受信の操作を行わないときは、本機に設定した回数の呼出ベルが鳴り終わると自動的に電話が切れます。)お買い上げ時の「リモート起動番号」は「# 51」に設定されています。

1

本機の呼出ベルが鳴っている。  
(応答メッセージ再生中、または音  
声メッセージ録音中)

送信側のファクシミリの **(0)** ~ **(9<sub>WXYZ</sub>)**、**#**、**X** で「リモート起動番号」を入力し、約 5 秒たったら受話器を戻す。

本機がファクス受信を始めます。

### ● リモート受信を設定する（リモート起動番号を設定する / リモート停止番号を設定する）

リモート受信をするには、次の手順でリモート受信を「ON」に設定します。また、この手順で、リモート起動番号やリモート停止番号を設定することができます。

「リモート番号」は一度設定すると、変更するまで有効です。

1

機能 **(2<sub>登録</sub>)** **(4<sub>登録</sub>)** を押す。

リモート受信を設定するディスプレイが表示されます。

2

**○/△** で「ON」を選び、**○** を押す。  
セット

リモート起動番号を設定するディスプレイが表示されます。

**[キヤバンゴウ:#51]**

3

**(0)** ~ **(9<sub>WXYZ</sub>)**、**#**、**X** でリモート  
起動番号を入力し、**○** を押す。  
セット

リモート停止番号を設定するディスプレイ  
が表示されます。

**[キヤバンゴウ:#51]**

4

**(0)** ~ **(9<sub>WXYZ</sub>)**、**#**、**X** でリモート  
停止番号を入力し、**○** を押す。  
セット

**[カツカシタ]** が表示されます。

5

セット停止  
**○** を押す。

設定を終了します。

### ○○お願い

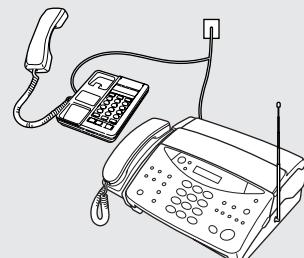
- [リモート受信] は電話機の種類や地域の諸条件により使用できないことがあります。
- 送信側のファクシミリがトーン（PB）信号を送出できないときは、[リモート受信] は使用できません。
- [リモート受信] を行うためにはあらかじめ、送信側に「リモート番号」を知らせておく必要があります。

### MEMO

#### 並列接続について

配線など、やむをえない事情により、本機のほかに並列接続された電話機があるとき、「リモート停止番号」を入力することで、本機がいったん応答し、呼出ベルに切り換わった電話を、並列接続された電話機で受け直すことができます。[リモート停止]

お買い上げ時の「リモート停止番号」は「\* 51」に設定されています。

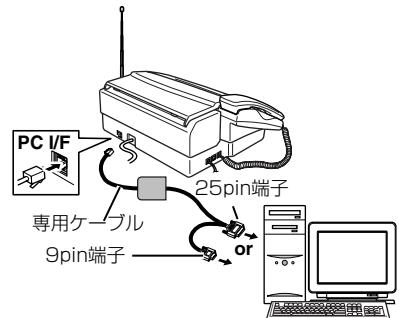


## パソコンでファクスを受信する [PC 接続]

別売りの MFL-100（ブラザーマルチファンクションリンク）をご購入されると、MFL-100 を使って本機とパソコンを接続し、パソコンでファクスを受信することができます。詳しくは MFL-100 の取扱説明書をごらんください。

受信の設定をする前に、MFL-100 の取扱説明書にしたがって専用ケーブルの接続、ソフトのインストール、ファクスなどの必要なセットアップを完了してください。

本機では、次の手順で設定を行います。



1 機能 (2<sub>登録</sub>) (7<sub>登録</sub>) を押す。  
PC 接続を設定するディスプレイが表示されます。

2 ▶/◀ で接続設定を選び、○を押す。

PC デュシン ウケン	: PC 受信優先のとき。
PC デュシン センヨウ	: PC 受信専用のとき。
FAX デュシン センヨウ	: FAX 受信専用のとき。

3 停止 (④) を押す。  
設定を終了します。

### MEMO

- 【着信ベル回数】に「ムセイゲン」を設定しないでください。
- MFL-100 の取扱説明書の中では「機能ボタン」を押した後、7. 登録モードの中で PC 接続機能を設定するとありますが、これは他機種の設定ですので、上記に従って設定してください。

## ファクス情報サービスを利用する

本機では、各種のファクス情報サービスを利用することができます。ファクス情報サービスの受信のしかたには「ガイダンス方式（音声ガイダンスが聞こえる）」のものと「ポーリング方式（「ピー」という音が聞こえる）」のものがありますので、各種サービスに合わせて操作を行ってください。（以下の手順は一般的な操作例です。）

1 記録紙をセットする。

2 受話器をとる。（または ☎ を押す。）

3 情報サービスセンターに電話をかける。

※ 音声ガイダンスが聞こえるときは手順 4 へ。  
「ピー」という音が聞こえるときは手順 5 へ。

4 ガイダンスに合わせて、(0) ~ (9<sub>登録</sub>) を押す。  
ダイヤル回線をお使いのときは、トーン(X<sub>登録</sub>) を押してから (0) ~ (9<sub>登録</sub>) を押します。

5 スタート (①) を押す。  
自動的に受信を開始します。  
受話器を上げているときは受話器を戻します。

### MEMO

- よく利用する情報サービスがあるときには、情報番号をワンタッチボタンに登録しておくと便利です。（手順 3 で、あらかじめ登録しておいたワンタッチボタンを押すと、簡単に情報サービスを利用することができます。）
- ダイヤル回線をお使いの場合で、ワンタッチダイヤルにファクス情報サービスの情報番号を設定するときは、登録する番号の最初に トーン(X<sub>登録</sub>) (トーン) を入力してください。

# こんなことができます

## 留守番機能

外出するときなど、留守モードに設定しておくと、電話やファックスの着信に、本機が自動的に対応します。

また、自宅や職場などで本機をいっしょに使っている人に伝言(ボイスメモ)をのこすことができます。(ボイスメモ機能)



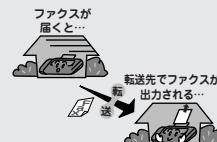
## 電話呼出機能 (☞ 95 ページ)

本機がメッセージを留守録メモリーに記憶すると、ポケットベルや携帯電話を呼び出して知らせることができます。



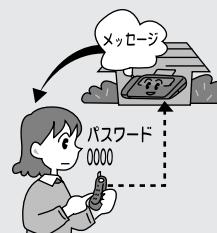
## ファクス転送機能 (☞ 96 ページ)

本機が受信したファクスを外出先のファクシミリに転送することができます。



## リモコンアクセス機能 (☞ 97 ページ)

外出先から本機を操作したり、受信したメッセージを取り出すことができます。



## ■ メッセージの種類と意味

音声メッセージ	留守中に電話をかけてきた人が本機に録音するメッセージのことです。
留守応答メッセージ	留守中に電話をかけてきた人に応答するメッセージのことです。メッセージはあらかじめ登録されていますが、変更することができ、2種類のメッセージを録音しておくことができます。
在宅応答メッセージ	着信ベルから呼出ベルに切り換わったとき、電話をかけてきた人に応答するメッセージのことです。メッセージはあらかじめ登録されていますが、変更することができます。
ボイスメモ	自宅や職場などで本機をいっしょに使っている人に残すメッセージです。

## ■ メッセージを記憶するメモリーについて

本機は、音声メッセージやファクスを記憶するために2種類のメモリーを使っています。これらのメモリーに記憶されたメッセージやファクスは必要に応じて、再生 / プリントします。☞ 92 ページ

留守録メモリー	「留守モード」のとき、受信した音声メッセージ、および電話呼出(☞ 95 ページ)、ファクス転送(☞ 96 ページ)、リモコンアクセスによるファクス取り出し(☞ 99 ページ)を設定しているときのファクスメッセージが記憶されます。
代行受信メモリー	記録紙がセットされていないときに受信したファクスメッセージが記憶されます。[メモリー代行受信] 記憶されたファクスメッセージは、プリントすると自動的に消去されます。

# 留守番機能を使用する前に

留守番機能を使用するときは、あらかじめ以下の設定をしておきます。

## 留守応答メッセージを録音する

「留守モード」に設定しているときの留守応答メッセージ（ルスオウトウ 1、ルスオウトウ 2）を録音します。

- 1 機能 8<sub>TUN</sub> を押す。  
応答メッセージを設定するディスプレイが表示されます。
- 2 で録音したい留守応答メッセージを選び、 を押す。  
2種類の留守応答メッセージを録音することができます。  

ルス オウトウ1
ルス オウトウ2
- 3 を押し、受話器を取ってメッセージを録音する。
  - メッセージは最長 20 秒間録音できます。
  - 録音されているメッセージを再生したいときは を押します。
  - 録音されているメッセージを消去したいときは ① を押します。
- 4 を押すか、受話器を戻す。  
設定を終了します。

### MEMO

- メッセージを録音するときは、受話器を 5 ~ 8 cm 離して録音してください。受話器に息がかからず、きれいな音で録音できます。
- お買い上げ時の「ルスオウトウメッセージ」は、「ただいま留守にしております。電話のかたは発信音のあとにお話しください。ファックスのかたはそのまま送信してください。」と録音されています。

## 音声メッセージの録音時間を設定する

「留守モード」時に録音される音声メッセージの最長録音時間を設定します。ここで設定した最長録音時間は、通話の録音や伝言などのボイスメモのときも適用されます。

お買い上げ時は、「60秒」に設定されています。

- 1 機能 8<sub>TUN</sub> を押す。  
録音時間を設定するディスプレイが表示されます。
- 2 で最長録音時間を選び、 を押す。  
30 秒 / 60 秒 / 120 秒 / 180 秒から選択します。
- 3 を押す。  
設定を終了します。

## 留守録モニターを設定する

録音中の「音声メッセージ」は、本機のスピーカーで聞く（モニターする）ことができます。この「モニターモード」の「ON」／「OFF」を設定します。（この設定は通話中のスピーカー音量には影響しません。）

お買い上げ時は、「ON」に設定されています。

- 1 機能 8<sub>TUN</sub> を押す。  
モニター音を設定するディスプレイが表示されます。
- 2 でモニター音の設定（「ON」または「OFF」）を選び、 を押す。  

ルスロク モニター:ON
ルスロク モニター:OFF

: 録音中の音声をスピーカーで聞くとき。  

ルスロク モニター:OFF
---------------

: 録音中の音声を聞くとき。
- 3 を押す。  
設定を終了します。

# 留守番機能を使用するには

## 留守モードにセットする

外出するとき、またはどうしても電話に出られないときなど、本機を「留守モード」に設定します。「留守モード」に設定すると、電話やファクスの着信に対して本機が自動的に対応を行います。

親機の操作作

1



を押す。

留守応答メッセージが再生され、「留守モード」にセットされます。

※ 留守応答メッセージを録音してあるときは、手順2へ。

2



(メッセージ再生中に) または でメッセージを選ぶ。

- |         |                             |
|---------|-----------------------------|
| オトウ サセイ | : あらかじめ録音されている留守応答メッセージのとき。 |
| オトウ サセ1 | : 自分で録音した留守応答メッセージ1のとき。     |
| オトウ サセ2 | : 自分で録音した留守応答メッセージ2のとき。     |
- メッセージ再生したあと、そのメッセージで「留守モード」にセットされます。
- メッセージ再生中に を押すとそのメッセージで「留守モード」にセットされます。
  - メッセージ再生中に を押すと再生を中止し、前回選択したメッセージで「留守モード」にセットされます。

## ■ 留守モードを解除するには

外出から帰ってきたときなど、「留守モード」を解除するには を押します。

留守モードを解除すると、「在宅応答メッセージ」が再生されます。

新規の音声メッセージ（未再生の音声メッセージ）が録音されていると、留守モードを解除したとき、未再生の音声メッセージを再生します。

## ■ 着信メッセージがあるときは

音声メッセージやボイスメモ、ファクスが「留守録メモリー」・「代行受信メモリー」に記憶されているときは、着信表示ランプ、ディスプレイを見て確認することができます。

着信表示ランプ	音声ランプ	● 音 声	点滅：新規の音声メッセージがあります。 点灯：音声メッセージがあります。 消灯：音声メッセージはありません。
	ファクスランプ	● ファクス	点滅：「留守録メモリー」にファクスマessagingがあります。 消灯：ファクスマessagingはありません。
ディスプレイ		brother  	→  : 「代行受信メモリー」にファクスマessagingがあります。 : 「留守録メモリー」にメッセージがあります。 「代行受信メモリー」と「留守録メモリー」の両方にメッセージが記憶されているときは、「代行受信メモリー」への着信を示すメッセージが優先して表示され、「代行受信メモリー」に記憶されたメッセージをプリントすると、「留守録メモリー」への着信を示すメッセージが表示されます。

## ■ 留守中にメモリーがいっぱいになったときは

「留守録メモリー」がいっぱいになると、自動的に「留守モード」から「在宅モード」に切り換わります。

# メッセージを確認するには

## メッセージ内容を再生・プリントする

留守中に録音された音声メッセージやボイスメモを録音された順に再生し、記憶されたファクスをプリントします。(新規の音声メッセージ(未再生の音声メッセージ)については、留守モードを解除したときにも再生されます。)

1

(再生  
出力) を押す。

音声メッセージ、ボイスメモの順に再生されます。  
再生中、ディスプレイには次のように表示されます。

- 1 秒 [ヨウケン 01/01] : 再生中のメッセージ / 総件数  
↓  
2 秒 [052811△△33] : 相手の電話番号 (ナンバーディスプレイサービス利用時のみ)  
↓  
[10:41 '00 08/17] : 録音日時  
↓  
再生終了  
• ファクスメッセージがないときは再生前の状態に戻ります。  
☞ ファクスメッセージがあるときは手順 2 へ。  
[ファクスプリント?] → [1.スル 2.シケイ]

2

記録紙をセットし、(1') を押す。

プリントを開始します。

### ■ 再生しているメッセージをもう一度再生するには

メッセージの再生中に (X<sub>既聴</sub>) を押します。

### ■ 1つ前のメッセージを再生するには

メッセージとメッセージの間の「ピー」という音が鳴っているときに (X<sub>既聴</sub>) を押します。

### ■ 再生しているメッセージをとばして次のメッセージを再生するには

メッセージの再生中に (#<sub>既聴</sub>) を押します。

### ■ メッセージの再生を中止するには

メッセージの再生中に (停止) を押します。

### ■ 再生しているメッセージを消去するには

メッセージの再生中に (消去) を押し、[コノヨウケンショウキョ?] が表示されたら (1') を押します。再生中のメッセージが消去され、次のメッセージが再生されます。「ピー」という音が鳴った後に (消去) を押すと、再生した次のメッセージを消去します。)

### ■ すべてのメッセージを消去するには

1 消去 (○) を押す。

2 (○)/○ で消去したい内容を選び、セット (○) を押す。

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| オセイ ショウキョ?   | : 音声メッセージを消去するとき。   |
| ファクス ショウキョ?  | : ファクスメッセージを消去するとき。 |
| リョウホウ ショウキョ? | : 両方消去するとき。         |

3 (1') を押す。

消去を完了します。

# 子機から留守番機能を操作するには

## 子機で留守モードに設定する

### ■ 留守モードに設定するには

- 1**  
子機の操作  
充電器から子機を外し、**(外線)** を押す。  
(**(外線)** を消灯させる。)  
充電器から外しているときはそのままです。
- 2**  
**設定(留守)**  
**[0]** を 1 秒以上押す。  
**ルスセッティ** が表示され、「留守モード」が設定されます。

### ■ 留守モードを解除するには

- 1**  
子機の操作  
充電器から子機を外し、**(外線)** を押す。  
(**(外線)** を消灯させる。)  
充電器から外しているときはそのままです。
- 2**  
**(留守)-解除**  
**[#]** を 1 秒以上押す。  
**ルスカイジョ** が表示され、「留守モード」が解除されます。

## 子機で音声メッセージを確認する

子機では、留守中に録音された音声メッセージやボイスメモを確認することができます。

- 1**  
充電器から子機を外し、**(外線)** を押す。  
(**(外線)** を消灯させる。)  
充電器から外しているときはそのままです。
- 2**  
**再生**  
**[2]** (再生) を 1 秒以上押す。  
**ルスサイイ** が表示され、音声メッセージが再生されます。すべてのメッセージを再生すると、自動的に終了します。  
再生中には下記の操作ができます。
  - 再生中のメッセージをもう一度はじめから再生する。 : **[1]** を押す。
  - 1つ前のメッセージを再生する : **[2]** を押す。  
    : 再生前の「ピー」という音が鳴っている間に **[1]** を押す。
  - 次のメッセージを再生する : **[3]** を押す。
  - 再生を中止する : **[5]** を押す。  
    停止 : **[4]** を押す。
  - 再生中のメッセージを消去する : **[6]** を押す。  
    消去 : **[7]** を押す。

### MEMO

- 子機のスピーカーホンでメッセージを再生したいときは、充電器に置いたまま、**[2]** を 1 秒以上押します。
- 音声メッセージが録音されていないときは、拒否音が鳴ります。

# 外出中の便利な使いかた

## 通話や伝言を録音する [ボイスメモ機能]

### ■ 通話を録音する

通話中の内容を録音することができます。録音時間は、[最長録音時間]（☞ 90 ページ）以内です。

- |  |   |
|--|---|
| <p><b>1</b></p> <p>録音<br/>通話中に  を押す。</p> <p>録音を始めます。<br/>● スピーカーhornで通話しているときは、<br/>通話を録音できません。</p> | <p><b>2</b></p> <p>録音を終わるときは  を押す。</p> <p>録音を終了します。録音内容は「留守録メモリー」に記憶され<br/>ます。<br/>● 最長録音時間を超えたときは、自動的に録音を終了します。</p> |
|--|---|

### ■ 伝言を録音する

外出するときなど、本機をいっしょに使っている人に伝言を録音しておくことができます。

- |   |   |
|---|---|
| <p><b>1</b></p> <p>録音<br/> を押し、受話器をとる。</p> <p>録音を始めます。</p> | <p><b>2</b></p> <p>録音を終わるときは受話器を戻す。</p> <p>録音を終了します。録音内容は「留守録メモリー」に記憶され<br/>ます。<br/>● 最長録音時間を超えたときは、自動的に録音を終了します。</p> |
|---|---|



## 外出中にメッセージの着信を知らせる [電話呼出機能]

「留守モード」中に、音声メッセージやファクスメッセージが本機に記憶されたとき、それを外出先の電話に知らせることができます。呼出先の電話番号にポケットベルを設定するときは、メッセージを表示させることができます。（[電話呼出機能] は [ファクス転送機能] と同時に使用することはできません。）電話呼出機能は NTT のボイスワープとは異なります。

お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。

### ■ 留守モード中にメッセージが本機に記憶されると…

「留守モード」中に音声メッセージやファクスメッセージが本機に記憶されると、本機は自動的に「電話呼出番号」に電話をかけます。この電話に出ると「ポッポッ」という音が聞こえ、本機にメッセージが記憶されたことがわかります。「ポッポッ」という音が聞こえている間に「リモコンアクセスコード」と「リモコンアクセスコマンド」を入力すると、本機に記憶された音声メッセージを聞いたり、ファクスメッセージを外出先の別のファクシミリに転送したりすることができます。（☞ 97, 98 ページ）

呼出先がポケットベルで、メッセージを登録しているときはポケットベルにメッセージが表示されます。

### ■ 電話呼出機能を設定する

1 機能  
○ 8<sub>TOF</sub> 5<sub>SC</sub> を押す。

転送を設定するディスプレイが表示されます。

2 ○/○ で「テソクヨヒダシ」を選び、○  
セット  
を押す。

呼出先を入力するディスプレイが表示されます。

3 ○～○<sub>REC'D</sub> で呼出先の電話番号を入力す  
る。

☞ 呼出先が電話のときは手順 6 へ。  
呼出先がポケットベルのときは手順 4 へ。

4 再ダイヤル/ボーズ  
○ を 4 回押す。

メッセージ番号を入力するディスプレイが表示されます。

ダイヤル回線をお使いのかたは、最後に  
（X<sub>REC'D</sub>）を押します。

5 ポケットベルに表示するメッセージを  
入力し、#<sub>REC'D</sub> を 2 回押す。

入力したメッセージ番号が表示されます。

6 セット停止  
○<sub>REC'D</sub> を押す。

設定を終了します。

### MEMO

- 呼出先の電話番号は、外出先から変更できません。
- 手順 4、5 では合計 30 衝まで入力することができます。
- メッセージの登録方法は、ポケットベルの会社によって異なりますので、ポケットベルのお求め先にご相談ください。
- リモコンアクセスコードは、電話呼出時の「ポッポッ」という音に重なると、受け付けることができません。「ポッポッ」と「ポッポッ」の間にリモコンアクセスコードを入力してください。

リモコンアクセスコード

ポッポッ・・・ポッポッ・・・ポッポッ・・・ポッポッ・・・

### ○○お願い

NTT の電話転送サービス「ボイスワープ」をご契約のお客様へ  
自動転送機能でかかってきた電話を転送するとき、転送先に、ファクスを受信できない端末を指定したときは、ファクスが受信できなくなりますので、ご注意ください。

## 外出先にファクスを転送する [ファクス転送機能]

「留守モード」中に、ファクスメッセージを受信したとき、それを外出先のファクシミリなどに転送することができます。([ファクス転送機能]は[電話呼出機能]と同時に使用することはできません。)お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。

### ■ ファクス転送機能を設定する

- 1 機能 を押す。  
転送を設定するディスプレイが表示されます。
- 2 で「ファクス 転送」を選び、  
 を押す。  
転送先を入力するディスプレイが表示されます。
- 3 ~ で転送先の番号を入力する。
- 4 セット停止 を押す。  
設定を終了します。

### MEMO

- 転送先の電話番号は、外出先から変更することができます。
- 手順3では合計20桁まで入力することができます。

### ■ ファクス転送を解除するには

「ファクス転送機能を設定する」の手順2で「OFF」を選び、 を押します。

# 外出先から本機を操作する [リモコンアクセス機能]

本機は、トーン (PB) 信号 (ピポパ) を使って外出先から操作することができます。これを「リモコンアクセス」といいます。リモコンアクセス時は、「リモコンアクセスコマンド」と呼ばれる番号で本機の操作を行います。操作できる内容については、「リモコンアクセスコマンド一覧」を参照してください。(☞ 98 ページ)

## MEMO

外出先からファクスメッセージを取り出したいときは、「ファクス:ON」(ファクスメッセージをメモリー受信する)に設定する必要があります。(☞ 99 ページ)

### ■ リモコンアクセスによって本機を操作するには

次のような手順で「リモコンアクセス」を行い、本機を操作します。操作は、プッシュ回線に接続されている電話機やファクシミリ、またはトーン信号が送出できる電話機やファクシミリで行います。(トーン信号の送出のしかたは、使用する機器の取扱説明書に従ってください。)

1

#### 外出先から本機に電話をかける。

本機が応答し、約 4 秒間無音状態になります。

#### 「無音状態」

- 応答メッセージが流れる前に約 4 秒間無音状態になります。「在宅モード」で着信ベル回数を「八セイソ」に設定しているときは着信ベルが鳴り終わったあと(約 100 秒後)、約 30 秒間無音状態になります。

2

#### 無音状態中に「リモコンアクセスコード」を入力する。

「ポー」という少し長い応答音が聞こえます。(応答音によって本機の状態を示します。)

無音：メッセージは記憶されていません。

「ポー」：ファクスメッセージがあります。

「ポーポー」：音声メッセージがあります。

「ポーポーポー」：ファクスメッセージと音声メッセージがあります。

応答音が聞こえないときはもう一度、「リモコンアクセスコード」を入力してください。

#### 「リモコンアクセスコード」

本機をリモコンアクセスによって操作できる状態にするための番号です。  
☞ 99 ページ

3

#### 「ピピッ…ピピッ…」という音が聞こえたら、「リモコンアクセスコマンド」(☞ 98 ページ)を入力する。

リモコンアクセスコマンドは、「ピピッ」という音に重なると、受け付けることができません。「ピピッ」と「ピピッ」の間にリモコンアクセスコードを入力してください。

「ピピピッ」という音が聞こえたときはもう一度、「リモコンアクセスコマンド」を入力してください。

続けて次の操作をするときは、「ピピッ」と「ピピッ」間に次の「リモコンアクセスコマンド」を入力します。

リモコンアクセスコマンド

ピピッ…ピピッ…ピピッ…ピピッ…

4

#### リモコンアクセスを終了するときは、9 0 を押す。

リモコンアクセスを終了します。

「ピピッ」という音が聞こえている間にコマンドを入力せず、30秒以上経過すると、自動的にリモコンアクセスを終了します。

## 外出中の便利な使いかた

### ■ リモコンアクセスコマンド一覧

リモコンアクセスでは次の操作をすることができます。

	操作内容	コマンド
音 声 メ ッ セ ン ジ	<p>留守録メモリーで受信した音声メッセージを再生します。        • メッセージを最初から再生するには ① を押します。        (メッセージとメッセージの間に ① を押すと前のメッセージを再生します。)        • 次のメッセージを再生するには ② を押します。(再生中のメッセージをとばします。)        • 再生を中止するには ③ を押します。</p> <p>ポイスメモを録音します。        • 録音を中止するには ④ を押します。</p>	91
応 答 メ ッ セ ン ジ	<p>留守録メモリーで受信した音声メッセージをすべて消去します。        ※このコードは一度にすべてのメッセージを消去します。1件ずつの消去はできません。        ※「ピピピッ」という音が聞こえたら、一度も再生されていないメッセージが残っているか、消去する音声メッセージがないことを表します。</p>	93
設 定	<p>留守応答メッセージ1を 再生し、留守応答メッセージとして設定します。・中止するには ⑤ を押します。        録音します。・中止するには ⑥ を押します。</p> <p>留守応答メッセージ2を 再生し、留守応答メッセージとして設定します。・中止するには ⑦ を押します。        録音します。・中止するには ⑧ を押します。</p> <p>在宅応答メッセージを 再生し、在宅応答メッセージとして設定します。・中止するには ⑨ を押します。        録音します。・中止するには ⑩ を押します。</p>	9410 9420 9411 9421 9412 9422
メ モ リ ー 操 作	<p>[電話呼出機能]、[ファクス転送機能]の設定をOFFにします。        [ファクス転送機能]を設定します。(番号未登録時は設定できません。)        [電話呼出機能]を設定します。(番号未登録時は設定できません。)</p> <p>ファクス転送番号の登録や変更をします。        ⑪(⑫⑬⑭)(コマンド)を押した後、⑮～⑯で転送番号を押し、⑰を2回押します。        ※転送番号を登録すると、自動的にファクス転送の設定がONになります。</p>	951 952 953 954
モ ード 変 更	<p>メモリー使用状況リストを取り出します。        メモリーが記憶したファクスマッセージを取り出します。(※「操作例」参照)        メモリーが記憶したファクスマッセージを消去します。        ファクスマッセージを記憶しているかを確認します。        • 記憶しているときは「ピー」という音が、記憶していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。        音声メッセージを記憶しているかを確認します。        • 記憶しているときは「ピー」という音が、記憶していないときは「ピピピッ」という音が聞こえます。</p> <p>受信モードを「留守モード」に変更します。        受信モードを「在宅モード」に変更します。</p>	961 962 963 971 972 981 982
	リモコンアクセスを終了します。	90

## ■ リモコンアクセスコードを設定する

「リモコンアクセスコード」と、ファクスメッセージをメモリー受信するかどうかを設定します。「リモコンアクセスコード」は **(0)** ~ **(9<sub>XYZ</sub>)**、**(\*)**、**(#<sub>記号</sub>)** を使った4桁の番号で構成し4桁目には必ず **(\*)** を入力します。お買い上げ時は、リモコンアクセスコードは「159 \*」、ファクスメッセージのメモリー受信は「OFF」に設定されています。

ファクスメッセージのメモリー受信を「ON」に設定すると、ファクスメッセージを受信したとき、プリントするときにメモリーに記憶します。

### ! 注意

- 「リモコンアクセスコード」は「リモート番号」(☞ 87 ページ) と違う番号を設定してください。
- ファクスのメモリー受信が「OFF」のときは、リモコンアクセスによるファクスの転送はできません。

1 機能  
○ **(8<sub>TUE</sub>)** **(4<sub>ST</sub>)** を押す。

リモコン設定するディスプレイが表示されます。

2 **(0)** ~ **(9<sub>XYZ</sub>)**、**(\*)**、**(#<sub>記号</sub>)** でリモコンアクセスコードを入力し、**○** を押す。

メモリー受信を設定するディスプレイが表示されます。

3 **○/○** でファクスのメモリー受信の設定を選べ、**○** を押す。

**ファクス:ON** : ファクスメッセージをメモリー受信する。  
**ファクス:OFF** : ファクスメッセージをメモリー受信しない。

4 停止  
○ を押す。

設定を終了します。

## ■ リモコンアクセスによる操作例 1：外出先からファクスメッセージを取り出す

外出先から、本機に記憶されたファクスメッセージを取り出すには、次のような操作を行います。

操作は、プッシュ回線に接続されているファクシミリ、またはトーン(PB)信号(ピポパ)が送出できるファクシミリで行います。(トーン信号の送出のしかたは、使用する機器の取扱説明書に従ってください。) また、「リモコンアクセスコード」の設定で「ファクス：ON」に設定しておく必要があります。

1 外出先から本機に電話をかける。  
本機の着信音が鳴ります。

2 着信音が鳴り終わったら **(1<sub>7</sub>)** **(5<sub>JU</sub>)** **(9<sub>XYZ</sub>)** **(\*)** (リモコンアクセスコード) を押す。  
ファクスメッセージがあるときは「ポー、ピピッ…ピピッ…」という音が聞こえます。

3 **(9<sub>XYZ</sub>)** **(6<sub>H</sub>MNO)** **(2<sub>ABC</sub>)** (リモコンアクセスコマンド) を押す。

コマンドが受け付けられると「ピー」という音が鳴ります。

4 続けて今使用しているファクシミリのファクス番号を **(0)** ~ **(9<sub>XYZ</sub>)** で入力し、**(#<sub>記号</sub>)** を2回押す。

コマンドが受け付けられると「ピー」という音が1回鳴り、電話が切れます。

5 受話器を戻す。

本機から「ファクスメッセージ」が転送されます。

### ■ リモコンアクセスによる操作例 2：メモリー使用状況リストを取り出す

外出先からメモリー使用状況リスト（☞ 103 ページ）を取り出して、「音声メッセージ」、「ファクスメッセージ」の総数や使用可能なメモリーの残量を確認することができます。

1

外出先から本機に電話をかける。

本機の着信音が鳴ります。

2

着信音が鳴り終わったら 1 5 9 -  
(リモコンアクセスコード) を押す。

ファクスメッセージがあるときは「ポー、ピピツ…  
ピピツ…」という音が聞こえます。

3

9 6 1 (リモコンアクセスコマンド) を押す。

コマンドが受け付けられると「ピー」という音が鳴ります。

4

続けて今使用しているファクシミリのファクス番号  
を 0 ~ 9 で入力し、= を 2 回押す。

コマンドが受け付けられると「ピー」という音が 1 回鳴り、  
電話が切れます。

5

受話器を戻す。

本機から「メモリー使用状況リスト」が転送されます。



# プリントするには



## ファクス送信レポートをプリントする [送信レポート]

ファクス送信後に送信レポートをプリントすることができます。  
お買い上げ時は、プリントしない（「OFF」）に設定されています。

- 1** 機能 を押す。  
送信レポートを設定するディスプレイが表示されます。
- 2** で「ON」を選び、 を押す。  
ウケツマシタ が表示されます。
- 3** を押す。  
設定を終了します。

### ■ 送信レポートをプリントしないときは

手順2で「OFF」を選択します。



## 通信管理レポートをプリントする [通信管理レポート]

最新の送信・受信結果（合計30通信分）をプリントすることができます。この通信管理レポートはお好みの間隔で自動的に出力することができます。また、必要なときにはすぐプリントすることもできます。  
お買い上げ時は、プリントしない（「OFF」）に設定されています。

- 1** 機能 を押す。  
通信管理レポートを設定するディスプレイが表示されます。
- 2** で「シユツリヨク カンカク」を選び、 を押す。  
すぐにプリントするときは、「プリントリスト」を選び、 を押します。
- 3** で出力間隔を選び、 を押す。  
出力間隔は次のの中から設定します。  
プリントしない / 6時間ごと / 12時間ごと / 24時間ごと / 2日ごと / 4日ごと / 7日ごと  
※ 「7日ごと」を選択したときは手順4へ。  
それ以外を選択したときは手順5へ。
- 4** で曜日を選び、 を押す。
- 5** ~ で開始時間を入力し、 を押す。  
ウケツマシタ が表示されます。
- 6** を押す。  
設定を終了します。

### ■ 通信管理レポートをプリントしないときは

手順3で レポートシユツリヨク シヤイ を選び、 を押します。



## ダイヤル登録した電話番号をプリントする [ダイヤルリスト]

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録された内容をプリントすることができます。

- 1** 機能 を押す。  
ダイヤルリストをプリントするディスプレイが表示されます。
- 2** 記録紙をセットし、 を押す。  
プリントを始めます。
- 3** プリント終了後、 を押す。



## ダイヤルリストを50音順にプリントする [電話帳リスト]

ワンタッチダイヤル・短縮ダイヤル、グループダイヤルに登録された内容を50音順にプリントすることができます。

- 1** 機能 を押す。  
電話帳リストをプリントするディスプレイが表示されます。
- 2** 記録紙をセットし、 を押す。  
プリントを始めます。
- 3** プリント終了後、 を押す。  
停止



相手先名称の登録されていない電話番号は、「アイテサキメイショウ」が空欄になり、リストの最後に印字されます。



## 設定状況をプリントする [設定内容リスト]

各種機能に登録・設定された内容をプリントすることができます。

- 1** 機能 を押す。  
設定内容リストをプリントするディスプレイが表示されます。
- 2** 記録紙をセットし、 を押す。  
プリントを始めます。
- 3** プリント終了後、 を押す。  
停止



## メモリー使用状況をプリントする [メモリー使用状況リスト]

留守録メモリーにメモリーされた「音声メッセージ」、「ボイスメモ」、「ファクスメッセージ」の総数や、タイマー送信やポーリング送信で使用中のメモリー量、使用可能なメモリーの残量をプリントすることができます。

- 1** 機能 を押す。  
メモリー使用状況をプリントするディスプレイが表示されます。
- 2** 記録紙をセットし、 を押す。  
プリントを始めます。
- 3** プリント終了後、 を押す。  
停止



## 機能の案内をプリントする [機能案内リスト]

本機の機能の使いかた、文字入力表をプリントすることができます。

- 1** 記録紙をセットし、 〔機能案内〕 を同時に押す。  
「機能案内リスト」がプリントされます。

# お手入れのしかた

## 本体の清掃をする

本体は乾いた布で軽く拭きます。本体を拭くときにベンジン・シンナーなどの有機溶剤、水、アルコールは絶対に使用しないでください。また、布にアルコールを浸して拭くのもおやめください。操作パネルにひびがはいる恐れがあります。

## 原稿読取部の清掃をする

読取部が汚れていると、その汚れがファクス送信時やコピー時の画質に反映されます。きれいな画質を保つために、こまめに読取部の清掃を行ってください。

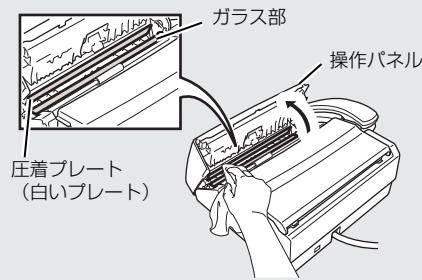
### 1 操作パネルを開く。

操作パネルが固定するまで開きます。

### 2 圧着プレートとガラス部を、アルコールなどを浸した柔らかい布で拭く。

無水エタノール、OAクリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD用レンズクリーナーなどがご利用いただけます。

### 3 操作パネルを閉じる。



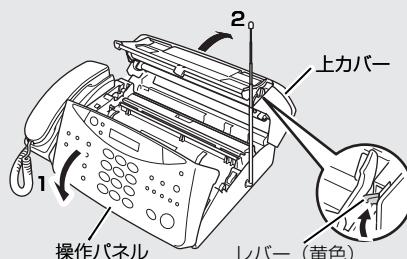
## 記録部の清掃をする

記録部が汚れていると、ファクス受信時やコピー時のプリント出力に縦じまが入ることがあります。きれいな画質を保つために、こまめに記録部の清掃を行ってください。

### 1 操作パネル、上カバーを開ける。

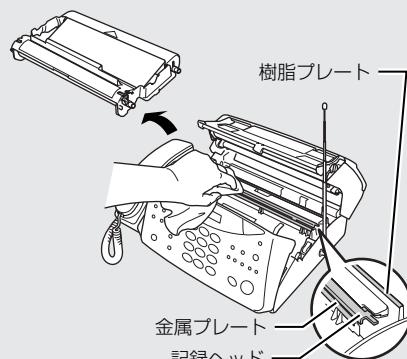
上カバーは、左右の黄色のレバーを右図の矢印の方向へ押し上げて開けます。

### 2 リボンカートリッジを取り外す。



### 3 記録ヘッドと金属プレートまたは樹脂プレートを、アルコールなどを浸した柔らかい布で拭く。

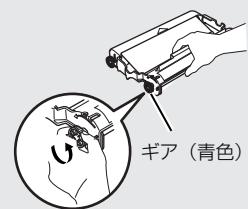
無水エタノール、OAクリーナー、メガネクリーナー、カセット用ヘッドクリーナー、CD用レンズクリーナーなどがご利用いただけます。



4

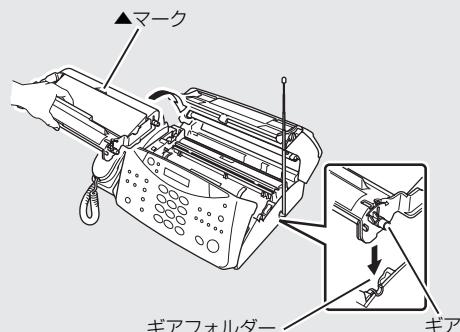
リボンのたるみを取る。

青色のギアを矢印方向にゆっくり回してたるみを取ります。



5

リボンカートリッジを本体にセットする。



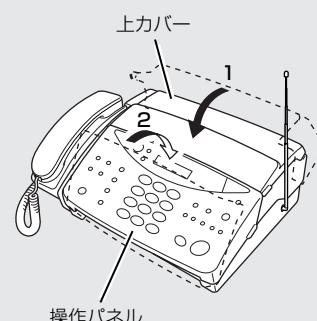
6

上カバーを「カチッ」と音がするまで確実に閉め、操作パネルを閉める。

確実に閉まるとディスプレイに  
リボンカウントマシタ? → [1.14 2.イエ] が表示されます。

7

(2) を押す。



# 紙がつまつたら

原稿や記録紙がつまつたときはブザーが鳴り、ディスプレイに下記のメッセージが表示されます。

- |         |
|---------|
| ケンコウカケン |
|---------|

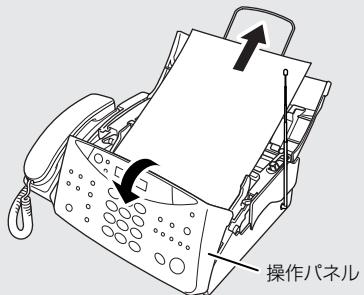
 : 原稿がつまつたとき
- |        |
|--------|
| 知クシカニン |
|--------|

 : 記録紙がつまつたとき

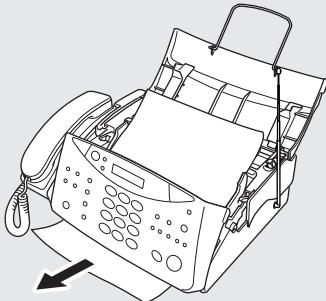
## 原稿がつまつたときは

1 繰り込まれていない原稿を取る。

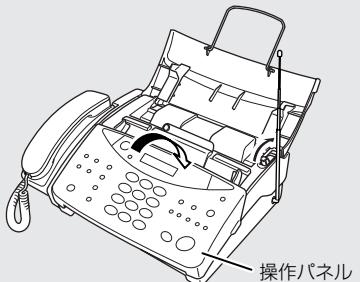
2 操作パネルを開く。



3 つまつた原稿を手前に引きながら取り除く。



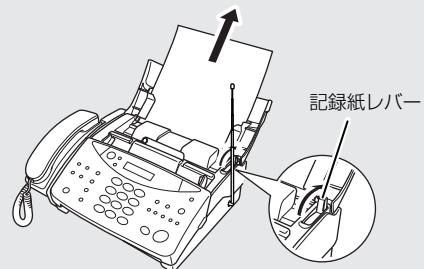
4 操作パネルを閉じる。



## 記録紙がつまつたときは

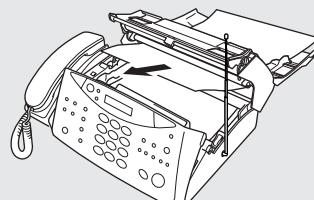
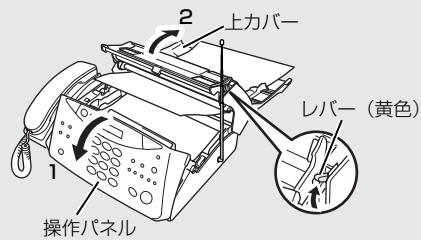
### ■ 記録紙が繰り込まれていないとき

- 1 青色の記録紙レバーを“開”的方向に倒す。
- 2 つまつた記録紙を取り除く。



### ■ 記録紙が繰り込まれているとき

- 1 操作パネルと上カバーを開く。  
上カバーは、左右の黄色のレバーを右図の矢印の方向に押し上げて開きます。
- 2 つまつた記録紙を手前に引きながら取り除く。
- 3 上カバーを「カチッ」と音がするまで確実に閉め、操作パネルを閉める。



# リボン切れランプが点滅したら

リボン残量が10%以下になるとリボン切れランプが点滅し、ディスプレイに[リボンカウントカウタ]と表示され、リボンが残り少なくなったことをお知らせします。お早めに新しいリボンをご用意ください。(⑩を押すとディスプレイ表示を消すことができます。)

リボンが完全になくなるとリボン切れランプが点灯し、ディスプレイに[リボンカウントカウタ]と表示されます。すみやかにリボンを交換してください。

リボンの交換方法は、リボンカートリッジの使用済みのリボンを新しいリボンに交換する方法と、使用済みのリボンカートリッジごと新しいリボンカートリッジに交換する方法があります。

また、リボンやリボンカートリッジを交換したら、必ずリボンカウンタのリセットを行ってください。リセットを行わないと誤った残量表示や警告を行うことがあります。

リボン切れランプ



点滅



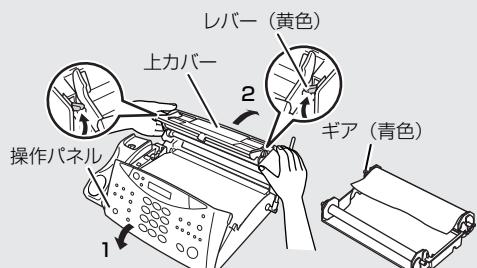
点灯

## リボンを交換する

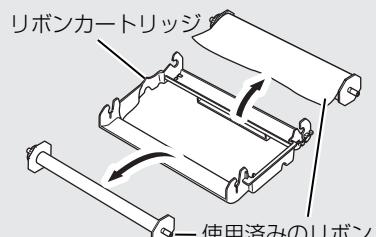
本機の最良の印字品質と、製品の性能を維持するために、当社指定のリボンのみをご使用ください。指定以外のリボンを使用すると、保証の対象になりません。

### 1 操作パネルと上カバーを開け、リボンカートリッジを取り出す。

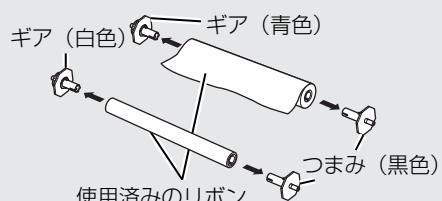
青色のギアの位置に注意して、右図のようにリボンカートリッジを置きます。



### 2 使用済みのリボンをリボンカートリッジから取り外す。

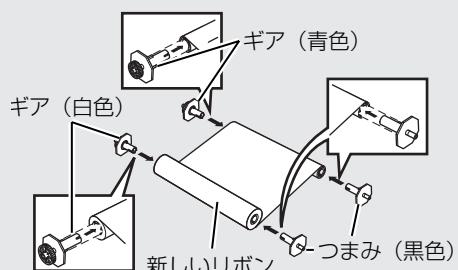


### 3 使用済みのリボンからギアとつまみを抜く。



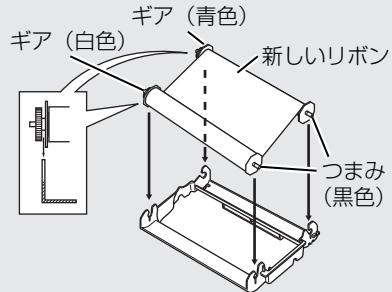
### 4 新しいリボンにギアとつまみを取り付ける。

- ギアとつまみの取り付け位置と、リボンの巻き方向に注意してください。



## 5 新しいリボンをリボンカートリッジにセットする。

ギアやつまみが正しい位置にあるか確認します。



## 6 リボンのたるみを取る。

リボンカートリッジの黒色のつまみを、矢印の方向に回してたるみを取ります。

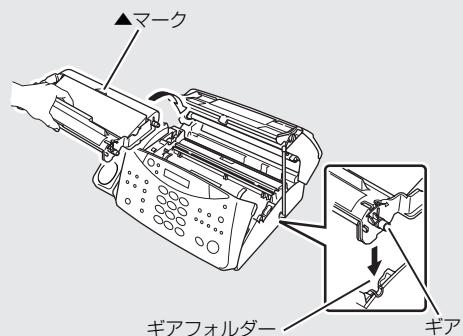


## 7 リボンカートリッジをセットする。

- リボン交換後、上カバーを開めるとリボンカウンタのリセットを設定するディスプレイが表示されます。**[リボンカウントマジック]**  $\Rightarrow$  **1.M1 2.イイ**

### (リボンカウンタをリセットする。)

新しいリボンやリボンカセットをセットしたときは、必ず次の手順でリボンカウンタのリセットを行ってください。



## 8 ①を押す。

**[1.カウト 2.キヤセル]** が表示されます。

注) 1分以内にボタンが押されないときは、カウンタはリセットされません。

## 9 ①を押す。

**[リボンカウント100%]** が表示され、設定を終了します。

注) 1分以内にボタンが押されないときは、カウンタはリセットされません。

## MEMO

- カバーを開閉するたびに**[リボンカウントマジック]**  $\Rightarrow$  **1.M1 2.イイ** がディスプレイに表示されますが、リボンの交換を行わなかったときは**②**を押してください。交換していないのに**①**を押すと誤った残量表示や警告を行うことがあります。
- リボンがなくなても約20枚分まで本体のメモリーにファクスメッセージを記憶できます。

## ○○お願い

- 新しいリボンに交換後、リセットを行わなかったときや忘れたときはリボン切れランプが点滅になっています。操作パネルを開けて上カバーの開閉を行い、リボンカウンタのリセットを行ってください。
- リボンまたはリボンカートリッジは当社指定品をお使いください。**☞ 126 ページ**
- プリント中に電源が切れたり記録紙がつまつたとき、またリボン交換直後にリボンカウンタのリセットを行わなかったときは、リボン切れランプに誤差が生じます。リボン切れランプは目安としてご確認ください。

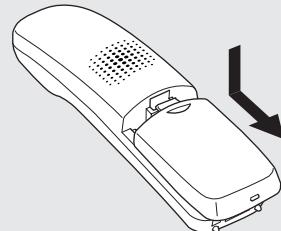
# 子機のバッテリーを交換するには

子機のバッテリーは消耗品ですので、充電しても使える時間が短くなったら交換してください。使用のしかたにもよりますが、約1年くらいが交換時期の目安です。

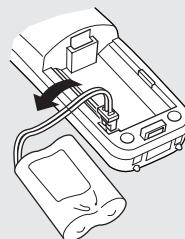
交換バッテリー（型名：BCL-BT）は本機または子機をお買い上げの販売店でお買い求めください。

## 1 バッテリーカバーを開ける。

バッテリーカバーを手のひらで押しながら、矢印の方  
向へスライドさせます。



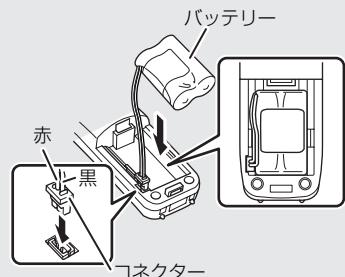
## 2 バッテリーを取り出し、コネクターを上へ引き抜く。



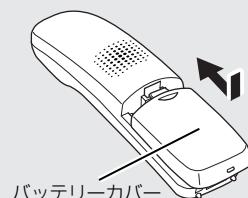
## 3 新しいバッテリーのコネクターを差し込む。

赤いコードを上側にして差し込みます。

## 4 バッテリーを子機に収める。

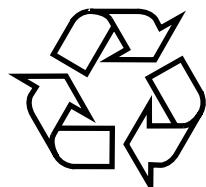


## 5 バッテリーカバーを閉める。



## ○お願い

- バッテリーを交換したら15時間以上充電してください。
  - バッテリーのリサイクルにご協力ください。
- バッテリーにはニカド電池を使用しています。使用済みのニカド電池は、ニカド電池のリサイクル協力店にお持ちください。



# エラーメッセージが表示されたら

本機や電話回線に異常があるときは、下記のようなエラーメッセージがディスプレイに表示されます。

## ●親機

ディスプレイ表示	原因	処置
ツウシニ エラー	回線状態が悪い。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
	相手先がポーリング送信待機状態になっていないときに、ポーリング受信の操作を行った。	相手先に確認して、もう一度操作してください。
カバー オープン	上カバーが完全に閉まっていない。	上カバーを完全に閉めてください。
アイテキ カクニン	通信中に相手機から回線が遮断された。	相手先に電話して原因を解除してもらい、再度送信してください。
	機密ポーリング受信時の入力したパスワードがちがう。	相手先にパスワードを確認し、再度、原稿をセットしてください。
ケンコウ カクニン	下記の原因で原稿がつまっている。 <ul style="list-style-type: none"><li>原稿が正しく挿入されていない</li><li>原稿が正しく送信されていない</li><li>原稿サイズが長い</li><li>原稿受けが正しくセットされていない</li></ul>	操作パネルを開いて原稿を取り除きます。操作パネルを閉め、原稿の幅に原稿ガイドを合わせて正しくセットし、再度コピー、または送信し直してください。 ☞ 3 ページ
ソウチカクニン XX	ファクシミリ本体に何らかの異常が発生した。	「フリーダイヤル 0120-161170」へ連絡してください。
ハナシチュウ/オトウナシ	相手が出ない。	ファクシミリが接続されていない番号にかけたかもしれません。相手先の電話番号を確認し、再度かけ直してください。
	通信中（話し中）。	少し時間が経ってから、もう一度送信してください。
キロシ カクニン	記録紙がなくなった。	記録紙を補給してください。
	記録紙が正しくセットされていない。	記録紙を正しくセットし直してください。
	記録紙が記録部につまっている。	つまった記録紙を取り除き、記録紙を正しくセットし直してください。 ☞ 4 ページ
キロシ レバー カクニン	青色の記録紙レバーが手前に倒されていない。	記録紙レバーを手前に倒してください。 ☞ 58、64 ページ
キロシ エラー	連続使用により記録部分が熱くなっている。	電源プラグを抜き、しばらくしてから操作し直してください。
リボン コカカン	リボンがなくなった。	新しいリボンと交換してください。 ☞ 5 ページ
ハシゴ カクニン	ダイヤルインサービスの登録番号が間違っている。	番号をNTTに確認して、もう一度登録し直してください。 ☞ 29 ページ
	ダイヤルインサービスに加入していない、またはサービスが開始されていないのにダイヤルインモードの設定がONになっています。	いったんダイヤルインモードの設定をOFFにしてください。サービスが開始されたら、本機のダイヤルインモードの設定をONにしてください。 ☞ 29 ページ
メモリー ケンカイ	空きメモリーが不足している。	72 ページを参照してください。また、92 ページの手順に従って、メモリーに記憶されているメッセージを消去してください。

## ●子機

ディスプレイ表示	原因	処置
◆デンチノコリナシ◆	バッテリーがなくなった。	充電器に置いて充電してください。通話中にこのメッセージが出たときは、20秒以内に内線（保留）を押して充電器に置き、親機の受話器を取って通話を続けてください。
◆ツウカケンガ イ◆	通話中のコードレス子機の使用圏内（見通し距離で親機より約100m以内）を越えた。	15秒以内に使用圏内に戻ってください。

# 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の項目をチェックしてください。それでも異常があるときは、「フリーダイヤル 0120-161170」へご連絡ください。

## ●親機／子機

こんなときは	ここをチェック	対処のしかた
受話器から「ツー」という音が聞こえているが、ダイヤルできない	回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。 ☞ 9 ページ
スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい	スピーカー音量の設定が小さくないですか。	スピーカー音量を大きくしてください。 ☞ 22 ページ
電話のベルの音が小さい	ベル音量の設定が小さくないですか。	ベル音量を大きくしてください。 ☞ 22 ページ
電話機からの相手の声が聞き取りにくい	受話音量の設定が小さくないですか。	受話音量を大きくしてください。 ☞ 22 ページ
スピーカーホン通話がうまくできない	まわりの音がうるさくないですか。	☎ を押して受話器で話してください。 (子機の場合は ☎ を押して子機を持って話してください。)
ハンズフリー着信ができない (返事をしてもつながらない)	返事が短くないですか。	長く返事をしてください。 ☞ 39 ページ
	返事が小さくないですか。	大きな声で返事をしてください。
	返事の声が高すぎませんか。	感度設定を「十」の方に設定してください。 ☞ 40 ページ
電話がかかってきても応答しない	着信ベル回数、呼出ベル回数は正しく設定されていますか。	受信モードに合わせて着信ベル回数、呼出ベル回数を設定します。
	本機に電話をかけてみると「あなたと通信できる機器が接続されていません」とメッセージが流れる。	ターミナルアダプタの設定に誤りがあります。設定を確認してください。
受話器からダイヤルトーンが聞こえない	☎ ボタンを押してください。	ターミナルアダプタの設定に誤りがあります。設定を確認してください。
	電話機コードが正しく接続されていますか。	回線種別を正しく設定してください。 ☞ 9 ページ
	回線種別が正しく設定されていますか。	キャッチホンディスプレイの設定を「アリ」にします。 ☞ 29 ページ
キャッチホンディスプレイ	キャッチホンディスプレイの設定が「ナシ」に設定されていませんか。	

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
子機	動作しない 呼出ベルがならない	バッテリーのコネクタが正しく接続されていますか。	コネクタを正しく接続してください。 ☞ 14 ページ
		バッテリーの残量がなくなっていますか。	バッテリーの充電をしてください。 ☞ 15 ページ
		回線種別が正しく設定されていますか。	回線種別を正しく設定してください。 ☞ 9 ページ
		呼出ベル音量が「OFF」になっていますか。	呼出ベル音量を「OFF」以外に設定してください。 ☞ 22 ページ
		親機から離れすぎていませんか。	呼出ベルが鳴る範囲まで、(子機を) 親機に近づけてください。
		近くに雑音が発生する家電製品がありますか。	家電製品などから離してください。
		親機で機能の設定・登録をしていませんか。	設定が終わるのを待ってください。
		親機でコピーをしていませんか。	コピーが終わるのを待ってください。
		親機のアンテナと子機用 AC アダプターのコードが近くにありませんか。	親機のアンテナから子機用ACアダプターのコードを遠ざけてください。 (アンテナに巻き付けたり、引っかけたりしないでください。)
	ハンズフリー着信設定時、設定が終了しても「レンシュウ チュウ」が表示されている	バッテリーコネクタを差し直してください。	
電話	連続再ダイヤルができない	まわりがうるさすぎませんか。	
		もう一度連続再ダイヤルをし直してください。 ☞ 37 ページ	
	雑音が入りやすい	普通の再ダイヤルでかけ直してください。 ☞ 36 ページ	
		親機のアンテナをのばし、向きを前後／右側に変えてみてください。	
		親機の置き場所や向きを変えてみてください。	
ISDN回線	充電してもバッテリー警告音(ピッピッピッ...)がなり、ディスプレイに「◆デンチノコリナシ◆」と表示される	親機のアンテナから子機用 AC アダプターのコードを遠ざけてください。 (アンテナに巻き付けたり、引っかけたりしないでください。)	
		バッテリーが消耗しています。	
		充電してください。 ☞ 15 ページ	
	充電器に置いても充電ランプが点灯しない	充電器の子機用 AC アダプターは確実に差し込まれていますか。	
		充電端子が汚れていませんか。充電端子をきれいに拭いてください。	
	子機が温かい	充電中や充電直後はバッテリーが温かになります。故障ではありません。	
	電話がかけられない	回線種別が「PB」に設定されていない。	
		本機が接続されているアナログポートを「使用しない」に設定していませんか。	
	電話を受けてもベルがならない	何も接続していない空アナログポートは「使用しない」に設定してください。	
		契約回線番号、ダイヤルイン番号、または i・ナンバーは正しく入力されているか確認してください。	
	本機が接続されているアナログポートに1~2回おきにしか着信しない	「着信優先」または「応答平均化」を使用する設定の場合、1~2回おきにしか着信できません。	

## 故障かな？と思ったら

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
電話	ISDN回線	本機に電話をかけると、「あなたと通信できる機器は接続されていないか、故障しています」というメッセージが流れつながらない	本機を接続しているアナログポートの設定内容を確認します。 契約回線番号のアナログポートに本機を接続している場合、以下のように設定してください。 • サブアドレスなし着信：「着信する」 • HLC 設定：「HLC 設定しない」 • 識別着信：「識別着信しない」
			ダイヤルイン番号、または i・ナンバーのアナログポートに本機を接続している場合、以下のように設定してください。 • ダイヤルイン番号、または i・ナンバーを登録する • サブアドレスなし着信：「着信する」 • HLC 設定：「HLC 設定しない」 • 識別着信：「識別着信しない」
			ターミナルアダプタの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認し、異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。
	特定の相手とファクス通信できない	契約回線番号のアナログポートに電話がかかってきたのに、ダイヤルイン番号、または i・ナンバーのアナログポートに接続した機器の呼出ベルも鳴る	ダイヤルイン番号、または i・ナンバーのアナログポートの設定を確認します。 グローバル着信は「しない」に設定してください。
		特定の相手とファクス通信できない	「フリーダイヤル 0120-161170」へご連絡ください。
	スタートボタンを押しても送信／受信しない	ファクス送受信ができない（電話も使えない）	ターミナルアダプタの自己診断モードで ISDN 回線の状況を確認し、異常があった場合は NTT 故障係（113）へご連絡ください。回線に異常がなければ、「フリーダイヤル 0120-161170」へご連絡ください。
		スタートボタンを押しても送信／受信しない	原稿がセットされているのに受信しようとしていませんか。 原稿を外して受信します。 ☞ 82 ページ
			原稿が正しくセットされていないのに送信しようとしていませんか。 原稿を正しくセットしてください。
		スタート  を押す前に、受話器を戻していましたか。	スタート  を押してから受話器を戻します。 ☞ 66, 82 ページ
		回線種別の設定は正しいですか。	回線種別を正しく設定してください。 ☞ 9 ページ
ファクス／コピー	送信後、相手から画像が乱れていると連絡があった	並列接続された別の電話機の受話器を上げていませんか。	並列接続された別の電話機が通話中のときは、ファクスは使用できません。通話が終わってから、送受信を行います。
		きれいにコピーがとれますか。	コピーに異常があるときは読み取部の清掃をしてください。 ☞ 1 ページ
		相手先に異常がありませんか。	相手先に確認します。
		画質モードは適切ですか。	画質を調整します。 ☞ 65 ページ
		キャッチホンが途中で入っていますか。	キャッチホンが途中で入ると、画像が乱れことがあります。 ☞ 47 ページ
	リモート受信できない	リモート起動の設定は「ON」になっていますか。	リモート起動を「ON」に設定します。 ☞ 87 ページ
		リモート起動番号を正しくダイヤルしましたか。	リモート起動番号を正しくダイヤルします。 ☞ 87 ページ
		操作パネルは確実に閉まっていますか。	操作パネルを確実に閉めます。
		記録紙は正しくセットされていますか。	記録紙を正しくセットします。 ☞ 64 ページ
		メモリーがいっぱいになっていますか（メモリー使用状況リスト☞ 103 ページ）	本機のメモリーを消去してからリモート受信を行います。 ☞ 85, 92 ページ

こんなときは		ここをチェック	対処のしかた
ファクス／コピー	受信／コピーしても、記録紙が出てこない	記録紙は正しくセットされていますか。 記録紙がなくなっていますか。 上カバーは確実に閉まっていますか。 記録紙レバーを手前に倒していますか。 記録紙がつまっていますか。	記録紙、または上カバーを正しくセットします。 ☞ 58、64 ページ
	受信しても、記録紙が白紙のまま出てくる	相手側と連絡を取り、原稿を裏返しに送信していないかを確認してください。	つまた記録紙を取り除きます。 ☞ 4 ページ
		コピーは正しくとれますか。	コピーが正しくとれるか確認してください。 ☞ 60 ページ
		自動縮小受信が「OFF」になっていませんか。	自動縮小受信を「ON」に設定します。 ☞ 84 ページ
	きれいに受信／コピーできない	電話回線の接続が悪いため起こります。 読取部が汚れていますか。 相手側の原稿に異常はありませんか（うすい、かすれなど）。	相手にもう一度、送信し直してもらってきてください。 読取部を清掃してください。 ☞ 1 ページ
	記録紙が重なって送り込まれる	紙をさばいて入れ直してください。	☞ 58、64 ページ
	B4 サイズの原稿が受信できない	相手側の問題です。	
原稿	構内交換機に内線接続したときに、ファクス受信できない	内線または外線から、ファクス受信するときのベルの鳴りかたを確認し、「フリーダイヤル 0120-161170」をご連絡ください。	
	原稿が繰り込まれていかない	原稿受けを起こしていますか。 原稿の先が軽くあたるまで差し込んでいますか。 操作パネルは確実に閉まっていますか。	原稿を正しくセットします。 ☞ 58、64 ページ
		原稿が厚すぎたり、薄すぎたりしていますか。	使用できる原稿を確認してください。 ☞ 57 ページ
		原稿が折れ曲がったり、カールしているたり、しわになっていますか。	
		原稿が小さすぎませんか。	
		原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていますか。	つまた原稿を取り除きます。 ☞ 3 ページ
	原稿が斜めになってしまふ	原稿ガイドを送信原稿に合わせていますか。 原稿挿入口に破れた原稿などがつまっていますか。	原稿を正しくセットします。 ☞ 58、64 ページ
その他	ディスプレイに [エラー] の表示が出る	長時間コピーや受信をしていませんか。	長時間コピーや受信をすると、加熱保護機能がはたらいて、停止することがあります。このときには電源プラグを抜き、しばらくしてから操作し直してください。
	電源が入らない	電源プラグは確実に差し込まれていますか。	電源ランプを確実に差し込みます。(雷で電源が入らなくなったときは、有償修理になります)

# 機能一覧

本機で設定できる機能や設定は次のようにになります。

## ●親機

ディスプレイに表示されるメッセージにしたがって、////～を押し、登録や設定を行います。(操作を途中で終了するときは、を押します。)

機能	ボタン操作		設定項目	機能説明	設定内容 (※初期設定)	参照ページ
初期登録			回線種別設定	電話回線に合わせて回線種別を設定します。	PB 10PPS 20PPS* ジトカセティ	9 ページ
			時計セット	現在の日付と時刻を登録します。	00 年* 01 月* 01 日* 00 時* 00 分*	11 ページ
			発信元登録	ファクスにプリントされる発信元の名前やファクス番号、電話番号を登録します。	-	12 ページ
			キータッチ音量	フロントパネルのキーにタッチしたときのタッチ音の音量を設定します。	OFF ショウ* ダイ	22 ページ
受信設定			着信ベル回数	「在宅モード」「留守モード」ごとに着信ベルを鳴らす回数を設定します。	在宅モード時 : 8 回 留守モード時 : 2 回	80 ページ
			呼出ベル回数	着信ベルが鳴り終わった後に鳴らす、呼出ベルの回数を設定します。	0 回 10 回* 15 回 20 回	80 ページ
			親切受信	ファクスの親切受信を設定します。	ON* OFF	83 ページ
			リモート番号	外部のファクシミリから、本機のファクス受信をスタートさせるための番号を設定します。	ON OFF*	87 ページ
			自動縮小	A4 サイズより長い原稿が送られてきたとき、自動的に縮小する / しないを設定します。	ON* OFF	84 ページ
			ポーリング受信	ポーリング通信でファクスを受信するときの設定をします。	ヒョウジン* キミツ ダイマ-	86 ページ
			PC接続	パソコン(PC)でファクスを受信するための設定をします。(別売の「MFL-100」を接続したときのみ)	PCジンジンセイ* PCジンジンセイ FAXジンジンセイ	88 ページ

機能	ボタン操作		設定項目	機能説明	設定内容 (※初期設定)	参照ページ
送信設定	機能 ○	(3) ③ <sub>INT</sub>	① <sub>INT</sub> 送付書	ファクスを送信するとき、「送付書」を附加する / しないを設定します。	コンカイナミ:ON コンカイナミ:OFF ソウフショ:ON ソウフショ:OFF * プリントサソフル	68 ページ
			② <sub>INT</sub> 送付書コメント	「送付書」に記載するコメントを作成します。(2種類のオリジナルコメントを登録できます。)	-	68 ページ
			③ <sub>INT</sub> 原稿濃度	原稿の文字の濃さに合わせた調整をします。	アラウ コカ ウスク	13 ページ
			④ <sub>INT</sub> 画質モード*	ページごとに原稿の文字の大きさに合わせた調整をします。	ヒヨウゾンユン* ファイン S.ファイン シャシソ	59, 65 ページ
			⑤ <sub>INT</sub> 海外送信モード*	海外にファクスを送信するときに設定します。	ON OFF *	73 ページ
			⑥ <sub>INT</sub> 電話予約	ファクス送信後に相手と話がしたいとき、設定します。	ON OFF * プリントサソフル	67 ページ
			⑦ <sub>INT</sub> タイマー送信	タイマー送信を行うときの送信時刻を設定します。	-	70 ページ
			⑧ <sub>INT</sub> ポーリング送信	ポーリング送信を行うときの通常送信 / 機密送信を設定します。	ヒヨウゾンユン* キミツ	71 ページ
解除	機能 ○	④ <sub>INT</sub>	設定解除	タイマー送信とポーリング送信の設定を解除します。	-	75 ページ
割込	機能 ○	⑤ <sub>INT</sub>	割込み	送信待機中に、待機している設定を解除せずに、ファクスやコピーができるように設定します。	-	75 ページ
ダイヤル登録	機能 ○	⑥ <sub>INT</sub>	① <sub>INT</sub> ワンタッチダイヤル	ワンタッチボタンに電話番号や相手先の名前を登録します。	-	18 ページ
			② <sub>INT</sub> 短縮ダイヤル	短縮ダイヤルに電話番号や相手先の名前を登録します。	-	19 ページ
			③ <sub>INT</sub> グループダイヤル	ワンタッチボタンに、複数の宛先を「グループ」として登録します。(登録はワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録した宛先から選択します。)	-	20 ページ
リストプリント	機能 ○	⑦ <sub>INT</sub>	① <sub>INT</sub> 送信レポート	ファクス送信後に送信結果をプリントするための設定をします。	ON OFF *	102 ページ
			② <sub>INT</sub> 通信管理レポート	最新の通信結果をプリントします。(送信、受信合わせて30件です。)	-	102 ページ
			③ <sub>INT</sub> ダイヤルリスト	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録した内容をプリントします。	-	102 ページ
			④ <sub>INT</sub> 電話帳リスト	ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルに登録した内容を50音順にプリントします。	-	103 ページ

## 機能一覧

機能	ボタン操作		設定項目	機能説明	設定内容 (※初期設定)	参照ページ	
リストプリント	機能 ○	(7) PORS	(5) XL	設定内容リスト	各種機能に登録・設定されている内容をプリントします。	-	103 ページ
			(6) REC	メモリー使用状況	使用可能なメモリー量など、メモリーの使用状況をプリントします。	-	103 ページ
留守録メモリー設定	機能 ○	(8) TUV	(1) *	応答メッセージ	留守応答メッセージ（ルスオウトウ1、ルスオウトウ2）、在宅応答メッセージ（ザイタクオウトウ）の録音／再生／消去をします。	-	90 ページ
			(2) REC	録音時間	1件の音声メッセージの最長録音時間を設定します。	30 60* 120 180	90 ページ
			(3) OFF	留守録モニター	留守録メモリーに録音中の相手の声が、スピーカーから聞こえる／聞こえないを設定します。	ON* OFF	90 ページ
			(4) SH	リモコン設定	外出先から本機を操作するための、「リモコンアクセスコード」を設定します。	159 ** アクセス：OFF * アクセス：ON	99 ページ
			(5) XL	転送	メッセージを受信したとき、「電話呼出」や「ファクス転送」をするための設定をします。	アクセス テソウ テソウヨダシ OFF *	95, 96 ページ
各種サービス設定	機能 ○	(0)	(1) *	TTNet 設定	東京電話 (TTNet) を利用するための設定をします。	ON* OFF	26 ページ
			(2) REC	ナンバーディスプレイ	NTT のナンバーディスプレイサービスを使用する／しないを設定します。	アリ* ナシ	28 ページ
			(3) OFF	キヤッチホンディスプレイ	NTT のキヤッチホンディスプレイサービスを使用する／しないを設定します。	アリ ナシ*	29 ページ
			(4) SH	ダイヤルイン	NTT のダイヤルインサービスを使用する／しないを設定します。	ON OFF *	29 ページ

## ●子機

ディスプレイに表示されるメッセージにしたがって、ジョグスイッチを操作し、登録や設定を行います。(操作を途中で終了するときは、**キャンセル** (機能) を押します。)

ボタン操作	設定項目	機能説明	初期設定	参照ページ
キヤッチ 機能 ○	電話帳登録	子機の「電話帳」に相手の名前と電話番号を登録します。	-	21 ページ
	電話帳変更	「電話帳」に登録した内容を変更・消去します。	-	21 ページ
	着信音選択	着信音のパターンを選択します。	フツウ	23 ページ
	発信記録クリア	発信記録の内容をすべて消去します。	-	37 ページ
	着信記録クリア	着信記録の内容をすべて消去します。	-	51 ページ
	メロディ読込み	FAX-760CLT ではこの機能は使用できません。	-	-

# 主な仕様

## ●親機

形式	送受信兼用卓上型 G3 機
圧縮方式	MH (モディファイドハフマン)
電送時間 *1	約 9 秒
通信速度	14400 / 12000 / 9600 / 7200 / 4800 / 2400 BPS (自動フォールバック方式)
原稿サイズ幅	最大 : 216mm、最小 : 148mm
最大有効読取幅	208mm
最大有効記録幅	208mm
記録紙サイズ	210mm × 297mm (A4 普通紙)
記録方式	熱転写記録方式による普通紙記録
読取方式	密着イメージセンサーによる読取
ハーフトーン	64 階調
走査線密度	主走査 : 8 ドット / mm 副走査 : 3.85 本 / mm (標準) 7.7 本 / mm (ファイン / 写真) 15.4 本 / mm (S. ファイン / 写真)
適用回線	一般電話回線、2 線式専用回線、ファクシミリ通信網 (16Hz のみ対応)
使用環境	温度 : 5 ~ 35 ℃、湿度 : 45 ~ 80%
電源	AC100V ± 10V 50 / 60Hz
消費電力 *2	待機時: 5.2W 以下 ピーク時: 170W 以下 コピー時: 21W 以下 ファクス送信時: 11W 以下 ファクス受信時: 18W 以下
外形寸法	340 (横幅) × 272 (奥行き) × 141 (高さ) mm (突起部を除く)
質量	約 4kg (本体)

\*1: A4 サイズ 700 字程度の原稿を標準的画質 (8 × 3.85 本 / mm) で高速モード (14400bps) で送ったときの速さです。これは画像情報のみの電送時間で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線状態により異なります。

\*2: コピー、ファクス送受信時の原稿は、画像電子学会 No.4 チャートを使用。(常温、常湿にて測定)

\*外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

## ●子機

	コードレス電話機	充電器
使用可能距離	見通し距離約 100m	-
充電完了時間	約 15 時間	-
使用可能時間 (充電完了後)	待機状態 : 約 200 時間 連続通話 : 約 8 時間	-
使用環境	温度 : 5 ~ 35 ℃、湿度 : 45 ~ 80%	
電源	DC2.4V (ニカド電池使用)	AC100 ± 10V 50 / 60Hz
消費電力	-	2W 以下 (充電時)
外形寸法	49 (横幅) × 48.3 (奥行き) × 192 (高さ) mm	80 (横幅) × 100 (奥行き) × 91.3 (高さ) mm
質量	約 182g (ニカド電池含む)	約 122g

# 索引

## A～Z・α

ECM 通信について .....	66
ISDN を使用する場合は .....	13
MFL-100 .....	88
PC/IF 接続端子 .....	3
PC 接続（ファクス受信） .....	88
PC 接続（ファクス送信） .....	74

## あ

アンテナ .....	3
上カバー .....	108
エラーメッセージが表示されたら .....	111
送りボタン .....	5
お手入れのしかた .....	104
オプションサービスを利用される方は .....	24
オプションサービスを利用するには .....	45
親機専用番号 .....	52
音声メッセージ	
音声メッセージの録音時間を設定する .....	90
子機で音声メッセージを確認する .....	93
音声ランプ .....	5
オンライン通信 .....	27
音量ボタン .....	4
音量を設定する .....	22
音質を調整する（子機） .....	15

## か

海外送信モード .....	73
外出先から本機を操作する（リモコンアクセス機能） .....	97
外出先にファクスを転送する（ファクス転送機能） .....	96
外出中の便利な使いかた .....	94
解除	
子機優先呼出の設定を解除するには .....	38
送信設定を解除する .....	75
ハンズフリー着信の設定を解除するには .....	40
留守モードを解除するには .....	91
回線種別 .....	10
回線接続端子 .....	3
ガイドンス方式 .....	88
拡大／縮小コピーをする .....	61
拡大／縮小ボタン .....	5
各部の名称とはたらき .....	3
画質	
画質ボタン .....	5
画質を調節する（コピー） .....	59
画質を調節する（ファクス） .....	65
紙がつまつたら .....	106
キータッチ音を設定する（親機） .....	22
機能	
機能一覧 .....	116

機能の案内をプリントする（機能案内リスト） .....	103
機能ボタン .....	4
子機優先呼出 .....	38
着信記録機能 .....	48
着信ベル音指定機能 .....	48
伝言メッセージ機能 .....	67
電話番号表示機能 .....	48
電話呼出機能 .....	95
名前表示機能 .....	48
ファクス転送機能 .....	96
ボイスメモ機能 .....	94
迷惑電話防止機能 .....	48
リモコンアクセス機能 .....	97
機密ボーリング受信 .....	86
キヤッチボタン .....	4
キヤッチホンディスプレイサービスとは .....	29
キヤッちホンディスプレイサービスの設定をする .....	29
キヤッチホンディスプレイサービスを契約しているときは .....	45
キヤッチホンを利用する .....	45
記録紙	
記録紙受け .....	3
記録紙がセットされていないときは .....	82
記録紙がつまつたときは .....	107
記録紙カバー .....	3
記録紙挿入口 .....	3
記録紙排出口 .....	3
記録紙をセットする（コピー） .....	58
記録紙をセットする（ファクス） .....	64
記録部の清掃をする .....	104
グループダイヤルに登録する .....	20
原稿	
原稿受け .....	3
原稿ガイド .....	3
原稿がつまつたときは .....	106
原稿サイズ .....	57
原稿挿入口 .....	3
原稿に合わせて画質を調整する（コピー） .....	59
原稿に合わせて画質を調整する（ファクス） .....	65
原稿についてのご注意 .....	57
原稿濃度ボタン .....	4
原稿濃度を一時的に変更する（コピー） .....	59
原稿濃度を一時的に変更する（ファクス） .....	65
原稿の濃度を設定する .....	13
原稿の読み取り範囲 .....	57
原稿読取部の清掃をする .....	104
原稿排出口 .....	3
原稿をセットする（コピー） .....	58
原稿をセットする（ファクス） .....	64
子機	
子機充電器 .....	6
子機専用番号 .....	52
子機で音声メッセージを確認する .....	93
子機でファクスを受信するには .....	76
子機で留守モードに設定する .....	93
子機の音質を調整する .....	15

子機の準備をする	14
子機のバッテリーを交換するには	110
子機をとって受ける	38
子機を持たずに受ける	38
子機を優先して電話を受ける	38
コピー	
拡大／縮小コピーをする	61
コピーボタン	4
コピーをするには	60
コピーをする前に	57
コピーを中止するには	60
こんなコピーができます	56
シングルコピー	60
マルチコピー	61

## さ

再生ボタン	4
再生・プリントする	92
再ダイヤルでかける（親機）	34
再ダイヤルでかける（子機）	36
再ダイヤルボタン	4
在宅応答メッセージ	89
在宅応答メッセージを録音する	81
在宅モード	77
最長録音時間	90
時刻を合わせる	11
自動	
自動再ダイヤル（ファクス）	66
自動縮小受信	84
自動受信	82
自動送信	66
自動送信を中止するには	66
充電器を接続する（子機）	14
充電端子（子機）	6
充電ランプ（子機）	6
受信	
PC 接続（ファクス受信）	88
子機でファクスを受信するには	76
こんな受信ができます	76
自動縮小受信	84
自動受信	82
受信のしかた	77
受信モード	77
手動受信	82
親切受信	83
ポーリング受信	86
メモリー受信	85
メモリー代行受信	85
リモート受信	87
出力ボタン	4
手動受信	82
手動送信	66
主番号	52
受話音量を設定する（親機）	22

受話音量を設定する（子機）	23
受話器	
受話器	3
受話器コード	3
受話器コードを差し込む	8
受話器接続端子	3
受話器をとって受ける	35
受話器を持たずに受ける	35
順次同報送信	73
順次同報送信を中止するには	73
準備のながれ	7
仕様	119
消去	
グループダイヤルを消去する	20
消去ボタン	4
短縮ダイヤルを消去する	19
着信記録を消去するには（子機）	51
電話帳を消去する（子機のみ）	21
発信記録を消去するには（子機）	37
発信元登録を消去する	12
メッセージを消去するには	92
ワンタッチダイヤルを消去する	18
消耗品などのご注文について	126
ジョグスイッチ	6
ジョグスイッチでかける（子機）	36
シングルコピー	60
親切受信	83
スタートボタン	5
スタッツ（マルチコピー）	61
スピーカー	
スピーカー音量を設定する（親機）	22
スピーカー音量を設定する（子機）	23
スピーカーホンでかける（親機）	34
スピーカーホンでかける（子機）	37
スピーカーホンで通話する	35
スピーカーホンで通話する（子機）	38
スピーカーホンボタン	4
スピーカー（子機）	6
スマージング記録について	82
清掃	
記録部の清掃をする	104
原稿読取部の清掃をする	104
本体の清掃をする	104
接続	
受話器コード	8
電話機コード	8
並列接続について	87
設定	
キータッチ音を設定する（親機）	22
原稿の濃度を設定する	13
子機で留守モードに設定する	93
受話音量を設定する（親機）	22
受話音量を設定する（子機）	23
スピーカー音量を設定する（親機）	22
スピーカー音量を設定する（子機）	23

## 索引

設定状況をプリントする（設定内容リスト）	103
ダイヤルインサービスの設定をする	29
着信ベル音を設定する（子機）	23
着信ベル回数を設定する	80
電話呼出機能を設定する	95
東京電話オートコネクトを設定する	25
ナンバーディスプレイサービスの設定をする	28
ハンズフリー着信の設定をする	40
ファクス転送機能を設定する	96
ベル音量を設定する（親機）	22
ベル音量を設定する（子機）	23
呼出ベル回数を設定する	80
リモート番号を設定する	87
リモコンアクセスコードを設定する	99
留守録モニターを設定する	90
セットボタン	4
操作パネル	108
送信	
PC 接続（ファクス送信）	74
海外送信モード	73
こんな送信ができます	62
自動送信	66
手動送信	66
順次同報送信	73
送信の解除と割込をするには	75
送信予約	74
送信レポート	102
送信予約を解除するには	74
送付書送信	68
タイマー送信	70
電話予約（ファクス）	67
ポーリング送信	71
メモリー送信	72
送付書コメント	68
送付書送信	68
ソート（マルチコピー）	61

## た

代行受信メモリー	89
タイマー送信	70
タイマーポーリング受信	86
ダイヤル	
ダイヤルインサービスの設定をする	29
ダイヤルインサービスを利用する	52
ダイヤル回線	9
ダイヤルする	63
ダイヤル登録をする	16
ダイヤルボタン	5
ダイヤルボタンでかける（親機）	33
ダイヤルボタンでかける（子機）	36
ダイヤルリスト	102
端子	
PC/IF 接続端子	3
回線接続端子	3

受話器接続端子	3
短縮ダイヤルでかける	33
短縮ダイヤルに登録する	19
短縮ボタン	4
着信	
着信記録機能	48
着信記録ボタン	5
着信記録を消去するには（子機）	51
着信記録を利用する（親機）	50
着信記録を利用する（子機）	51
着信ペル音指定機能	48
着信ペル音を設定する（子機）	23
着信ペル回数を設定する	80
着信メッセージがあるときは	91
中止	
コピーを中止するには	60
自動送信を中止するには	66
手動送信を中止するには	66
順次同報送信を中止するには	73
東京電話オートコネクトの利用を中止するには	54
メッセージの再生を中止するには	92
メモリー送信を中止するには	72
通信管理レポートをプリントする	102
通話圈外警告音	32
通話のときは	31
通話を録音する	94
停止ボタン	5
ディスプレイについて（親機）	5
ディスプレイについて（子機）	6
ディスプレイ表示（ナンバーディスプレイ）	49
電源コード	3
電源コードを差し込む	8
伝言メッセージ機能	67
伝言メッセージのサンプルをプリントするには	67
伝言を録音する	94
電話	
電話回線	8
電話機コードを差し込む	8
電話機コンセント	8
電話専用番号	52
電話帳から探してかける	34
電話帳から探してかける（子機）	36
電話帳に登録する（子機のみ）	21
電話帳ボタン（親機）	4
電話帳リスト	103
電話番号表示機能	48
電話呼出機能	95
電話予約（ファクス）	67
電話を受けるには（親機）	35
電話を受けるには（子機）	38
電話をかけるには（親機）	33
電話をかけるには（子機）	36
電話を取り次ぐ	43
東京電話	
東京電話オートコネクトとは	24

東京電話オートコネクトの設定をする	24
東京電話オートコネクトの利用を中止するには	54
東京電話オートコネクト利用申込書	25
東京電話オートコネクトを設定する	25
東京電話オートコネクトを利用する	54
東京電話ランプ	5
登録	
グループダイヤルに登録する	20
自宅の電話番号を登録する	26
ダイヤル登録をする	16
短縮ダイヤルに登録する	19
電話帳に登録する（子機のみ）	21
発信元登録	12
ワンタッチダイヤルに登録する	18
トルセーバー	77
トーン信号によるサービスを利用する	53
トーンボタン	5
時計セット	11

## な

内線通話をする	42
内線通話をするには	41
内線で呼びかける	42
名前表示機能	48
ナンバーディスプレイサービスの設定をする	28
ナンバーディスプレイサービスを利用する	48

## は

倍率（拡大／縮小コピー）	61
パソコンからファクスを送信する	74
パソコンでファクスを受信する	88
発信記録からかける（子機）	37
発信記録を消去するには（子機）	37
発信元登録	12
バッテリー	
バッテリーカバー（子機）	6
バッテリーを交換するには（子機）	110
バッテリーを充電する（子機）	15
バッテリーを収納する（子機）	14
ハンズフリー着信	39
ハンズフリーで電話を受けるには	39
日付と時刻を合わせる	11
ファクス	

ファクス情報サービスを利用する	88
ファクス専用番号	52
ファクス転送機能	96
ファクス転送機能を設定する	96
ファクス転送を解除するには	96
ファクスメッセージが記憶されると	85
ファクスランプ	5
ファクスを受信するには	82
ファクスを受信する前に	80

ファクスを送信するには	66
ファクスを送信する前に	64
複数部のコピーをする（マルチコピー）	61
副番号	52
付属品	2
プッシュ回線	9
プリント	
機能案内リスト	103
順次同報送信レポートのプリント例	73
設定内容リスト	103
送信レポート	102
タイマー送信レポートのプリント例	70
ダイヤルリスト	102
通信管理レポート	102
伝言メッセージのサンプルをプリントするには	67
電話帳リスト	103
ファクスメッセージをプリントするには	85
プリントするには	102
メッセージ内容を再生・プリントする	92
メモリー使用状況リスト	103
並列接続について	87
ベル音量を設定する（親機）	22
ベル音量を設定する（子機）	23
変更	

グループダイヤルを変更する	20
原稿濃度を一時的に変更する（コピー）	59
原稿濃度を一時的に変更する（ファクス）	65
短縮ダイヤルを変更する	19
電話帳を変更する（子機のみ）	21
発信元登録を変更する	12
ワンタッチダイヤルを変更する	18
ボイスメモ	89
ボイスメモ機能	94
ポーズボタン	4
ポーリング	
機密ポーリング受信	86
機密ポーリング送信	71
タイマーポーリング受信	86
ポーリング受信	86
ポーリング送信	71
ポーリング方式	88
ポーリングレポート	71
保留	31
保留ボタン	4
本体の清掃をする	104

マイク	3
マルチコピー	61
無音状態	97
無鳴動受信	76
迷惑電話防止機能	48
メッセージ	

# 索引

メッセージ内容を再生・プリントする	92
メッセージの種類と意味	89
メッセージの着信を知らせる（電話呼出機能）	95
メッセージを確認するには	92
メモリー	
メモリーがいっぱいになったときは	91
メモリー受信	85
メモリー使用状況をプリントする（メモリー使用状況リスト）	103
メモリー送信	72
メモリー送信ボタン	5
メモリー代行受信	85
メモリーについて	89
文字	
文字入力のしかた	16
文字の入力例	17
文字入力表	16
モニター音	90

## や

矢印ボタン	4
用紙受けトレイ	9
呼出ベル回数を設定する	80

## ら

リボン	
リボンカートリッジを交換する	109
リボンカウンタをリセットする	109
リボン切れランプ	5
リボン切れランプが点滅したら	108
リボンを交換する	108
リモート受信	87
リモート停止番号	87
リモコンアクセス	
リモコンアクセス機能	97
リモコンアクセスコード	97
リモコンアクセスコードを設定する	99
リモコンアクセスコマンド一覧	98
リモコンアクセスによって本機を操作するには	97
留守	
子機で留守モードに設定する	93
留守応答メッセージ	89
留守応答メッセージを録音する	90
留守ボタン	4
留守番機能	89
留守番機能を使用する前に	90
留守モード	77
留守モードにセットする	91
留守モードを解除するには	91
留守録メモリー	89
留守録モニターを設定する	90
連続再ダイヤルでかける（子機）	37

## 録音

音声メッセージの録音時間を設定する	90
在宅応答メッセージを録音する	81
通話を録音する	94
伝言を録音する	94
留守応答メッセージを録音する	90
録音時間	90

## わ

割込（送信待機中に割り込みする）	75
ワンタッチダイヤル	5
ワンタッチダイヤルでかける	33
ワンタッチダイヤルに登録する	18

▼

# 消耗品などのご注文について

- ・ 消耗品につきましては、お買い上げの販売店にてお買い求めいただくか、インターネット、フリーダイヤル、下記オーダーシートによるFAXなどの方法でご注文いただきますようお願いいたします。
- ・ ご注文いただきました商品は、受付け終了後（振り込みの場合は入金確認後）通常3日程度（土・日・祝日、長期休暇を除く）で宅配便にて発送させて頂きます。
- ・ 配送料は、お買い上げ金額の合計が5,000円以上（消費税加算前）の場合は全国無料です。5,000円未満の場合は1,000円の配送料を頂きます。（代引き手数料は全国一律無料）
- ・ 銀行／郵便振込時の振り込み手数料はお客様負担となります。
- ・ カードでのお支払いの場合は、カード名義人様のみのお申し込みとし、カード登録の住所のみへの配送とさせて頂きます。又、弊社からの領収書の発行は致しかねますのでご了承願います。
- ・ 配送地域は日本国内に限らせて頂きます。

## ご注文先

プラザー販売（株）情報機器事業部ダイレクトクラブ  
インターネット : <http://www.brother.co.jp/direct/>  
住所 : 〒467-8577 名古屋市瑞穂区苗代町 15-1  
TEL : 052-824-3410  
FAX : 052-825-0311  
フリーダイヤル : 0120-118825（土・日・祝日、長期休暇を除く 9時～17時）  
振込先 : 口座名義：プラザー販売株式会社  
銀行：さくら銀行 上前津支店 普通 6428357  
郵便：振り込み番号 00860-1-27600

## 〈消耗品オーダーシート〉

コピーしてお使いください。

-----  
（キリトリ線）-----  
プラザー販売（株）  
情報機器事業部 ダイレクトクラブ 行  
FAX: 052-825-0311  
お客様ご住所 〒

お名前 \_\_\_\_\_ TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

お支払い方法 銀行振込・郵便振込・代引き・カード  
カード種類 ①VISA②JCB③UC④DINERS⑤CF⑥Master⑦JACCS

カードNo. \_\_\_\_\_ 有効期限 年 月 \_\_\_\_\_

カード名義人名 \_\_\_\_\_

品名	部品コード	単価（税別）	ご注文数	金額
リボンカートリッジ PC-301 (カートリッジ+リボン 1セット入り)	UU0023-001	2,300円		
詰め替え用リボン1本入 PC-300RF	LE0363-001	1,600円		
詰め替え用リボン4本入 PC-304RF	LE0366-001	6,000円		
増設子機 BCL-300D	LE0909009	16,000円		
子機用バッテリー BCL-BT	UF8731-001	1,600円		
用紙受けトレイ CT-70	UF8732-001	4,500円		
マルチファンクションリンク MFL-100 (PC接続キット)	UF8520-001	9,800円		
小計				

※：消費税は変更になる可能性があります。

配送料（どちらかに○を付けてください。）

- 小計が5000円以上のとき→ 0円
- 小計が5000円未満のとき→ 1000円

合計（小計+配送料）

消費税(合計×0.05)※

総合計

〈キリトリ線〉

## リモコン アクセス

### リモコンアクセスコード



あなたのリモコンアクセスコードを記入してください。

### リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクスが応答して約4秒間の無音状態のときに、リモコンアクセスコードを入力します。

3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。

ポー：ファクスメッセージを受信しています。

ポー ポー：音声のメッセージを受信しています。

ポー ポー ポー：ファクスと音声の両方のメッセージを受信しています。

「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。

4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。

5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、裏面の一覧表を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ピッ」という音が3回聞こえますので、もう一度やり直してください。

〈キリトリ線〉

## リモコン アクセス

### リモコンアクセスコード



あなたのリモコンアクセスコードを記入してください。

### リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクスが応答して約4秒間の無音状態のときに、リモコンアクセスコードを入力します。

3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。

ポー：ファクスメッセージを受信しています。

ポー ポー：音声のメッセージを受信しています。

ポー ポー ポー：ファクスと音声の両方のメッセージを受信しています。

「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。

4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。

5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、裏面の一覧表を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ピッ」という音が3回聞こえますので、もう一度やり直してください。

〈キリトリ線〉

## リモコン アクセス

### リモコンアクセスコード



あなたのリモコンアクセスコードを記入してください。

### リモコンアクセスの使用方法

1. プッシュボタン回線方式の電話機を使って、電話をかけます。
2. ファクスが応答して約4秒間の無音状態のときに、リモコンアクセスコードを入力します。

3. 「ポー」という音が聞こえたら、ファクスメッセージを受信していることを示します。

ポー：ファクスメッセージを受信しています。

ポー ポー：音声のメッセージを受信しています。

ポー ポー ポー：ファクスと音声の両方のメッセージを受信しています。

「ポー」という音が聞こえなければ、ファクスメッセージを受信していないことを示します。

4. 次に、短い「ピピッ」という音が続けて聞こえたらリモコンアクセスコマンドを入力します。

5. 「90」を入力して、リモコンアクセスを終了します。

リモコンアクセスコマンドは、裏面の一覧表を参照してください。

注意：間違った操作を行ったときには、短い「ピッ」という音が3回聞こえますので、もう一度やり直してください。

### リモコンアクセスコマンド

操作内容		ボタン操作
音声のメッセージを再生		91 (※4)
戻し（再生中から戻し）		911 (91+1)
送り（再生中から送り）		912 (91+2)
ボイスメモを録音		92 (※1、※4)
音声メッセージを消去（※2）		93
用件応答 （留守番）メッセージ1	再生	9410 (※4)
	録音	9420 (※1、※4)
用件応答 （留守番）メッセージ2	再生	9411 (※4)
	録音	9421 (※1、※4)
通常応答メッセージ	再生	9412 (※4)
	録音	9422 (※1、※4)
電話呼出、 ファクス転送の設定変更	OFF	951
	ファクス転送	952 (※5)
	電話呼出	953 (※5)
ファクス転送番号の登録・変更		954+転送番号入力+##

操作内容		ボタン操作
ファクスの取り出し	メモリー使用状況リスト	961+ダイヤル入力+##
	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
	ファクス消去	963
受信状況のチェック（※3）	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

※1：リモコンアクセスコマンド入力後、録音します。

※2：「ビビビッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。

※3：「ビビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。

「ビビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。

※4：中止するときは[9]を入力してください。

※5：呼出番号・転送番号が登録されていないときは、呼出・転送機能をONにすることはできません。

### リモコンアクセスコマンド

操作内容		ボタン操作
音声のメッセージを再生		91 (※4)
戻し（再生中から戻し）		911 (91+1)
送り（再生中から送り）		912 (91+2)
ボイスメモを録音		92 (※1、※4)
音声メッセージを消去（※2）		93
用件応答 （留守番）メッセージ1	再生	9410 (※4)
	録音	9420 (※1、※4)
用件応答 （留守番）メッセージ2	再生	9411 (※4)
	録音	9421 (※1、※4)
通常応答メッセージ	再生	9412 (※4)
	録音	9422 (※1、※4)
電話呼出、 ファクス転送の設定変更	OFF	951
	ファクス転送	952 (※5)
	電話呼出	953 (※5)
ファクス転送番号の登録・変更		954+転送番号入力+##

操作内容		ボタン操作
ファクスの取り出し	メモリー使用状況リスト	961+ダイヤル入力+##
	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
	ファクス消去	963
受信状況のチェック（※3）	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

※1：リモコンアクセスコマンド入力後、録音します。

※2：「ビビビッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。

※3：「ビビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。

「ビビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。

※4：中止するときは[9]を入力してください。

※5：呼出番号・転送番号が登録されていないときは、呼出・転送機能をONにすることはできません。

### リモコンアクセスコマンド

操作内容		ボタン操作
音声のメッセージを再生		91 (※4)
戻し（再生中から戻し）		911 (91+1)
送り（再生中から送り）		912 (91+2)
ボイスメモを録音		92 (※1、※4)
音声メッセージを消去（※2）		93
用件応答 （留守番）メッセージ1	再生	9410 (※4)
	録音	9420 (※1、※4)
用件応答 （留守番）メッセージ2	再生	9411 (※4)
	録音	9421 (※1、※4)
通常応答メッセージ	再生	9412 (※4)
	録音	9422 (※1、※4)
電話呼出、 ファクス転送の設定変更	OFF	951
	ファクス転送	952 (※5)
	電話呼出	953 (※5)
ファクス転送番号の登録・変更		954+転送番号入力+##

操作内容		ボタン操作
ファクスの取り出し	メモリー使用状況リスト	961+ダイヤル入力+##
	ファクスの取り出し	962+ダイヤル入力+##
	ファクス消去	963
受信状況のチェック（※3）	ファクス	971
	音声メッセージ	972
受信モードの変更	留守	981
	在宅	982
終了		90

※1：リモコンアクセスコマンド入力後、録音します。

※2：「ビビビッ」という音が聞こえたら、すべてのメッセージがまだ再生されていないか、消去するメッセージがないため消去ができないことを示しています。

※3：「ビビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信しています。

「ビビビッ」という音が聞こえたら、メッセージを受信していません。

※4：中止するときは[9]を入力してください。

※5：呼出番号・転送番号が登録されていないときは、呼出・転送機能をONにすることはできません。

▼



お客様相談窓口 ☎0120-161170

本製品の取扱い、操作、アフターサービスについてのご相談は、上記のフリーダイヤルにお気軽にお申し付けください。

受付時間 午前9:00～午後7:00

営業日 月曜日～土曜日

(日・祝日および当社休日は休みとさせていただきます。)

**brother**

467-8561 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1  
プラザー工業株式会社

本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。現地での各国の通信規格に反する場合や、現地で使用されている電源が本製品に適切でない恐れがあります。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。また、保証の対象とはなりませんのでご注意ください。

These machines are made for use in Japan only. We can not recommend using them overseas because it may violate the Telecommunications Regulations of that country and the power requirements of your fax machine may not be compatible with the power available in foreign countries.  
**Using Japan models overseas is at your own risk and will void your warranty.**

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後5年です。